

C9P7 V6 650

ナビゲーション
&

オーディオ
ブック

目次 4ページ

NAVIGATION & AUDIO BOOK

- はじめに
- 基本操作
- ナビゲーション基本操作
- 検索
- ルート
- 登録・編集操作
- 各種情報の利用
- ナビゲーションの設定
- 通信機能を使う
- オーディオ基本操作
- 放送を受信する
- 音楽ディスクを使う
- 映像ディスクを使う
- SDカード/USBメモリーを使う
- iPodを使う
- Bluetooth Audioを使う
- その他の機器を使う
- オーディオの設定
- カメラ機能を使う
- 携帯電話を使う
- その他の操作
- 付録

安全にお使いいただくために

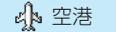
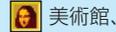
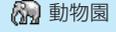
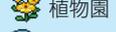
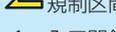
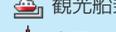
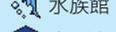
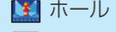
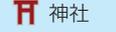
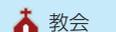
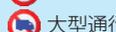
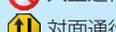
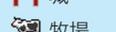
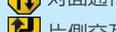
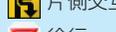
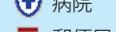
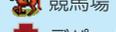
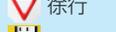
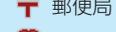
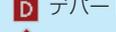
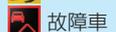
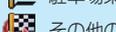
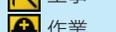
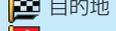
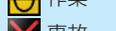
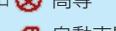
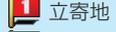
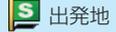
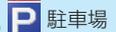
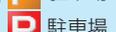
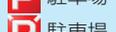
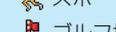
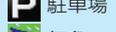
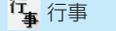
この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。

	警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	絵表示の例： この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

安全上のご注意

	警告 自動車の運転中に地点登録・地点検索などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。
	
	注意 ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。

記号・マーク一覧

地図関連	道の駅	テニスコート	渋滞情報関連
■ 高速・有料道	 道の駅	 テニスコート	 渋滞
■ 国道	 空港	 美術館、博物館	 混雑
■ 主要地方道	 ヘリポート	 動物園	 順調
■ 都道府県道	 フェリー乗り場	 植物園	 規制区間
■ 一般道	 観光船乗り場	 水族館	 入口閉鎖・通行止
■ 細街路	 タワー	 ホール・劇場	 50 速度規制
■ 鉄道	 灯台	 神社	 進入禁止
■ 都道府県境	 墓地	 寺	 通行止め・閉鎖
① 国道番号	 公共施設	 教会	 大型通行止め
① 都道府県道番号	 警察署	 城	 対面通行
C1 有料道路番号	 消防署	 牧場	 片側交互通行
→ 一方通行	 病院	 競馬場	 徐行
■ 海・川・湖沼	 郵便局	 デパート	 車線規制
■ 公園・緑地・芝生など	 NTT	 DIYショップ	 チェーン規制
■ 施設敷地	 高校	 ホテル	 凍結
■ 施設	 小学校	 検索・ルート関連	 故障車
■ 駅舎	 中学校	 駐車場案内ポイント	 工事
□ インターチェンジ/ランプ名	 大学	 その他の案内ポイント	 作業
□ 交差点名	 高専	 目的地	 事故
↙ ランプ入口	 自転車関連施設	 立寄り地	 障害物・路上障害
↗ ランプ出口	 温泉	 出発地	 入口制限
🚦 信号機	 遊園地・その他	 案内地	 入口閉鎖
■ 指示点	 乗馬クラブ	 案内中ルート(有料道)	 駐車場(空車)
▲ 山岳	 キャンプ場	 案内中ルート(一般道)	 駐車場(混雑)
🏰 公園	 ボウリング場	 案内中ルート(細街路)	 駐車場(満車)
🏭 工場	 スポーツ施設		 駐車場(閉鎖)
🚶 トンネル出入口	 ゴルフ場		 駐車場(不明)
🏠 マンション	 その他スポーツ施設		 気象
SA サービスエリア	 野球場・スタジアム		 行事
PA パーキングエリア	 体育館		 災害
IC インターチェンジ	 スキー場		 火災
¥ 料金所・スマートICゲート	 海水浴場		 原因/事象なし
P 駐車場	 ヨットハーバー		
	 モータースポーツ		

※記号やマークは、ビューやスケールによって表示されない場合があります。

※実際の色と異なる場合があります。

安全走行のために



走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると、大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。

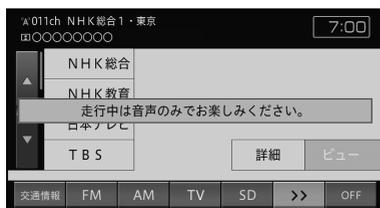
走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。

走行中に制限される機能の操作は

安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。ルート探索の設定などの複雑な操作は、安全のため、走行中にはできないように設計されています。(操作しようとする、「走行中は操作できません」とメッセージが表示されます。) また、本機は、安全のため走行中にテレビなどの映像を見ることができないようになっています。(走行中は、以下のようなメッセージが表示されます。) また、一部のメニュー操作はできません。

(例) テレビを見ようとしたとき



操作はエンジンをかけたままで

エンジンを止めて本機を操作すると、車のバッテリー上がりの原因となります。本機の操作はエンジンをかけたままで行ってください。

交通規則に従って走行する

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

画面に表示される情報は実際と異なる場合があります。

ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。

目次

はじめに

安全にお使いいただくために	2
安全走行のために	3
走行中はナビゲーションの操作をしない... 3	
交通規則に従って走行する	3
本書の見かた	10
本書の表記のしかた	10

基本操作

基本操作	12
タッチパネルで操作する	12
ボタンで操作する	13
画面の切り換えかた	13
リスト画面の操作	14
文字の入力操作	16
文字入力の方法を切り換える	16
文字の入力操作の流れ	16
文字の種類を切り換える	16
文字を入力する	17
無変換、変換を行う	19
文字入力を終了する	19
URLの入力について	19
かな漢字変換できる記号	20

ナビゲーション基本操作

ナビゲーションの基本操作	22
ナビメニューの操作	22
ショートカットメニューの操作	24
地図画面の操作	25
現在地画面を表示する	25
地図を動かす(スクロール)	26
地図のスケールを変える	27
地図の表示方法を変える	27
地図の向きを変える	28
100mスケール一方通行表示を ON/OFFする	29

文字の拡大表示をON/OFFする	29
スケールを登録する	30
ロゴマークの表示設定をする	30
サイドマップについて	31
セーフティインフォメーション	32
eスタート案内について	33
走行中表示される画面について	33
ハイウェイモードについて	33

自宅へ帰る	37
自宅を登録する	37
自宅までルート探索する	37

検 索

場所を探す	40
地図で探す	40
電話番号で探す	40
住所で探す	41
登録地から探す	41
名称で探す	42
ジャンルで探す	42
周辺施設を探す	43
検索履歴から探す	45
詳細情報を見る	46

ルート

ルートを探索する	48
ルート案内開始画面の見かた	49
ルートプロフィールで確認する	50
他のルートを選ぶ	50
ルート地図を表示する	51
詳細ルート設定をする	51
ルート探索機能について	54
ルート誘導・案内	55
ルート案内中の現在地画面	55
音声による誘導・案内	58
ルート案内中の操作と機能	61

ルートから外れたときに 自動的にルートを再探索する	61
状況に応じて新しいルートを 提案する	61
ルート上の渋滞情報を案内させる ...	62
ルートを編集する	64
ルートプロフィールで確認する	64
条件を変えてルートを再探索させる ...	64
ルートを消去する	65
立寄地を先送りする	65
デモ走行で確認する	65
ルートを消去する	66

登録・編集操作

場所を登録する	68
場所を登録する	68
登録地を編集する	70
登録地の登録内容を編集する	70
登録地を消去する	71
その他のデータを編集する	73
検索履歴を消去する	73
ルートの学習内容を消去する	73
走行軌跡を消去する	74

各種情報の利用

FM-VICS情報を利用する	76
VICS情報とは	76
地図上でVICS情報を見る	77
ルート上の渋滞情報を案内させる ...	78
VICSの文字・図形情報を見る	79
放送局を選ぶ	80
その他の情報の利用	81
センサー学習状況を見る	81
接続状態を確認する	82
データバージョンを確認する	83
SDカード内の画像を表示する	84

ナビゲーションの設定

機能設定をする	86
設定内容の詳細	87
通信設定をする	91
ユーザー登録について	91
通信機器使用上のご注意	92
Bluetoothの設定を行う	92
ナビゲーションの音量を設定する ...	98
音量設定をする	98
消音設定をする	99
ガイド/ハンズフリー SP 設定をする	99
イージーセットアップをする ...	100
イージーセットアップを行う	100
イージーセットアップを開始する ...	100
車両情報を設定する	104
有料道路料金区分の設定	104
駐車制限(車種)の設定	104
駐車制限(車両寸法)の設定	105
リアルタイムプローブ設定をする ...	106
リアルタイムプローブ設定を行う ...	106
取得タイミングと連続取得の 取得動作について	108
その他の設定をする	109
自転車位置のずれを修正する	109
走行中の道路を切り換える	109
セキュリティ設定をする	110
カメラの入力設定をする	111
カスタムボタンを設定する	112
SDカード登録確認 メッセージ表示設定	113
設定を初期状態に戻す	113

通信機能を使う**オンデマンドVICS情報・リアルタイム**

プローブ渋滞情報を利用する 116

オンデマンドVICSについて 116

リアルタイムプローブとリアルタイム

プローブ渋滞情報について 116

渋滞情報の取得のしかた 117

地図上でオンデマンドVICS/リアル

タイムプローブ渋滞情報を見る ... 118

プローブ情報を保存する 118

天気予報を利用する 119

ガススタ価格情報を利用する ... 120

駐車場満空情報を利用する 121

オーディオ基本操作

オーディオの基本操作 124

AVソース画面を表示する 124

AVソースを切り換える 125

AVソースをOFFにする 126

映像画面時計表示設定 126

本機で再生可能なメディアと

ファイルの種類 127

放送を受信する

ラジオを聞く 130

ラジオの放送を受信する 130

プリセットの種類を選ぶ 131

バンドを切り換える 131

リストから

受信したい放送局を選ぶ 131

放送局を手動で登録する 131

放送局の自動登録 132

交通情報を聞く 133

交通情報を受信する 133

地上デジタルテレビ放送を見る ... 134

地上デジタルテレビ放送を

受信する 134

プリセットの種類を切り換える ... 136

放送局を手動で登録する 136

サービスを切り換える 137

番組表を表示する 137

番組内容を表示する 138

データ放送を見る 138

データ放送画面の操作のしかた ... 138

字幕を切り換える 139

映像を切り換える 139

音声を切り換える 139

音声多重に切り換える 140

バンドを切り換える 140

放送局を自動で登録する

(チャンネルスキャン) 140

番組情報を取得する 140

お知らせメッセージを表示する ... 141

バージョン情報を表示する 141

サービスリストから

チャンネルを選ぶ 141

ワイドモードを設定する 142

地上デジタルテレビの

機能設定をする 143

音楽ディスクを使う

音楽CDを聴く 146

再生する 146

リストから選んで再生する 147

リピート再生 147

ランダム再生 147

ROM (WMA/MP3/AAC)を聴く ... 148

再生する 148

リストから選んで再生する 149

リピート再生 149

ランダム再生 149

映像ディスクを使う

DVDビデオを見る	152
再生する	152
ディスクメニューの操作 (ダイレクトタッチ)	153
リピート再生	154
コマ送り再生	154
スロー再生	154
ブックマークの登録	155
字幕言語の切り換え	155
音声言語の切り換え	155
音声出力の切り換え	156
アングルの切り換え	156
リターン再生	156
ダイレクトサーチ	156
ワイドモードを設定する	157

DVD-VRを見る

再生する	158
リストから タイトルを選んで再生する	159
リピート再生	159
コマ送り再生	160
スロー再生	160
CMバック/スキップ	160
字幕言語の切り換え	161
音声言語の切り換え	161
音声多重の切り換え	161
ダイレクトサーチ	161
ワイドモードを設定する	162

DVDの機能設定

基本字幕言語	163
基本音声言語	163
メニュー言語	164
マルチアングル	164
テレビアスペクト	164
視聴制限	165
オートプレイ	165

言語コード表

166

SDカード/USBメモリーを使う**SD / USBの操作のしかた**

音楽ファイルを再生する	168
映像ファイルを再生する (SDのみ)	169
音楽ファイルと映像ファイルを 切り換える (SDのみ)	170
聴きたい曲や見たい映像を探す ...	170
リピート再生	170
ランダム再生	170
ダイレクトサーチ (SDのみ)	171
SD映像ファイルの 機能を設定する	171

iPodを使う**iPodの操作のしかた**

再生する	174
iPodミュージックと iPodビデオを切り換える	176
聴きたい曲や見たい映像を探す ...	176
リピート再生	176
シャッフル再生	176
ワイドモードを設定する	177

Bluetooth Audioを使う**Bluetooth Audioの**

操作のしかた	180
Bluetooth Audio機器の登録	180
再生する	180
聴きたい曲を探す	182
リピート再生	182
ランダム再生	182
Bluetooth Audio機器の 接続について	183

その他の機器を使う

AUXを使う	186
外部機器の入力設定をする	186
外部機器の音声を聞く	186
VTRを使う	187
映像入力の設定をする	187
ビデオを見る	187
ワイドモードを設定する	188

オーディオの設定

オーディオの設定をする	190
フェーダー / バランス設定	190
ラウドネス設定	190
イコライザー設定	191
ソースレベルアジャスター設定 ...	192

カメラ機能を使う

カメラを使う	194
後退中にカメラの映像を表示する ...	194
前進、停車中に カメラの映像を表示する	196

携帯電話を使う

携帯電話を使う	198
ハンズフリー通話をする	198
電話の受けかた	198
電話のかけかた	199
通話中メニューの操作	201
携帯電話情報を編集する	202

その他の操作

エコマネージャーを使う	206
燃費設定をする	206
エコスコアについて	207
エコゲージについて	207
エコプライズについて	208

パーソナライズ機能を利用する ... 209

パーソナライズ画面を表示する ...	209
ユーザー設定をする	210
ユーザー切り換えメニューを使う ...	213

画質を調整する ... 215

リアモニターを組み合わせる ... 216	
リアモニターに表示される 映像について	216

**タッチパネルの
タッチ位置を調整する ... 217**

パソコンリンクソフトからSDカードに 保存したデータを本機で使用する ... 218	
SDカードに保存したデータを 本機へ転送する	218
地図データの バージョンアップを行う	218

付 録**再生できるディスクの種類 ... 220**

DVDに表示されている マークの意味	221
ディスクの操作について	221

ディスクの構成について ... 222

DVDビデオ	222
CD	222

**WMA/MP3/AAC/
WAVファイルについて ... 223**

フォルダーとWMA/MP3/ AAC/WAVファイルについて ...	223
WMAとは?	223
MP3とは?	224
AACとは?	225
WAVとは?	225

ナビゲーションのしくみ ... 226

現在地がわかるしくみ	226
測位の精度を高めるためのしくみ ...	226
誤差について	227

故障かな?と思ったら	229
ナビゲーション	229
オーディオ	229
エラーメッセージと対処方法	234
共通項目	234
ナビゲーション	234
オーディオ	235
センサーメモリーの リセットについて	239
センサー学習状態の リセットが必要な場合	239
センサー学習状態の リセットのしかた	239
その他の情報	240
検索における データベースについて	240
ルートに関する注意事項	240
VICS情報に関する注意事項	241
シティマップ(詳細市街地図) 収録エリア	242
阪神高速道路株式会社からの ご連絡	245
収録データベースについて	245
索引	249
メニュー索引	249
用語索引	250
記号・マーク一覧	259

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持する上で注意していただきたいことについて説明しています。
	メモ 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
	タッチキーを表します。 例：戻るにタッチする
←ワイプ	ワイプ操作を表します。例えば左へのワイプ操作を「←ワイプ」と表記します。
	ナビゲーション本体についているボタンを表します。 例：メニューを押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→「場所を探す」(P40)
つづく→	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。
長く押す／ 長くタッチする	「ピッ」と音がするまで押す(タッチする)ことを示します。
押し続ける／ タッチし続ける	押ししている(タッチしている)間だけ動作していることを示します。

メモ

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記しています。
- 本書では、iPod、iPhoneを総称して「iPod」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

基本操作	12
タッチパネルで操作する	12
ワイブ操作	12
ボタンで操作する	13
画面の切り換えかた	13
ナビゲーション画面と	
AVソース画面を切り換える	13
画面を一時的に消す(ナビスタンバイ)	13
リスト画面の操作	14
基本的なリストの操作	14
50音タブの操作	14
サイドマップ表示時の50音タブの操作	14
チェックリストの操作	14
インジケーター付リストの操作	15
文字の入力操作	16
文字入力の方法を切り換える	16
文字の入力操作の流れ	16
文字の種類を切り換える	16
文字を入力する	17
基本操作	17
全角・半角を切り換える	17
濁点、半濁点、大文字／小文字を切り換える	17
アルファベットの大文字／	
小文字を切り換える	17
カーソル位置を動かす	18
文字を削除する	18
スペースを空ける	18
文字を挿入する	18
無変換、変換を行う	19
無変換入力をする	19
変換入力をする	19
文字入力を終了する	19
URLの入力について	19
かな漢字変換できる記号	20

基本操作

本機の基本操作について説明します。

タッチパネルで操作する

画面上に表示されるマークや項目（操作タッチキー）に直接指で触れる（タッチする）ことで操作することができます。



操作例：

終了	現在開いているメニューなどを終了して元の画面に戻ります。
戻る	現在開いているメニューなどの画面を1つ前の画面に戻します。

ワイプ操作

画面に触れた指を上下左右に動かして、基本的な機能を操作することができます。

1 ワイプ反応エリアをタッチする

例：交差点案内図



ワイプ反応エリア

ワイプ操作ガイド画面が表示されます。

2 そのまま指を離さずに、行きたい操作の方向へ指をスライドして離す



選んだ機能が動作します。

ワイプ操作が可能な機能と画面は以下の通りです。操作内容について、詳しくは各ページの「ワイプで操作する場合」をご覧ください。

ナビゲーション機能

- 交差点案内図 (→ P56)
- 渋滞考慮オートリルート (→ P61)
- 通行止め考慮オートリルート (→ P62)

オーディオ機能

- 交通情報 (→ P133)
- CD (→ P146)
- ROM (→ P148)
- DVDビデオ (→ P152)
- DVD-VR (→ P158)
- FM (→ P130)
- AM (→ P130)
- TV (→ P134)
- SD/USB (→ P168)
- iPod (→ P174)
- Bluetooth Audio (→ P180)
- AUX (→ P186)
- VTR (→ P187)

携帯電話機能

- 電話着信中 (→ P198)

メモ

- ワイプ反応エリアは、表示された画面によって異なります。

ボタンで操作する

本機のボタンを使って、画面の切り換え、メニュー画面の表示、オーディオの操作などを行うことができます。

また、ステアリングスイッチ（装備車のみ）を使って一部のオーディオ操作を行うこともできます。ステアリングスイッチの操作については、『スタートブック』をご覧ください。

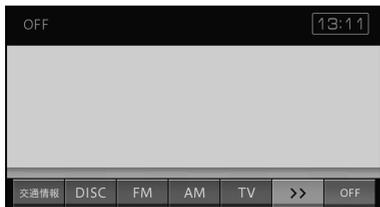
画面の切り換えかた

ナビゲーション画面とAVソース画面を切り換える

ナビゲーション画面（地図画面）とAVソース画面（オーディオ画面）をワンタッチで切り換えることができます。

1 ナビゲーション画面で **AV** を押す

▼
AVソース画面が表示されます。

2 AVソース画面で **現在地** を押す

▼
ナビゲーション画面が表示されます。



メモ

- AVソース画面を表示している状態でも、以下の情報が割り込み表示される場合があります。
 - データ更新開始メッセージ(→P218)
 - VICS緊急情報の自動表示(→P78)
 - 交差点案内表示(→P56)
- AVソース画面への割り込み表示（交差点案内表示のみ）は、ON / OFFすることができます。→「機能設定をする」(P86)

画面を一時的に消す
(ナビスタンバイ)

夜間、画面がまぶしい場合など、一時的に画面を消すことができます。

1 **現在地** を長く押す

▼
画面が一時的に消えます。

メモ

- ナビスタンバイ中に画面にタッチすると、元の画面に戻ります。また、**現在地** を押すとナビスタンバイを解除して現在地画面を表示します。**AV** を押すとナビスタンバイを解除してAVソース画面を表示します。
- ナビスタンバイ中は、ナビゲーションの音声案内も出力されません。オーディオの音声は出力されます。
- カメラ機能(→P194)を使用中は、一時的にナビスタンバイモードを解除します。カメラ機能の使用が終了した時点で、自動的にナビスタンバイモードに戻ります。
- ナビスタンバイはACCのON/OFFをしても解除されません。

リスト画面の操作

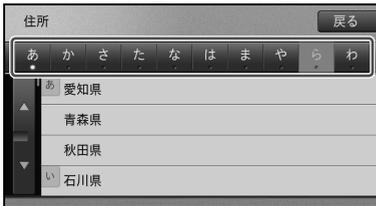
操作中表示されるリスト画面の共通操作について説明します。

基本的なリストの操作



ページ送り 1画面ずつ移動します。	▲/▼にタッチする (タッチし続けると、連続で移動します。)
タブ送り タブ付きリストでは選んだタブのリストに切り換わります。	タブ(例: ルート・案内)にタッチする

50音タブの操作



行送り リストを行送りすることができます。 (例:あ→か→さ→た→な)	タブ(あ~わ)にタッチする
音送り リストを音送りすることができます。 (例:あ→い→う→え→お)	タブ(例:あ)に繰り返しタッチする

サイドマップ表示時の50音タブの操作



あかさたな送り
リストを次ページに送ることができます。
▶にタッチする
(例:あかさたな→はまやらわ)

メモ

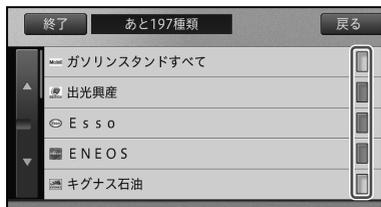
- 前ページのリストに戻るには、◀にタッチします。
- サイドマップについては、「サイドマップについて」(→P31)を参照してください。

チェックリストの操作



チェックリストでは、項目にタッチすると☑(チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度項目にタッチすると☑が消え、選択が解除されます。

インジケータ付リストの操作



インジケータ付リストでは、項目を選ぶとリスト右側のインジケータが点灯し、選択中であることを示します。もう一度項目を選ぶとインジケータが消灯し、選択が解除されます。

場所の名前や電話番号などを登録するときは、文字や数字を入力します。ここでは、メニュー操作中に表示される、文字や数字の入力操作のしかたについて説明します。

メモ

- 英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号、URLが入力できます。
- 項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、名称検索の場合、ひらがな入力以外は選べません。
- 本機は、文字入力変換システムに、株式会社ジャストシステムの「ATOK®」を使用しています。

文字入力の方法を切り換える

本機の文字入力は、2種類の方法(キーボード方式と携帯電話方式)から選んで行うことができます。

1 または にタッチする



タッチすることにより、以下のように切り換わります。

キーボード方式



携帯電話方式



文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

文字の種類を切り換える → 文字を入力する → 無変換、変換を行う → 文字入力を終了する

文字の種類を切り換える

1 文字の種類にタッチする



文字の種類が切り換わります。

メモ

- 漢字変換入力をするには、**かな** にタッチします。
- カタカナ入力をするには、一度ひらがな入力に切り換えたあと、**カナ** にタッチします。

文字を入力する

基本操作

キーボード方式で入力する場合

1 入力したい文字にタッチする



携帯電話方式で入力する場合

1 入力したい文字が表示されるまで、キーをタッチする



入力例 1: にほん

- な**に2回タッチする → 「[に」
- は**に5回タッチする → 「[にほ」
- わ**に3回タッチする → 「[にほん」

入力例 2: おおた

- あ**に5回タッチする → 「お」
- >**にタッチする → 「お_」
- あ**に5回タッチする → 「おお」
- た**に1回タッチする → 「おおた」

全角・半角を切り換える

カタカナ、英字、数字、記号の場合は全角・半角を切り換えることができます。

1 全角または半角にタッチする

全角または半角に切り換わります。

濁点、半濁点、大文字／小文字を切り換える

ひらがなやカタカナの場合は、選んだ文字により濁点・半濁点を追加したり、小文字に切り換えることができます。

1 小文字にタッチする

タッチすることにより、カーソル左側の文字が以下のように切り換わります。

小文字 → 濁点 → 半濁点 → 元の文字
に戻る

- 例 1: ツ → ツ → ツ → ズ → ツ
- 例 2: ハ → ハ → バ → パ → ハ

アルファベットの大文字／小文字を切り換える

アルファベット入力中は、大文字／小文字を切り換えることができます。

1 大／小文字にタッチする

タッチすることにより、大文字と小文字が切り換わります。

カーソル位置を動かす

1 画面右上の◀・▶にタッチする

▼
タッチした分だけカーソルの位置を移動することができます。

メモ

- 文字入力中の場合、カーソルは同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。
- パスワードまたは伏字や検索中の入力画面の場合は、◀ ▶でカーソルを移動させることはできません。
- 漢字変換中の場合は、変換する文字の範囲を変更できます。

文字を削除する

1 削除したい文字の右側にカーソルを移動させ、削除にタッチする

▼
タッチするごとに、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。カーソルが左端にある場合は、右端の文字が削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

メモ

- **削除**に長くタッチすると、全ての文字を一度に削除することができます。

スペースを空ける

1 スペースを空けたい文字の右側にカーソルを移動させ、スペースにタッチする

▼
タッチした分だけスペースが挿入されます。



文字を挿入する

1 文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動させる

▼
カーソルの位置に文字を挿入することができます。

メモ

- カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。

かな漢字変換できる記号

学術記号

読み	記号
いこーる	=
ごうどう	≡
だいなり	>
しょうなり	<
ばつ	×
ふとうごう	≠ < > ≦
	≧ ≪ ≫
ぶらす/たす	+
まいなす/ひく	-
ぶらすまいなす	±
むげん/むげんだい	∞
なぜならば	∴
ゆえに	∵
かける	×
わる	÷

ギリシア文字

読み	記号
あるふあ/あるふあー	A α
いーた	H η
いおた	I ι
いぶしろん	E ε
うぶしろん	Y υ
おーむ/おめが	Ω ω
おみくろん	O o
かい/きー	X x
かっぱ	K κ
がんま/がんまー	Γ γ
くしー/ぐざい	Ξ ξ
しーた	Θ θ
じーた	Z ζ
しぐま	Σ σ
たう	T τ
でるた	Δ δ
にゅー	N ν
ばい/ぴー	Π π
ふあい/ふいー	Φ φ
ぶさい/ぶしー	Ψ ψ
べーた	B β
みゅー	M μ
らむだ	Λ λ
ろー	P ρ

括弧

読み	記号
かっこ	" " ' ' () []
	□ □ ▨ ▩ ◊ ◈
	「 」 『 』 []

記号・マーク

読み	記号
くろぼし	★
くろまる	●
しろぼし	☆
しろまる	○
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
しかく	◇ ◆ □ ■
ずけい	☆ ★ ○ ●
	◎ ◇ ◆ □
	■ ▲ ▽ ▼
まる	○ ● ◎
にじゅうまる	◎
ひしがた	◇ ◆
ほし	☆ ★
おす	♂
めす	♀
ゆうびん	〒

単位

読み	記号
えん	¥
おんぐすとろーむ	Å
せっし	℃
せんと	¢
たんい	° ' " °C
	¥ \$ € £
	%
ど	° °C
どる	\$
ばーせんと	%
ばーみる	‰
びょう	”
ふん	′
ぽんど	£

点

読み	記号
だくてん	˘
てん	˙, ……
はんだくてん	˚
まる	◦ .

矢印

読み	記号
やじるし	→ ← ↑ ↓

その他

読み	記号
あすたりすく/	*
あすてりすく	*
あっとまーく	@
あんぱさんど	&
おんぶ	♪
から/ないし	~
こめ/ほし	※
しゃーぷ	#
しゃせん	/ \
せくしょん	§
だがー	†
だぶるだがー	‡
ふらっと	b

ナビゲーション基本操作

ナビゲーションの基本操作	22
ナビメニューの操作	22
エコマネージャーメニュー	22
目的地メニュー	22
設定・編集メニュー	23
携帯電話メニュー	23
情報メニュー	23
ショートカットメニューの操作	24
地図画面の操作	25
現在地画面を表示する	25
現在地画面の見かた	25
地図を動かす(スクロール)	26
スクロール画面の見かた	27
地図のスケールを変える	27
地図の表示方法を変える	27
表示方法の種類	28
地図の向きを変える	28
100mスケール一方通行表示をON/OFFする	29
文字の拡大表示をON/OFFする	29
スケールを登録する	30
ロゴマークの表示設定をする	30
ロゴマークを非表示にする	31
サイドマップについて	31
サイドマップ画面の操作	32
セーフティインフォメーション	32
eスタート案内について	33
走行中表示される画面について	33
信号機が近づくと	33
有料道路を走行すると	33
ハイウェイモードについて	33
ハイウェイモード現在地画面の見かた	33
料金表示について	34
先の施設情報を見る	34
分岐施設の分岐先の情報を見るには	35
サービスエリアや パーキングエリアで表示される情報	35
施設のイラスト表示について	36
渋滞情報表示について	36
有料道路の料金所に近づくと	36
自宅へ帰る	37
自宅を登録する	37
自宅までルート探索する	37

ナビゲーションの基本操作

ナビメニューの操作

本機のいろいろな機能を使うには、はじめにナビメニューを表示させます。

1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押す

ナビメニューが表示されます。



エコナビジャー	エコゲージやエコスコア(エコ運転診断結果)の確認を行うメニューです。
目的地	目的地や場所を探すためのメニューを表示します。
設定・編集	ナビゲーション機能の設定やオーディオ設定など、各種設定・編集に関するメニューを表示します。
携帯電話	携帯電話機能を使うためのメニューを表示します。
情報	渋滞情報や本機のシステム情報など、各種情報の操作を行うメニューを表示します。
ルート編集	ルートの編集や消去などを行うメニューを表示します。(→P64)
ルート消去	案内中のルートを消去(中止)します。(→P66)

エコナビゲーターメニュー



エコスコア	現在地画面にエコスコアを表示します。(→P207)
エコゲージ	現在地画面にエコゲージを表示します。(→P207)
エコプライズ	エコプライズのサムネイル画面を表示します。(→P208)
燃費設定	エコルート表示の計測の基準となる燃費設定を行います。(→P206)
エコ表示設定	タッチすることにより、現在地画面でのエコ表示をON/OFFします。(→P206)

目的地メニュー



自宅	自宅までのルートを探します。(→P37) 自宅が未登録の場合は自宅の登録を行います。(→P37)
電話番号	目的地の電話番号を入力して検索します。(→P40)
住所	目的地の住所を入力して検索します。(→P41)
登録地	登録済みの地点から目的地を選んで検索します。(→P41)
名称	目的地の名称を入力して検索します。(→P42)
ジャンル	目的地のジャンルを指定して検索します。(→P42)

周辺施設	自転車周辺施設のジャンルを指定して検索します。(→P43)
検索履歴	過去に検索した地点から目的地を選んで検索します。(→P45)
通信コンテンツ	通信を利用して、価格の安いガソリンスタンドを探したり、空いている駐車場を検索します。(→P120, 121)

設定・編集メニュー



ナビデータ編集	登録地や走行軌跡などのデータの編集や消去を行うことができます。(→P70, 73, 74)
ナビ機能設定	ナビゲーション機能の設定を行います。(→P86)
イージーセットアップ	画面の案内に従って、本機の基本設定を行います。(→P100)
オーディオ設定	オーディオ機能の設定を行います。(→P190)
ソース別設定	各AVソース別に機能の設定を行います。(→P143, 163, 171, 186, 187)
システム設定	カメラの入力設定やBluetoothの機器登録、カスタムボタンの設定、設定の初期化などを行います。(→P92, 110 ~ 113, 126)
リアルタイムプローブ設定	リアルタイムプローブを利用するための設定を行います。(→P106)
調整補正	ナビゲーションの案内音声、操作音の調整や自転車位置の修正などを行います。(→P98, 99, 109)
車両情報設定	車両情報の設定を行います。設定した内容が、駐車場や有料道路の料金案内などに反映されます。(→P104)

携帯電話メニュー



ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかけます。(→P200)
メモリダイヤル	メモリダイヤルを呼び出して電話をかけます。(→P200)
発着信履歴	発着信の履歴を表示します。(→P200)
リダイヤル	リダイヤルで電話をかけます。(→P201)
編集・消去	メモリダイヤルの読み込みや着信履歴の消去など、携帯電話情報の編集・消去を行うことができます。(→P202)

情報メニュー



渋滞情報	渋滞情報の確認や情報取得を行います。(→P79, 80)
データバージョン表示	本機に収録された地図データと検索データのバージョンを確認できます。(→P83)
画像表示	SDカードに保存された画像を確認できます。(→P84)
システム情報	センサー学習の状況や本機に接続された機器の情報を確認できます。(→P81, 82)
天気予報	天気予報データを取得します。(→P119)

ショートカットメニューの操作

地図を動かしたり場所を探したあとに自動的に表示されるメニューを、ショートカットメニューといいます。ルート探索や地点登録、詳細情報の表示などを行うことができます。

1 地図をスクロールまたは場所を探す(→P40)

十字カーソルの位置や地図の表示状況によって、それぞれに応じたショートカットメニューが表示されます。

スクロール画面のとき



ここを登録する	現在のカーソル位置を本機に登録することができます。(→P68)
周辺施設を探す	カーソル位置周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。(→P43)
ここへ行く	十字カーソル位置を目的地として、ルート探索を行います。(→P48)

検索結果画面のとき



情報	検索した場所に詳細情報のデータが収録されている場合は、詳細情報を表示します。(→P46)
ここを登録する	検索した場所を本機に登録することができます。(→P68)
周辺施設を探す	検索した場所周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。(→P43)
ここへ行く	検索した場所を目的地として、ルート探索を行います。(→P48)

メモ

- 検索したあとに地図をスクロールさせると**検索地点に戻る**が表示されます。タッチすると、スクロールする前の地点に戻ります。

地図画面の操作

ナビゲーションの地図表示には、自分の車(自車)の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所を表示する「スクロール画面」があります。

現在地画面を表示する

どの画面を表示していても、すばやく現在地画面に戻ることができます。

1 「現在地」を押す

現在地の地図が表示されます。



メモ

- 現在地画面を表示している状態で「現在地」を押すと、登録した地図スケール(→P30)に切り換わります(登録スケールで表示している場合は動作しません)。

現在地画面の見かた

ノーマルビュー

方位マーク
方位マークの赤い三角が北を示します。

渋滞
タッチキー

ビュー
タッチキー

広域
100m
詳細

現在の時刻

スケール表示
タッチキー
下の「」がスケールの距離を示します。
(2D表示のみ)

渋滞情報提供時刻表示

データ更新中マーク

Bluetooth接続中マーク

天気予報マーク・時刻

SDアクセス中マーク

ユーザー名称/ユーザーアイコン
現在使用中のユーザー名とユーザーアイコン(→P210)が表示されます。

自車マーク

情報ウィンドウ

軌跡表示

つづく→

メモ

- 本機を初めて使うときや、長期間使っていなかったときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。
- 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- 軌跡表示は、今までに通った約250km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5km/h未満のときは赤、5km/h以上20km/h未満のときは橙の点で表示されます。
- 情報ウィンドウは、タッチすることによって現在地情報とAV情報（AVソース名、再生中タイトル名など）を切り換えます。現在地情報の表示項目（市区町村名、走行道路名、緯度経度）は、あらかじめ設定しておくことができます。→「機能設定をする」(→P86)
- 情報ウィンドウが「市区町村名」「走行道路名」の場合は、地図スケール表示が100m以上のときに市区町村名まで表示されます。10m～50mの詳細市街地図を表示中は、市区町村名、住所名、丁目まで表示されます。場所によっては表示されないところもあります。
- 現在の時刻は、GPS衛星からの情報に基づいて表示しています。時刻の変更はできません。

地図を動かす(スクロール)

地図上の見たい場所に地図を動かします。

1 地図上の見たい方向にタッチする

タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



メモ

- 画面にタッチしたまま指を動かしてスクロールすることもでき、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。ただし、走行中はタッチした場所までしかスクロールできません。
- 8方向矢印(→P26)表示中またはシティマップ(→P28)の場合、走行中にスクロール操作を行うことはできません。

2 位置を微調整したい場合は、微調整にタッチしてから、微調整したい方向の矢印(8方向)にタッチする



矢印にタッチするごとに、地図が少しずつ動きます。

もう一度「微調整」にタッチすると、8方向の矢印が消えます。

メモ

- 微調整の操作は、地図の表示モードがノーマルビューの場合のみ可能です。

スクロール画面の見かた

ノーマルビュー



現在地から十字カーソルを結んだ線

地図のスケールを変える

10m～500kmの範囲で地図のスケールを変えることができます。

1 詳細または広域にタッチする



詳細 より詳しい地図が表示されます。表示される範囲は狭くなります。

広域 より広い範囲で地図が表示されます。細い道路などは表示されません。

メモ

- **詳細** や **広域** にタッチするごとに、10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km、200km、500kmとスケール表示が変わります。
- **詳細** や **広域** にタッチし続けると、連続してスケールを変えることができます。

地図の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

1 ビューにタッチする



2 地図の表示方法にタッチする



メモ

- ハイウェイモードは、有料道路走行中のみ選択できます。

表示方法の種類

ノーマルビュー

通常の地図(2Dの地図)で表示されます。



詳細市街地図収録エリア(→P242)では、10m～50mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます(シティマップ)。



メモ

- シティマップの境界付近では自動的に通常地図に表示が切り換わります。シティマップの境界を表示させることもできます。その場合、境界付近ではシティマップのみ表示され、境界の外側は何も表示されません。
- シティマップ表示およびシティマップ境界表示は、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P86)

スカイビュー

上空から見てのような地図(3Dの地図)が表示されます。



ハイウェイモード

有料道路走行時の専用画面です。

前方の有料道路施設までの距離や料金、予想到着(通過)時刻、分岐方向などが表示されます。ハイウェイモードについては、「ハイウェイモードについて」(→P33)をご覧ください。



地図の向きを変える

ノーマルビューでの地図表示の向きは次の2種類があります。

工場出荷時は「ヘディングアップ」です。

1 ビュー—地図方位切換にタッチする

タッチすることにより、ヘディングアップとノースアップが切り換わります。



ヘディングアップ

「進行方向」が常に上になるように、地図が自動的に回転します。



**ノースアップ**

「北」が常に上になるように表示されます。

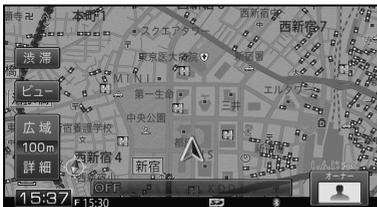
**100mスケール一方通行表示をON/OFFする**

シティマップで表示される一方通行マークを、100mスケール時でも表示させることができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 ビュー - 100mスケール一方通行表示にタッチする

タッチするごとに100mスケール一方通行表示のON/OFFが切り換わります。

**メモ**

- ・ハイウェイモードのサイドマップの場合は、表示できません。
- ・地図のスケールを100m以外に設定している場合、ONに設定すると自動的に100mスケールに切り換わります。

文字の拡大表示をON/OFFする

地図画面上に表示される地名や施設名の文字を拡大表示することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 ビュー - 地図の文字拡大表示にタッチする

タッチするごとに文字拡大表示のON/OFFが切り換わります。



スケールを登録する

それぞれの地図の表示方法ごとに、スケールを登録することができます。登録したスケールは、**現在地**を押して地図画面を表示したときのスケールとなります。

1 地図画面を登録したいスケールで表示する

2 ビュー - スケール登録 にタッチする



確認のメッセージが表示されます。

3 はい にタッチする



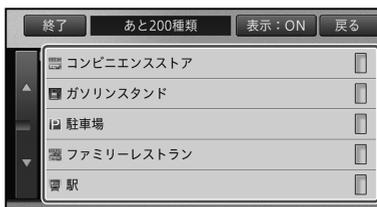
ロゴマークの表示設定をする

さまざまな施設のロゴマークを地図上に表示させることができます。

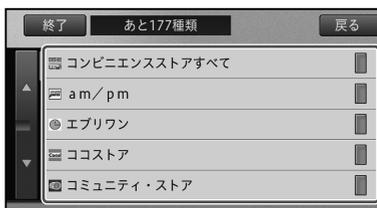
1 ビュー - ロゴマーク表示設定 にタッチする



2 ロゴマークを表示させたいジャンルにタッチする



3 ロゴマークを表示させたい施設にタッチする



選ばれた施設のインジケータが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

- インジケータは、複数選択した場合も点灯します。
- 再度施設にタッチすると、インジケータが消灯し、選択が解除されます。
- 他の施設を選ぶには、**戻る**にタッチして手順**2**の画面に戻り、手順**2**・**3**を繰り返してください。

4 **終了**にタッチする

地図画面に戻り、選んだ施設のロゴマークが表示されます。

ロゴマークを非表示にする

選んだロゴマークの表示を地図上から消すには、以下のようにします。

1 **ビュー** - **ロゴマーク表示設定**にタッチする2 **表示:ON** - **表示:OFF**にタッチする

選んだロゴマークが地図上から消えます。

メモ

- ロゴマークを再び表示するには、表示設定を**表示:ON**にします。

サイドマップについて

ハイウェイモード表示および場所を探すリスト画面、情報画面などを表示している場合は、画面右側に地図画面が表示されます(サイドマップ)。

メモ

- リストの基本的な操作については、「**基本的なリストの操作**」(→P14)をご覧ください。
- サイドマップ画面の操作については、「**サイドマップ画面の操作**」(→P32)をご覧ください。

ハイウェイモード

ハイウェイモードでは、現在地またはスクロール先の施設の地図がサイドマップに表示されます。



リスト画面

場所を探す場合などのリスト画面では、選択されている施設の周辺の地図がサイドマップに表示されます。サイドマップには、現在地や選んだ場所からの距離が表示されます。



候補表示画面

候補表示画面では、選択されている施設の場所の地図がサイドマップに表示されます。



情報画面

VICSの図形情報や文字情報画面では、情報画面とともに自転車位置周辺の地図がサイドマップに表示されます。



サイドマップ画面の操作

サイドマップ付きリスト画面では、選択されているリスト項目の位置が、サイドマップに表示されます。



情報	選択している場所の詳細情報 (→P46)を表示することができます。
ここへ行く	選択している場所を目的地としてルート探索(→P48)を行います。

メモ

- スケール表示 (100mなど) にタッチすると、スケールを変更することができます。

セーフティインフォメーション

状況に応じて安全運転のための各種案内が行われます。

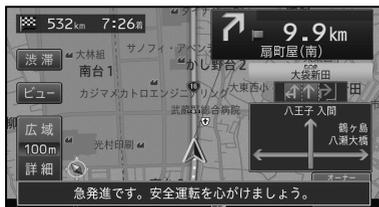
有料道注意地点・ 県境案内	<ul style="list-style-type: none"> ここからおよそ〇キロ先までは、十分運転に注意してください。 この先、右からの合流があります。ご注意ください。 この先、左からの合流があります。ご注意ください。 この先、合流があります。ご注意ください。 〇〇県に入ります。
踏切案内	この先踏切です。ご注意ください。
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
ライト点灯案内	まもなく日が暮れます。ライトの確認をしてください。
eスタート案内	急発進です。安全運転を心がけましょう。
パーキングブレーキアラート	安全を確認して、パーキングブレーキを解除してください。

メモ

- 有料道注意地点・県境案内は、有料道路を走行中のみ行われます。
- 踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、すべての踏切で案内されるわけではありません。
- 日没時刻になっても、すでにライトを点灯している場合は、ライト点灯案内は行われません。
- ナビゲーションの起動中にパーキングブレーキを検知した場合には、パーキングブレーキアラートが案内されない場合があります。
- それぞれの案内についてはON/OFFできます。→「機能設定をする」(P86)
- 以下のような条件等の場合は、案内されない場合や実際の状況と異なる案内をすることがあります。実際の交通状況や交通規則・標識などに従って運転してください。
 - 自転車位置が正しく表示されていないとき
 - 表示されている地図と実際に走行中の道路状況が異なるとき

eスタート案内について

発進開始から約5秒後までに速度が41 km/h以上を検知すると、急発進の警告メッセージと音声で案内されます。



メモ

- ・eスタート案内はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P86)

走行中表示される画面について

信号機が近づく

進行方向に対して、約300m以内の信号機のマークが最大5カ所まで表示されます。



有料道路を走行すると

有料道路を走行すると、自動的にハイウェイモードに切り換わります(オートハイウェイモード)。



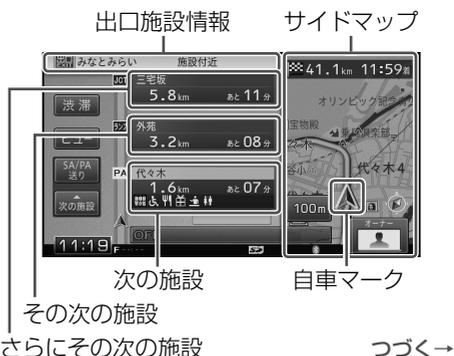
メモ

- ・オートハイウェイモードは、ON/OFF できます。→「機能設定をする」(P86)
- ・一部表示対象外の有料道路もあります。
- ・手動でハイウェイモードに切り換えるには、有料道路走行中にビュー切り換えメニューで「ハイウェイモード」を選びます。→「地図の表示方法を変える」(P27)

ハイウェイモードについて

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。また、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。本線上や分岐先の施設情報も、見ることができます。

ハイウェイモード現在地画面の見かた



メモ

- ・ハイウェイモードのサイドマップの地図方位はヘディングアップ固定となります。
- ・ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類の(IC/PA/SA/JCT/ランプ/料金所/スマートIC)と施設名および現在地からの距離と到着(通過)までの予想残り時間が表示されます。
- ・次の施設には、施設のサービス情報(→P35)と料金(通過または有料道路から降りた際に精算する施設の場合)が表示されます。
- ・サイドマップの地図部分にタッチすると、現在地や選択中の施設付近の地図を表示させることができます。
- ・**SA/PA送り**にタッチすると、サービスエリアやパーキングエリアだけを順に送ることができます。
- ・次の施設にイラスト情報が収録されている場合は、次の施設を選択するとイラストが表示されます。
- ・次の施設に分岐先路線がある場合は、分岐先を選択することができます。
- ・次の施設に分岐施設とSA/PAが併設されている場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。
- ・VICS情報を取得している場合は、VICS情報(→P76)が表示されます。
- ・ルート案内中は、有料道路出口のおよそ1km手前になると有料道路出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- ・**ビュー**にタッチすると、他の地図表示を選んで切り換えることができます。また、他の地図表示からハイウェイモードに戻すと、右画面は直前の地図表示の角度で表示されます。(例えば直前の地図表示がスカイビューの場合、ハイウェイモードの右画面は3Dで表示されます。)

料金表示について

- ・有料道路上でルートを設定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- ・料金非対応路線の場合は「不明」、料金非対応路線が含まれる場合は「〇〇円以上」と表示されます。
- ・料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道路です。→「**有料道路料金データについて**」(P248)
- ・料金表示は、車両設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り換えられます。→「**車両情報を設定する**」(P104)
- ・各種ETC割引料金については対応していません。

先の施設情報を見る

ハイウェイモード中は、施設を先送りさせて先の施設情報を見ることができます。

1 次の施設、前の施設にタッチして、表示させたい施設を選ぶ



選択中の施設

メモ

- ・先の施設に直接タッチして、その施設を選択することもできます。
- ・サイドマップ(→P31)には選択中の施設周辺の地図が表示されます。
- ・ルート案内中は、ルートに沿って施設が送られます。
- ・選択中の施設にタッチすると、選択中の施設周辺の地図を表示させることができます。地図表示した施設は、検索履歴(→P45)に登録されます。
- ・選んだ施設にイラスト情報が収録されている場合は、イラストが表示されます。
- ・選んだ施設に分岐先路線がある場合は、分岐先を選択する画面が表示されます。

- ・100施設先まで見ることができます。
- ・選んだ施設に分岐施設とSA/PAが併設されている場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。
- ・**現在地**を押すと、ハイウェイモードの現在地画面が表示されます。

分岐施設の分岐先の情報を見るには

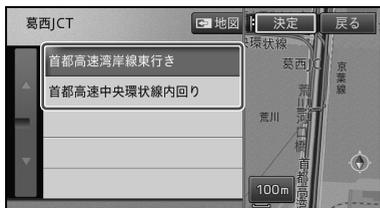
ルートが設定されていない場合は、走行中の路線に沿った施設情報を見ることができます。

ルートの有無に関係なく途中でジャンクションがある場合は、分岐先を選んで先の情報を見ることができます。

1 ジャンクションを選んで施設名にタッチする



2 見たい分岐先にタッチする



メモ

- ・**地図**にタッチすると、分岐施設がある地点の地図を表示します。確認後、**戻る**にタッチすると、分岐先を選ぶメニュー画面に戻ります。

分岐先の路線が表示されます。



サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

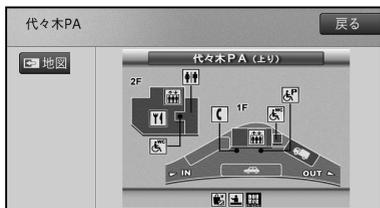
	店舗情報
	身障者用トイレ
	レストラン
	ショッピングコーナー
	ハイウェイオアシス
	ドッグラン
	仮眠休憩所
	スナックコーナー
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	風呂
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス
	トイレ

メモ

- ・店舗情報は、施設への到着予想時刻と営業時間が考慮され、利用できる施設(例:)と利用できない施設(例:)が区別されて表示されます。(営業時間考慮表示)
- ・同時に表示される情報は8個までです。9個以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9個目以降は表示されません。
- ・隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。

施設のイラスト表示について

SAやPAなどの施設にタッチしたときに、施設のイラスト情報が収録されている場合に表示されます。



メモ

- **地図表示** にタッチすると、SAやPAがある地点の地図を表示します。

有料道路の料金所に近づく

ETCレーン案内表示がONに設定されている場合は、ETCレーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づく、ETCレーン案内が表示されます。



メモ

- ETCレーン案内表示はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P86)
- ETCレーン案内表示は、実際の看板と異なる場合があります。
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。
- イージーセットアップ (→P100) のETC取付状態設定で、「車に取り付けている」に設定した場合は、自動的にETCレーン案内表示の設定が「ON」になります。

渋滞情報表示について

渋滞情報を取得している場合は、自車位置に最も近い混雑状況(渋滞または混雑)および規制情報が近い順に3件まで画面に表示されます。



メモ

- 施設間で交通規制があるときは、渋滞情報マーク(→P78)が表示されます。

自宅へ帰る

自宅を登録すると、全国どこへ出かけていてもかんたんな操作で自宅までのルート案内を行うことができます。

自宅を登録する

自宅を登録しておくで、かんたんな操作で自宅へのルート探索ができます。

1 自宅に車を止め、ナビゲーション画面で「メニュー」を押し、「目的地」-「自宅」-「はい」にタッチする



▼
自宅が登録されます。

メモ

- 自宅を新規に登録すると、「自宅」という名前と自宅マークが自動的に入力されます。
- 自宅以外の場所に停車しているときは、「場所を探す」(→P40)を参照して自宅の場所を探してください。
- イージーセットアップ(→P100)で登録することもできます。
- 場所を探して登録するとき、自宅として登録することもできます。→「場所を登録する」(P68)
- 自宅の位置は変更できます。→「登録地の登録内容を編集する」(P70)
- すでに自宅が登録済みの場合は、登録済みの自宅を削除(→P71)してから行ってください。場所を登録する操作およびイージーセットアップで自宅を登録し直す場合は、自宅を上書きできます。

自宅までルート探索する

登録した自宅を目的地として、ルート探索を行います。

1 「メニュー」を押し、「目的地」-「自宅」にタッチする



▼
自宅までのルートが最大6本まで探索されます。「案内開始」にタッチするか、パーキングブレーキを解除すると、ルート案内が開始され、状況に応じて画面と音声でルート案内が行われます。自宅に近づくるとルート案内は終了します。

メモ

- カスタム設定(→P112)で「自宅へ帰る」を割り当てている場合は、 (カスタムボタン)を押して操作することもできます。この場合探索されるルートは1本となり、探索が終了すると自動的にルート案内が開始されます。

場所を探す	40
地図で探す	40
電話番号で探す	40
住所で探す	41
登録地から探す	41
名称で探す	42
ジャンルで探す	42
周辺施設を探す	43
ロゴマークの表示を解除するには	44
検索履歴から探す	45
詳細情報を見る	46

場所を探す

ナビゲーションの操作は場所(行き先、立寄地などの目的地)を探すことから始まります。目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。

メモ

- 検索した場所によっては、表示された地図が目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージが表示され、代表地点の地図が表示されます。
- 施設を検索した場合、検索後はそのままスクロールせずに目的地に設定してください。例えば高速道路上の施設を検索後にスクロールさせて目的地に設定すると、一般道路上が目的地になる場合があります。
- 自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所では、地図をスクロールして近くの道路の上に目的地を設定してください。周囲の道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。
- 検索した場所(施設)に駐車場データが収録されている場合、その施設の駐車場を目的地として案内する場合があります。(駐車場ポイントリンク)

地図で探す

地図上で探すことができます。

1 地図をスクロールさせて、目的の場所に十字カーソルを合わせる



以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P24)を参照してください。

電話番号で探す

行き先の電話番号を入力して探すことができます。

1 **メニュー** を押し、**目的地** **電話番号** にタッチする

2 電話番号を入力する



電話番号を全桁入力すると自動的に検索を始めます。自動的に検索を開始しない場合は、**入力終了** にタッチします。

メモ

- 市外局番と市内局番は必ず入力してください。
- 10桁まで入力できます(090、080、070、050で始まる電話番号は11桁まで入力できます)。
- ダイヤルQ2(0990-〇〇)、携帯電話、短縮ダイヤルは、対象外です。ただし、該当する電話番号が登録地点に登録されている場合は検索できます。

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P24)を参照してください。

住所で探す

住所や地名で探すことができます。

- 1 **メニュー** を押し、**目的地** — **住所** にタッチする
- 2 都道府県名、市区町村名、地名の順にタッチする



- 3 リストから番地を選んでタッチする



メモ

- **主要部** にタッチすると、選んだ地域の代表地点の地図が表示されます。
- **番地入力** にタッチすると、番地を入力して指定することができます。
- 番地直接入力の場合で、番地を入力しないで **入力終了** にタッチすると、丁目または住所名の代表地点が検索されます。
- 住所に大字・小字を含む場合は、それぞれを入力します。

入力した住所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P24)を参照してください。

登録地から探す

登録した場所のリストから探すことができます。

- 1 **メニュー** を押し、**目的地** — **登録地** にタッチする
- 2 目的の場所にタッチする



メモ

- **並べ替え** にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとリストを並べ替えることができます。

呼出日時順	登録または呼び出しの日時順に並べ替えます。
近い順	自転車位置またはスクロール地点から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークごとに並べ替えます。

選んだ登録地を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P24)を参照してください。

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 **メニュー** を押し、**目的地** — **名称** にタッチする

2 施設の名称をひらがなで入力し、**候補表示** にタッチする



ジャンル ジャンルによる絞り込みができます。

エリア 都道府県による絞り込みができます。

メモ

- ひらがな以外の入力はできません。カタカナ、漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、すべてひらがなで入力します。
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます(キーワード検索)。
- 濁音(°)や半濁音(ˆ)の入力は省略できます。また、促音(よ)などは(よ)などで代用できます。
- 名称は20文字目まで入力できます。
- 検索方法は、入力した文字数に最も近い文字数の施設を表示します。
- 完全一致、ジャンル一致、部分一致の区別および絞り込まれている場合の件数は、入力した文字の横に表示されます。
- 入力された内容や絞り込み条件によっては、検索の結果、該当するデータが無い旨のメッセージが表示される場合があります。

3 目的の施設をリストから探す



近い順 自車位置から半径10km以内の施設を近い順に並び替えます。

50音順 五十音順に並び替えます。

メモ

- 近い順は、自車位置から半径10km以内に施設がない場合は、半径30km以内の施設を近い順で表示します。半径30km以上の施設は、並び替え表示できません。

4 施設名称にタッチする

施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P24)を参照してください。

ジャンルで探す

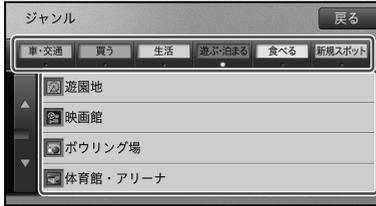
ジャンルタブから各種施設を探すことができます。

タブで絞り込めるジャンル

- 車・交通
- 買う
- 生活
- 遊ぶ・泊まる
- 食べる
- 新規スポット

1 **メニュー** を押し、**目的地** — **ジャンル** にタッチする

2 絞り込むジャンルのタブにタッチし、さらに絞り込むジャンルにタッチする



3 検索方法を選んでタッチする



自車周辺で探す 周辺で探す	自車位置周辺の施設を検索します。
カーソル位置周辺で探す (地図スクロールのみ)	カーソル位置周辺の施設を検索します。
エリア指定	エリアを絞り込んで検索できます。
路線順 (車・交通機関のみ)	路線別に絞り込んで検索できます。

メモ

- 表示される検索方法は、選んだジャンルによって異なります。

4 目的の施設にタッチする



施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P24)を参照してください。

周辺施設を探す

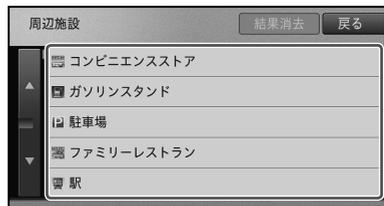
ガソリンスタンドやレストランなど、現在地やルート周辺、スクロール先周辺の施設を最大100件まで探すことができます。

メモ

- ショートカットメニュー(→P24)の**周辺施設を探す**にタッチして操作することもできます。

1 **メニュー** を押し、**目的地** **周辺施設** にタッチする

2 ジャンルにタッチする



3 詳細ジャンルがある場合は、ジャンルを絞り込む

つづく→

4 目的の施設にタッチする



自転車周辺	自転車周辺の施設を検索します。
ルート周辺	案内中のルート周辺の施設(ルート案内中のみ)を検索します。

メモ

- スクロール位置から操作した場合は、**自転車周辺**および**ルート周辺**は表示されません。
- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフードを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設(例: 🚗)と利用できない施設(例: 🚫)が区別されて表示されます。(営業時間考慮検索)
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- コンビニでは、酒(🍷)・タバコ(🚬)を取り扱う店がわかるように表示されます。
- ファストフードでは、ドライブスルー(🚗)対応の店がわかるように表示されます。
- 🚫、🍷、🚬、🚗は一部表示されない施設もあります。
- 駐車場は、「車両情報を設定する」(→P104)の「駐車制限」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は(🚫)と表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります)
- 駐車場の詳細選択でデパート提携駐車場を検索することもできます。
- ルート案内中で自車がルート上にあるときは、ルート周辺を優先して検索します。自転車の周辺で探す場合は**自転車周辺**にタッチします。
- ルート周辺で探す場合は、案内中のルート前方両側約200m以内、前方約30km以内の範囲から検索されます。自転車周辺またはスクロール位置で探す場合は、自転車位置またはスクロール位置の半径約10kmの範囲から検索されます。半径約10kmの範囲内に施設が見つからなかった場合は、半径約30kmの範囲から検索されます。

5 施設名にタッチする

選んだ施設を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。また検索した施設のロゴマークが、地図上に表示されます。以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P24)を参照してください。

ロゴマークの表示を解除するには

1 P43「周辺施設を探す」の手順2で結果消去にタッチする



ロゴマークが消去されます。

メモ

- 車のエンジンスイッチをOFFにしてもロゴマークを消去できません。

検索履歴から探す

過去に検索した場所や目的地とした場所、ハイウェイモード中に地図表示した施設から探すことができます。

- 1 **メニュー** を押し、**目的地** - **検索履歴** にタッチする
- 2 **目的の施設(履歴名)** にタッチする



▼
選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。
以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P24)を参照してください。

詳細情報を見る

目的地メニューを使って探した場所については、その場所の情報が収録されている場合に限り詳細情報を表示することができます。

メモ

・利用した目的地メニューの項目によって、表示できる詳細情報の内容が異なります。

1 目的地メニューを使って場所を探す(→P40)

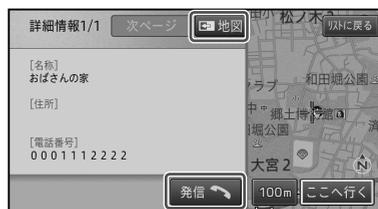
2 情報にタッチする

3 情報を確認する

電話番号／住所／名称／ジャンル／周辺施設／通信コンテンツから探した場合：



登録地／検索履歴から探した場合：



発信	登録されている電話番号に電話をかけます。(→P199)
地図	地図画面が表示されます。

次ページ	次のページに切り換えます。
地図	地図画面が表示されます。
ここへ行く	表示した地点までのルートを探します。
発信	登録されている電話番号に電話をかけます。(→P199)

メモ

・詳細情報には、施設のアイコンが表示されます。

駐車場あり：**P**

ATMあり：**ATM**

お酒の取り扱い(コンビニ)：**酒**

タバコの取り扱い(コンビニ)：**タバコ**

ドライブスルー(ファストフード)：**ドライブスルー**

上記アイコンは、一部表示されない施設もあります。

ルートを探索する	48	ルート誘導・案内	55
ルート案内開始画面の見かた	49	ルート案内中の現在地画面	55
ルートプロフィールで確認する	50	案内地に近づくと	56
他のルートを選ぶ	50	案内地のイラスト表示	56
スクロール確認画面の操作	50	都市高速道路の入口に近づくと	57
ルート地図を表示する	51	有料道路の分岐に近づくと	57
詳細ルート設定をする	51	有料道路の出口や料金所を通過すると	57
立寄地を追加する	51	音声による誘導・案内	58
乗降IC（インターチェンジ）を指定する	52	進行方向案内	58
出発地を指定する	53	一般道路走行時の案内	59
ルート探索機能について	54	有料道路走行時の案内	60
学習ルート探索	54	ルート案内中の操作と機能	61
スマートICを考慮したルート探索	54	ルートから外れたときに	
渋滞情報を考慮したルート探索 （渋滞考慮ルート探索）	54	自動的にルートを再探索する	61
時間規制を考慮したルート探索	54	状況に応じて新しいルートを提案する	61
		ルート上に通行止めが発生した場合	62
		ルート上の渋滞情報を案内させる	62
		渋滞オートガイド	62
		渋滞チェック	63
		ルートを編集する	64
		ルートプロフィールで確認する	64
		条件を変えてルートを再探索させる	64
		ルートを消去する	65
		立寄地を先送りする	65
		デモ走行で確認する	65
		ルートを消去する	66

ルートを探索する

検索した場所を「目的地」として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

1 場所を探す(→P40)

2 ここへ行くにタッチする



メモ

- 目的地の近くに有料道路があるときは、[一般道路]か[有料道路]を確認する画面が表示される場合があります。その場合はどちらかを選んでください。
- 渋滞考慮ルート探索(→P54)が「ON」の場合は、取得しているリアルタイムプローブ情報を考慮したルート探索を行います。
- すでにルートが設定されている場合は、探した場所を目的地にするか立寄地にするかのポップアップ画面が表示されます。**目的地**にタッチすると、現在の目的地を消去し、新しい目的地を行き先としてルートを探索します。**立寄地**にタッチすると、目的地はそのまま、探した場所に立ち寄るルートを探索します。

▼
ルート案内開始画面が表示されます。



ルートプロフィール

出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金(有料道路を使用する場合)や通過予想時刻などの情報を確認できます。(→P50)

詳細ルート設定

立寄地指定(→P51)、乗降IC指定(→P52)、出発地指定(→P53)ができます。

他のルート

(探索ルートが複数の場合)現在選ばれているルートとは異なる探索条件のルートを選ぶことができます。(→P50)

ルート地図

(探索ルートが1本の場合)立寄地などを指定して、探索されたルートが1本の場合、ルート全体が1画面におさまるように表示されます。(→P51)

ルート地図画面では、地図のスクロール(→P26)とスケール変更(→P27)ができます。

案内開始

現在選ばれているルートで案内を開始します。

メモ

- パーキングブレーキを解除することで、案内を開始させることもできます。
- 最初に表示されるルートは、「ルート探索基準」(→P88)、「有料道路使用条件」(→P88)の探索条件に従ったルートになります。
- 立寄地や乗降ICを指定した場合、探索されるルートは1本のみとなります。

ルート案内開始画面の見かた

探索条件

現在選ばれているルートの探索条件が表示されます。

ルート表示

現在選ばれているルートが概略表示されます。

IC表示(インターチェンジ)

利用する有料道路の最初のICと最後のICが表示されます。



メニュー表示

📏 (距離)

選ばれているルートの総距離が表示されます。

🕒 (所要時間)

機能設定(→P86)で設定した到着予想時刻速度を元に計算した所要時間が表示されます。

¥ (料金)

利用する有料道路の料金区分と料金が表示されます。

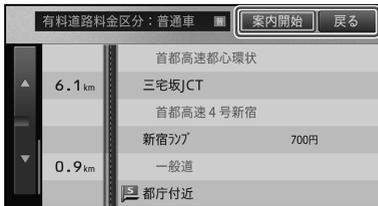
📝 メモ

- ルート案内開始画面は、ノースアップ(→P29)となります。
- 渋滞情報(→P76, 116)が取得できている場合は、渋滞を考慮した所要時間が表示されます。
- 料金区分と料金表示は、「車両情報を設定する」(→P104)により設定された「有料道路料金区分」の料金で表示されます。
- 表示される料金は、各種ETC割引料金に対応していません。
- 料金非対応路線を含むルートの場合、「〇〇円以上」と表示されたり、「不明」と表示されることがあります。
- サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されないことがあります。

ルートプロフィールで確認する

1 ルートプロフィールにタッチする(→P48)

ルートの情報がルートプロフィールとして表示されます。



2 案内開始 または 戻る にタッチする

メモ

- ルート編集メニュー(→P64)からの操作では、案内開始ではなく、終了が表示されます。

他のルートを選ぶ

1 他のルートにタッチする(→P48)

2 1～6の番号でルートを選び案内開始にタッチする



地図スクロール スクロール確認画面(→P50)でスケール変更と地図のスクロールができます。

メモ

- 最大6本の候補ルートから選ぶことができます(候補ルートが同じになる場合もあります)。
- 現在選ばれているルートの探索条件は画面に表示されます。
- 推奨ルートは必ずしも最短時間になるルートとは限りません。
- 燃費設定(→P206)をしている場合、ルート探索結果の中から最も燃料消費量の少ないルートをエコルート(ECO)として表示させることができます。

スクロール確認画面の操作

スクロール確認画面では、地図のスクロール(→P26)とスケール変更(→P27)ができます。



また、候補切換にタッチするごとに、ルートが切り換わり、案内開始にタッチすると選んだルートで案内を開始します。



ルート地図を表示する

- 1 **ルート地図**にタッチする
(→P48)
- 2 **案内開始**または**戻る**にタッチする



ルート地図画面では、地図のスクロール(→P26)とスケール変更(→P27)ができます。

詳細ルート設定をする

立寄地を追加する

ルート上に立寄地を追加して、立寄地を経由するルートを案内させることができます。

メモ

- すでに案内中のルートがある場合は、ショートカットメニュー(→P24)で**ここへ行く**にタッチすると、目的地にするか立寄地にするかのポップアップメニューが表示されます。**立寄地**にタッチして、立寄地を追加することができます。
- 立寄地の追加を行うと、その時点で通過済みの立寄地はすべて自動的に削除されます。

1 詳細ルート設定 - 立寄地指定にタッチする(→P48)



2 追加にタッチする



3 場所を探して(→P40)立寄地を決め、決定にタッチする



メモ

- 立ち寄る順番に指定します。
- あとから順番を並べ替えることもできます。

4 探索開始にタッチする



追加	さらに立寄地を追加します。
削除	立寄地を削除します。
並べ替え	ルート全体の総距離が短くなるように並べ替えます。
オート	
並べ替え	立ち寄る順番を指定して並べ替えます。
マニュアル	

メモ

- さらに立寄地を追加するとき、手順**2**～**3**の操作を繰り返します。
- 立寄地は最大5カ所まで指定することができます。
- 乗降ICを指定(→P52)した地点は並び替えできません。

指定した立寄地に立ち寄るルートが1本だけ探索され、案内開始画面(→P48)が表示されますので、**案内開始**にタッチします。

乗降IC (インターチェンジ) を指定する

有料道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。

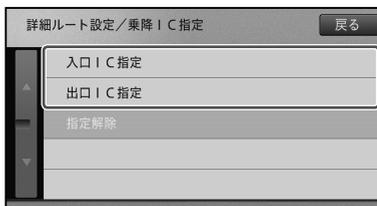
メモ

- 指定できるインターチェンジは、最初に探索されたルートの最初の入口、最後の出口、またその入口/出口の前後3施設の計7施設から選択することができます。複数の有料道路を使用するルートの場合、途中のインターチェンジは、変更できません。
- 並べ替えや立寄地の追加または削除を行うと、指定した乗降ICは解除されます。
- スマートIC考慮ルート探索が機能している場合は、スマートICを乗降ICとして指定することもできます。→「スマートICを考慮したルート探索」(P54)

1 詳細ルート設定 - 乗降IC指定にタッチする(→P48)



2 入口IC指定または出口IC指定にタッチする



3 入口または出口となるインターチェンジにタッチする



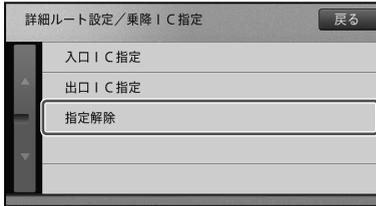
指定したインターチェンジを通るルートが探索されます。

メモ

- ジャクション (JCT) を選ぶと、分岐先の有料道路のインターチェンジリストが表示されます。

乗降 IC 指定を解除するには

1 P52の手順2で指定解除にタッチする



2 入口・出口 / 入口のみ / 出口のみにタッチする



3 はいにタッチする

乗降 IC 指定を解除して、ルートが探索されます。

出発地を指定する

指定した出発地からルートを探ることができます。

1 詳細ルート設定 - 出発地指定にタッチする(→P48)



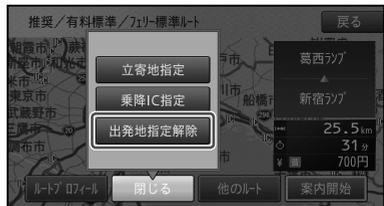
2 場所を探して(→P40)出発地を決め、決定にタッチする



指定した場所を出発地としたルートが探索されます。

出発地を解除するには

1 P53「出発地を指定する」の手順1で出発地指定解除にタッチする



2 はいにタッチする

出発地指定を解除して、ルートが探索されます。

ルート探索機能について

学習ルート探索

出発地、立寄地、目的地付近でよく使う道を考慮してルート探索を行います。

メモ

- 学習ルート探索はON/OFFできます。→「**機能設定をする**」(P86)
- 学習したルートを表示する機能はありません。
- 学習した道が必ず使われるとは限りません。
- よく使う道が無くなってしまったときや変更した場合などは、学習ルートを消去(→P73)してから新しいルートを学習させてください。ただし、消去を行うと学習したすべてのルートが消去されますのでご注意ください。

スマートICを考慮したルート探索

スマートICとは、ETC専用の簡易インターチェンジのことをいいます。スマートIC考慮ルート探索が「ON」に設定されている場合は、スマートICを乗降ICの対象としてルート探索を行います。

メモ

- スマートIC考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「**機能設定をする**」(P86)
- すでに案内中のルートがある場合は、設定変更できません。
- スマートICに営業時間がある場合は、営業時間を考慮したルート探索を行います。スマートICの営業時間は、時間規制(→P54)と同様に考慮されます。
- スマートICは施設管理者の都合で閉鎖される場合があります。この場合はルート案内の対象となっても実際には利用できませんのでご注意ください。
- イージーセットアップ(→P100)のETC取付状態設定で、「車に取り付けている」に設定した場合は、自動的にスマートIC考慮ルート探索の設定が「ON」になります。

渋滞情報を考慮したルート探索 (渋滞考慮ルート探索)

リアルタイムプローブ渋滞情報(→P116)を取得している場合、渋滞情報をもとに渋滞や交通規制を考慮してルート探索を行います。

メモ

- 渋滞考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「**機能設定をする**」(P86)
- 渋滞情報が取得できないときは、渋滞考慮ルート探索はできません。
- リアルタイムプローブ渋滞情報を取得していないときは、FM多重放送による規制情報のみが考慮されます。
- 必ずしも実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。

時間規制を考慮したルート探索

通行規制の地域や時刻を考慮したルート探索を行います。

メモ

- 目的地によっては、時間規制考慮ルート探索の結果、探索できない場合があります。その場合はメッセージが表示され、規制を無視するか無視しないかを選ぶことができます。
- 時間・曜日・月日の条件付きで時間規制考慮ルート探索を行う場合は、探索開始時刻を基準に考慮します。

ルート誘導・案内

ルート案内中の表示や音声案内について説明します。

ルート案内中の現在地画面



メモ

- 案内中のルートは、一般道が緑色で有料道路は青色で道塗り表示されます。また、出発地付近、立寄り地付近、目的地付近は細街路まで探索され、細街路はピンク色で表示されます。場所によっては道塗りされない場合もあります。
- 到着予想時刻には、「機能設定をする」(→P86) で設定した到着予想時刻速度が反映されます。またVICs情報も考慮されます。表示される時刻はあくまでも推測時刻で実際の到着時刻とは異なります。
- 目的地までの距離と到着予想時刻の表示は、「機能設定をする」(→P86)の「道のり・到着予想時刻表示」を「立寄り地」とすることで、立寄り地までの距離と到着予想時刻の表示に変更することができます。
- ルートインフォメーションには、次の案内地までの距離と曲がる方向および交差点名が表示されます。また、上側にさらにその先の案内地までの距離と曲がる方向が表示されます。交差点によっては、交差点名が“案内地”と表示される場合があります。
- 案内地に近づく(一般道：約700m、有料道：約2km)と、交差点案内表示には次の案内地のレーン情報、方面看板(一般道走行中)が表示されます。情報の無い交差点では表示されません。
- 情報表示は、誘導中のレーンが緑色で表示されます。通行が推奨される誘導レーンは緑色に白の矢印で表示されます。有料道路走行中のレーン情報表示は青色で表示されます。
- ルート探索については、「ルートに関する注意事項」(→P240)を参照してください。

案内地に近づく

案内地の手前約300m（シンプルガイド時は500m）に近づく、交差点案内表示の画面に切り換わり、曲がる方向が表示されます。

アローガイド（工場出荷時の設定）



拡大図



メモ

- 交差点案内表示は、アローガイド/拡大図の変更ができます。→「機能設定をする」(P86)
- 「アローガイド」では、案内対象の交差点に情報がある場合、信号機マークが表示されます。また、次の案内地の情報がある場合は、画面上部に表示されます。
- 交差点案内表示は、AVソース画面を表示している状態でも割り込み表示される場合があります。
- AVソース画面への交差点案内表示割り込み表示はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P86)
- 交差点案内表示中は、が表示されタッチすると、交差点案内を消すことができます。再度、交差点案内を表示したいときはにタッチします。

ワイプで操作する場合：

交差点案内表示は、ワイプ操作で表示を切り換えることができます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	案内表示を解除します。
↓ワイプ	次の案内地を表示します。

案内地のイラスト表示

進行方向に立体交差になる側道がある場合や、交差点イラストのデータが収録されている場合は、交差点案内図の代わりに立体的に描画されたイラストが表示されます。

交差点イラスト



立体交差イラスト



都市高速道路の入口に近づくと

ルート上の都市高速道路入口の手前約300mに近づくと、イラストが表示されます。



また都市高速・都市間高速では分岐の手前約1kmに近づくと、イラストが表示されます。場所によっては、実際の分岐地点に設置されている方面看板をイメージしたリアルなイラストが表示される場合があります。



メモ

- 一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。
- 都市高速入口の直前に案内地点がある場合には、イラストが表示されないことがあります。

有料道路の分岐に近づくと

ルート上の有料道路分岐の手前約2kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。



メモ

- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

有料道路の出口や料金所を通過すると

ルート上の有料道路の出口や料金所を通過後に分岐情報がある場合は、進行方向を示すイラストが表示されます。

メモ

- 地点によりデータが収録されていない場合は、表示されません。



メモ

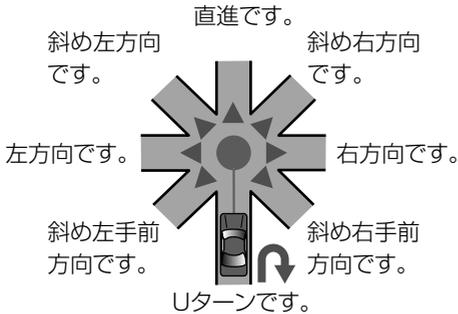
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。

進行方向案内

進行方向(8方向)は、音声で以下のように案内されます。



種類	案内例
側道案内	およそ〇〇m先、側道を左方向です。
有料道路入口・出口案内	およそ〇〇m先、左方向、入口です。
有料道路料金所案内	およそ〇〇km先、料金所です。
スマートIC案内	その先、スマートICです。実際の案内標識に従ってお進みください。
レーン案内	およそ〇〇m先、右方向です。右折レーンがあります。
料金案内	料金は、〇〇円です。
信号機ジャスト案内	この信号を左です。

メモ

- 右方向や左方向などの案内だけではうまく案内できない地点においては、走行すべきレーンなども案内します。
- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 信号機ジャスト案内、料金案内はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P86)

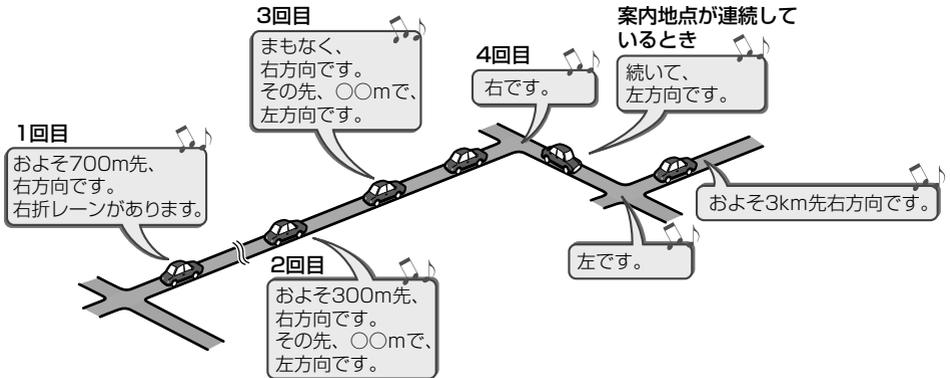
一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大4回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。

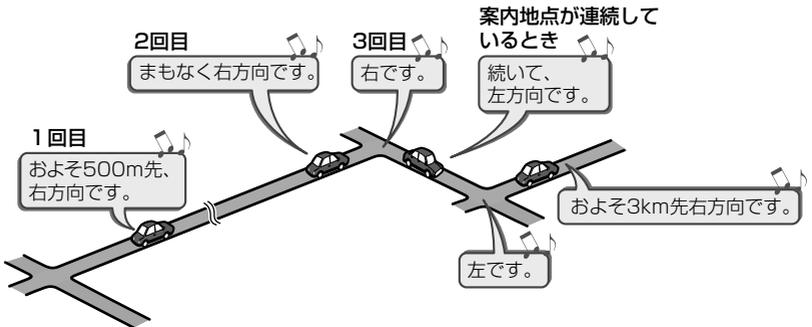
メモ

・音声案内の回数や内容をシンプルにすることができます。→「機能設定をする」(P86)

通常時



シンプルガイド時

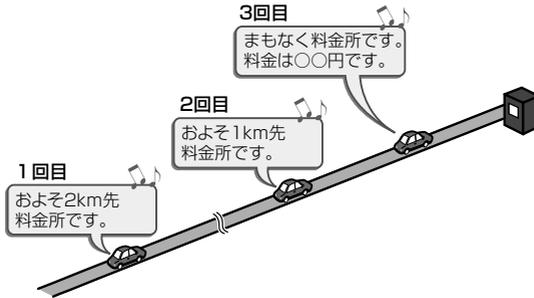


立寄地に近づいたら

立寄地の約300m手前に近づくと、「まもなく立寄地点です。」と音声案内が流れます。

有料道路走行時の案内

車の走行に合わせ、分岐や出口、料金所の手前で最大3回、音声案内が流れます。また、そのタイミングで方面名称や分岐イラスト(→P57)などが表示されます。



メモ

- 料金表示は、車両情報設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り換えられます。→「車両情報を設定する」(P104)
- 料金案内では、有料道路に入る前にルートを設定した入口から出口までの料金が案内されます。有料道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。
- 表示される料金は、各種ETC割引料金に対応していません。

ルート案内中の操作と機能

ルート案内中にできる操作と、いろいろな機能を説明します。

ルートから外れたときに自動的にルートを再探索する

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します(オートリルート)。

メモ

- ・ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います(インテリジェントリルート)。

状況に応じて新しいルートを提案する

新しいルートが見つかった、「渋滞考慮オートリルートを行いました」または「新しい候補ルートが見つかりました」と音声案内が流れ、元のルートと新しいルートを表示します(渋滞考慮オートリルート)。

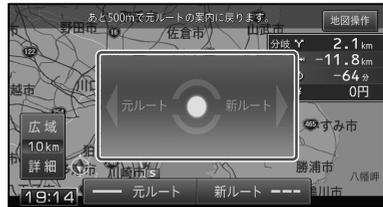
1 新ルートまたは元ルートにタッチする



選んだルートでルート案内が再開されます。

ワイプで操作する場合：

ルート選択は、ワイプ操作で選択することができます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



←ワイプ	元ルートで案内します。
→ワイプ	新ルートで案内します。

メモ

- ・渋滞考慮オートリルートはON/OFFできます。→「機能設定をする」(P86)
- ・渋滞考慮オートリルートの案内が行われてから、一定区間を走行する間に新ルートまたは元ルートの選択がされなかった場合は、機能設定の「渋滞考慮オートリルート自動決定ルート」の設定に従い自動的に決定されます。渋滞考慮オートリルート自動決定ルートの設定は変更できます。→「機能設定をする」(P86)
- ・リアルタイムプローブ渋滞情報(→P116)を取得している場合は、渋滞情報が考慮されます。リアルタイムプローブ渋滞情報を取得していないときは、FM多重放送による規制情報のみが考慮されます。
- ・案内地付近や案内地が連続している場合は、機能しない場合があります。
- ・新しい候補ルートは、元のルートより所要時間、または距離が増加するルートが提示されることがあります。
- ・渋滞情報や規制情報の更新による渋滞考慮オートリルートが行われた場合、必ずしも提案されたルートが実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。

ルート上に通行止めが発生した場合

ルート上に通行止めが発生した場合は、「ルート上に通行止めが発生したため、新ルートで案内します」と音声案内と画面表示され、新ルートのみ案内となります。**確認**にタッチしてください（通行止め考慮オートリルート）。

ワイプで操作する場合：

通行止め案内は、ワイプ操作で確認することができます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



↓ワイプ	通行止め案内を確認し、新ルートで案内します。
------	------------------------

ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICSの渋滞・規制情報を地図や音声で案内させることができます。

メモ

- VICS情報が取得できないときなどは働かないことがあります。
- 音声では、例：“およそ3km先、1kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”と案内されます。

渋滞オートガイド

ルート上に発生した渋滞情報を自動的に音声で案内します。

メモ

- 渋滞オートガイドは、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P86)
- 案内中のルートが無い場合は、案内されません。

渋滞チェック

渋滞にタッチすると、ルート上に発生している渋滞情報を地図表示と音声案内で確認することができます。



メモ

- **渋滞**にタッチすることにより、最大5カ所先の情報まで順に案内させることができます。
- 案内中のルートが無い場合は、自車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

ルートを編集する

設定したルートを確認したり、立寄地や出発地、乗降ICなどを指定したり、ルートを編集することができます。

メモ

・ルートプロフィールでのルート確認や立寄地や出発地、乗降ICの指定は、ルート案内開始画面(→P48)でも行うことができます。

1 「メニュー」を押し、**ルート編集**にタッチする



ルートの編集メニュー画面が表示されます。



ルートプロフィール	設定したルートを確認することができます。(→P64)
詳細ルート設定	立寄地の追加など、ルートを詳細に設定することができます。(→P64)
立寄地送り	登録された立寄地に立ち寄る必要が無くなった場合などは、立寄地を通過済みとして、ルートを探索し直すことができます。(→P65)
デモ走行	出発地から行き先までのルートを擬似走行させて、ルートを確認できます。(→P65)
ルート消去	案内中のルートを消去することができます。(→P65)

メモ

・カスタム設定(→P112)で「ルート編集画面を表示する」を割り当てている場合は、**C**(カスタムボタン)を押して操作することもできます。

ルートプロフィールで確認する

操作方法は、「ルートを探索する」-「ルートプロフィールで確認する」(→P50)と同様です。

条件を変えてルートを再探索させる

案内中のルートの探索条件を一時的に変えて、再探索することができます。ただし、通過済みの立寄地は、ルートを再探索しても考慮されません。

「立寄地指定」、「乗降IC指定」、「出発地指定」の操作方法は、「ルートを探索する」-「詳細ルート設定をする」(→P51)と同様です。

1 「詳細ルート設定」-「ルート再探索」にタッチする



2 探索条件を変更して**探索開始**にタッチする



メモ

- 上記探索条件の変更は一時的なもので、機能設定(→P86)には反映されません。

ルートを消去する

1 **ルート消去**にタッチする(→P64)

2 **はい**にタッチする



ルートが消去されます。

メモ

- 消去したルートを元に戻すことはできません。

立寄地を先送りする

1 **立寄地送り**にタッチする(→P64)

次の立寄地を通過済みにして、ルートが探索されます。

デモ走行で確認する

1 **デモ走行**にタッチする(→P64)



メモ

- デモ走行中は、画面右側に**デモ中**が表示されます。タッチすると、デモ走行終了の確認メッセージが表示されます。終了する場合は**はい**にタッチします。
- デモ走行中は、ルート編集メニュー(→P64)に**デモ走行終了**が表示されます。タッチするとデモ走行を終了させることができます。
- デモ走行は、終了させるまで繰り返し行われます。

ルートを消去する

ルート案内を中止したい場合は、設定したルートを消去します。

 メモ

・ルート編集メニューから消去することもできます。(→P64)

1 **メニュー** を押し、**ルート消去** にタッチする



2 **はい** にタッチする



▼
案内中のルートが消去されます。

 メモ

・消去したルートを元に戻すことはできません。

登録・編集操作

場所を登録する	68
場所を登録する	68
選べる登録方法について	69
登録地を編集する	70
登録地の登録内容を編集する	70
登録した場所の名称を地図上に表示させる	71
効果音の鳴りかた	71
登録地を消去する	71
その他のデータを編集する	73
検索履歴を消去する	73
ルートの学習内容を消去する	73
走行軌跡を消去する	74

場所を登録する

自宅や友人宅などの覚えておきたい場所を登録しておく、ルート設定などの操作がかんたんになります。

メモ

- 自宅を含め1001地点まで登録できます。
- 登録地の名称やマークは変更することができます。→「登録地の登録内容を編集する」(P70)

場所を登録する

探した場所やドライブで訪れた場所を登録しておく、次回そこへ行くときにかんたんにルートを探ることができます。

また、登録した場所へ電話をかけたり近づくとき自動的に音を鳴らすこともできます。

1 場所を探す(→P40)

探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

2 ここを登録する にタッチする



メモ

- 走行中は、手順2の操作後に地点が登録されます。手順3の画面は表示されません。

3 登録方法を選んでタッチする



4 入力終了 にタッチする



メモ

- ジャンルリスト検索などで呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。
- 手順4で登録する名称を変更することができます。→「文字の入力操作」(P16)

選べる登録方法について

登録方法	登録内容
「 検索施設名称 」で登録する	「探した場所の施設名称」
「 この地名 」で登録する	「探した場所の地名」
「 自宅 」で登録する	「自宅」
「 会社 」で登録する	「会社」
「 実家 」で登録する	「実家」
「 友達の家 」で登録する	「友達の家」
「 おじいちゃんの家 」で登録する	「おじいちゃんの家」
「 おばあちゃんの家 」で登録する	「おばあちゃんの家」
「 おじさんの家 」で登録する	「おじさんの家」
「 おばさんの家 」で登録する	「おばさんの家」
「 田舎 」で登録する	「田舎」
「 ふるさと 」で登録する	「ふるさと」
「 彼女の家 」で登録する	「彼女の家」
「 彼氏の家 」で登録する	「彼氏の家」
「 名前をつけて登録する 」	お好みの名前をつけて登録することができます。

登録地を編集する

登録地に関する情報（名称、電話番号、マーク、効果音、位置）を変更することができます。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** → **ナビデータ編集** にタッチする

2 **登録地編集** にタッチする



登録地の編集メニュー画面が表示されます。



編集	登録時に設定された内容を編集することができます。(→P70)
消去	登録地を消去することができます。(→P71)
全消去	すべての登録地を消去します。(→P71)

登録地の登録内容を編集する

1 **編集** にタッチする(→P70)

2 登録内容を編集したい地点にタッチする



メモ

・**並べ替え** にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとリストを並べ替えることができます。

呼出日時順 登録または呼び出しの日時順に並べ替えます。

自転車位置から近い順 自転車位置から近い順に並べ替えます。

2Dマーク順 マークごとに並べ替えます。

3 変更したい項目にタッチする



名称	変更したい名称を全角で20文字（半角で20文字）まで入力できます。
-----------	-----------------------------------

電話番号	電話番号を入力します。電話番号を設定しておく、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。
2Dマーク	地図上に表示される登録地の2Dマークを変更します。
効果音	登録地に近づいたときに鳴らす効果音の設定ができます。
位置修正	登録地の位置を修正します。

4 終了にタッチする

地図画面に戻ります。

登録した場所の名称を地図上に表示させる

2Dマークリスト上の **■** マークを選ぶと、マークに加え登録した場所の名称も地図上に表示されます(プライベートマッピング)。



プライベートマッピング



効果音の鳴りかた

- 効果音の設定された登録地が自転車から約500m以内に近づくと効果音が鳴ります。
- 自転車から約500m以内に登録地が複数ある場合は、近いものから効果音が鳴ります。
- 一度効果音が鳴ると、30分経過するか本機の電源を入れ直さないと(エンジンをかけ直さないと)効果音は鳴りません。
- 登録地の効果音よりも、ルート、VICSの音声案内が優先されます。

登録地を消去する

1 消去にタッチする(→P70)



メモ

- 全消去** にタッチすると、P72手順4の確認画面を表示して登録地をすべて消去します。

2 消去したい登録地にタッチする



選んだ登録地には、チェックマーク が付き、引き続き選ぶことができます。

全選択	すべての登録地が選択状態になります。
全解除	選択状態の登録地をすべて解除します。

つづく→

 メモ

- **並べ替え** にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとサイドメニューが表示されます。

呼出日時順	リストを呼出日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	リストを自車位置から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークの種類ごとに並べ替えます。

3 **消去** にタッチする



確認メッセージが表示されます。

4 **はい** にタッチする



登録地が消去されます。

 メモ

- 詳細情報から消去することもできます。→「[詳細情報を見る](#)」(P46)

その他のデータを編集する

本機に保存されたいろいろな機能のデータを消去することができます。

検索履歴を消去する

場所を探すと、探した場所が自動的に検索履歴として100件まで保存されていきます。
次の手順で検索履歴を消去することができます。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** → **ナビデータ編集** にタッチする

2 **検索履歴消去** にタッチする



3 **消去したい検索履歴にタッチする**



選んだ検索履歴には、チェックマーク が付き、引き続き選ぶことができます。

全選択	すべての検索履歴が選択されます。
全解除	選択されている検索履歴すべてを解除します。または解除したい検索履歴を選んでも解除できます。

4 **消去** にタッチする

確認メッセージが表示されます。

5 **はい** にタッチする

選んだ検索履歴が消去されます。

ルートの学習内容を消去する

本機は、よく使用する道を学習しており、ルート探索時に学習した道を優先的に使用します。→「学習ルート探索」(P54)

よく使用する道を変更した場合などは、学習ルートを消去してから再学習を行います。

 **メモ**

・すべての学習ルートが消去されますのでご注意ください。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** → **ナビデータ編集** にタッチする

2 **学習ルート消去** にタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 **はい** にタッチする

学習ルートが消去されます。

走行軌跡を消去する

地図画面に表示される走行軌跡を消去することができます。

メモ

- 走行軌跡を自動的に消去させることもできます。→「機能設定をする」(P86)

1 **メニュー** を押し、**設定・編集**—**ナビデータ編集** にタッチする

2 **走行軌跡消去** にタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 **はい** にタッチする



走行軌跡が消去されます。

各種情報の利用

FM-VICS情報を利用する	76
VICs情報とは	76
VICs情報の表示形態	76
地図上でVICs情報を見る	77
緊急情報の自動表示	78
ルート上の渋滞情報を案内させる	78
渋滞オートガイド	78
渋滞チェック	78
VICsの文字・図形情報を見る	79
放送局を選ぶ	80
放送局の受信状態の確認について	80
その他の情報の利用	81
センサー学習状況を見る	81
接続状態を確認する	82
データバージョンを確認する	83
SDカード内の画像を表示する	84
スライドショーの画像切替時間を設定する	84

FM-VICS情報を利用する

車載のアンテナでFM-VICS 情報（VICSセンターから提供）を受信し、渋滞情報や規制情報などを確認することができます。

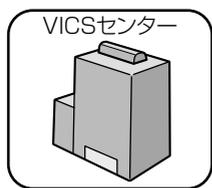
メモ

・通信を必要とする渋滞情報に関しては、「オンデマンドVICS情報・リアルタイムプローブ渋滞情報を利用する」(→P116)をご覧ください。

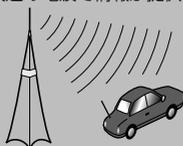
VICS情報とは

VICS (Vehicle Information & Communication System : 道路交通情報通信システム) とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。

VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、かんたんな地図イラストや文字で見えることもできます。



FM多重放送の電波で情報が提供されます。



FM多重放送

本機に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

VICS情報の表示形態

VICS情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

- 渋滞情報（順調情報も含む）
- 旅行時間情報
- 交通障害情報
- 交通規制情報
- 駐車場情報

レベル 3: 地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



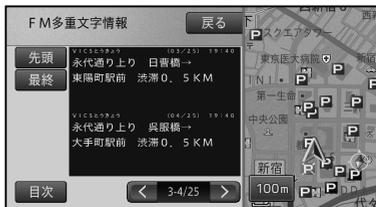
レベル 2: 簡易図形

かんたんな地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。



レベル 1: 文字

文字で道路交通情報が表示されます。



メモ

・情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

地図上でVICS情報を見る

レベル3（地図）の表示形態では、VICSセンターから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示されます。

有料道路への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	橙色に青い縁取り
順調	明るい青に青い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
入口閉鎖・通行止め	黒

一般道路への表示

渋滞	赤色に白い縁取り
混雑	橙色に白い縁取り
順調	明るい青に白い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
通行止め	黒



VICSレベル3情報提供時刻表示

F	FM多重放送によるVICS情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青色	情報を受信してから5分以上30分未満経過した状態
--	情報を受信していない、または受信後30分以上経過した状態（受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、VICS情報は消去される。）

メモ

- 本機の電源をON（エンジンをON）にしてから受信したVICS情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。→「放送局を選ぶ」(P80)
- VICS情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。
- **渋滞**にタッチすると、ルート案内中はルート上前方の渋滞や規制の情報を、ルート案内中でない場合は自車周辺の規制情報を地図表示と文字情報および音声案内でお知らせします。(→P78)

VICSマークの種類

VICS情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。

	大型通行止め		故障車
	作業		路上障害
	チェーン規制		凍結
	進入禁止		入口制限
	通行止め・閉鎖		事故
	工事中		入口閉鎖
	片側交互通行		対面通行
	車線規制		徐行
	速度規制(数字は制限速度)		
	気象		行事
	災害		火災
	駐車場閉		原因なし
	駐車場(空き:青、混雑:橙色、満車:赤、不明:黒)		

「VICSレベル3 情報提供時刻表示」の内容

FM多重放送によるVICS情報提供時刻が表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

受信中の放送局の受信感度を確認してください。→「放送局を選ぶ」(P80)

2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現在地周辺のVICS情報(道塗り情報)と別のエリア(隣接する都道府県など)のVICS情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICSの渋滞・規制情報を文字表示や音声で案内させることができます。

メモ

- VICS情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、例：“およそ3km先、1kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”と案内されます。

渋滞オートガイド

ルート上に発生した渋滞情報を自動的に音声で案内します。

メモ

- 渋滞オートガイドは、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P86)
- 案内中のルートが無い場合は、案内されません。

渋滞チェック

渋滞にタッチすると、ルート上に発生している渋滞情報を地図表示と文字情報および音声案内で確認することができます。



メモ

- ・**渋滞**にタッチすることにより、最大5カ所先の渋滞場所まで順に案内させることができます。
- ・案内中のルートが無い場合は、自車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

VICSの文字・図形情報を見る

文字や図形のVICS情報を表示させることができます。

1 **メニュー** を押し、**情報** にタッチする

2 **渋滞情報** にタッチする



3 **表示させたい情報** にタッチする



図形情報	レベル2 (簡易図形) の広域情報を表示します。
文字情報	レベル1 (文字) の広域情報を表示します。
センター情報	VICSセンターからの情報を表示します。

4 **見たい情報の番号** にタッチする

メニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。渋滞や交通規制などに関する情報が表示されます。



メモ

- ・全情報画面が複数のページにおよぶときは、**<**、**>** にタッチすると、ページを送ります。**先頭** / **最終** にタッチすると、先頭ページ / 最終ページが表示されます。
- ・すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- ・**目次** にタッチすると、VICSメニューに戻ります。
- ・**選局** にタッチすると、FM多重放送の放送局を選ぶことができます。→「**放送局を選ぶ**」(P80)
- ・カスタム設定 (→P112) で「VICS図形情報画面を表示する」を割り当てている場合は、**ⓐ** (カスタムボタン) を押して操作することもできます。

放送局を選ぶ

VICS情報をFM多重放送から受信するとき
は、最も受信感度の良い放送局を選びます。

1 **メニュー** を押し、**情報** にタッチする

2 **渋滞情報** にタッチする



3 **放送局選択** にタッチする



4 **放送局を探す方法** にタッチする



オート	自車位置に応じてVICS放送局が自動的に選択されます。
リスト	放送局リストから選びます。
シーク	+ 、 - にタッチして、周波数の自動チューニングを行います。受信可能な放送局を受信したところで止まります。

放送局の受信状態の確認について

渋滞情報画面では、受信中の放送局名、周波数、受信状態などが表示されます。

受信状態表示



選局方法
(オート/リスト/シーク)

受信状態表示は、受信感度が高い場合「High」、受信感度が低い場合「Low」と表示されます。

その他の情報の利用

本機の持ついろいろな機能の情報を見たり、利用することができます。

センサー学習状況を見る

センサーの学習状況を確認できます。

1 **メニュー** を押し、**情報－システム情報** にタッチする

2 **センサー学習状況** にタッチする



センサー学習

現在の走行モード(3Dハイブリッドモード/簡易ハイブリッドモード)または「センサー初期学習中」が表示されます。

トリップメーター / 車速パルス数

現在本機が認識しているトリップ数、パルス数が表示されます。

メモ

・**トリップメーター**または**車速パルス数**にタッチすると積算された数字をリセットすることができます。

メモ

- ・**センサー学習**にタッチすると、**オールリセット**と**距離学習リセット**が表示されます。**オールリセット**にタッチすると、センサー学習をすべてリセットすることができます。**距離学習リセット**にタッチすると、距離学習のみリセットすることができます。本体の取付け位置または角度を変更した場合や別車両へ載せ換えた場合は、**オールリセット**にタッチしてください。また、距離精度が悪い場合には、**距離学習リセット**にタッチしてください。
- ・オールリセット、または距離学習リセットを行った場合、エコマネージャ(→P206)で計測したエコゲージやエコスコアの情報も一旦リセットされます。

前後G / 回転速度計

現在本機が認識している前後Gの強さがバーで、左右の回転速度が扇で表示されます。

傾斜計

現在本機が認識している上下の傾きが道路の傾きで表現されます。

距離 / 方位 / 傾斜 (3D) の学習度

距離・方位(左右方向の回転)・傾斜に関して、どの程度学習結果が蓄積されたかが表示されます。バーが右端に達すると、学習の度合いが最高であることを表します。

注意

- ・走行状態の確認は必ず同乗者が行い、運転者は運転に専念してください。

メモ

- ・学習度およびトリップメーター、車速パルス数は本機の故障、修理などにより、クリアされることがあります。また、本機の状態によっては、積算されない場合があります。
- ・センサー未学習の状態では、パルス数以外の表示は意味を持ちません。
- ・本機の電源をOFF(エンジンをOFF)にしても、トリップメーターと車速パルス数は積算される場合があります。
- ・傾斜(3D)学習度が表示されないときは、車速パルスが正しくカウントされていません。車速信号入力が正しく接続されていないことが考えられます。販売店にご相談ください。

接続状態を確認する

各機器の接続状態、信号の状態などを確認できます。

- 1 **メニュー** を押し、**情報** - **システム情報** にタッチする
- 2 **接続状態** にタッチする



メモ

- **< 前ページ / 次ページ >** で画面を切り換えられます。
- 正しく表示されない場合は、販売店にご相談ください。

車速パルス

現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」が表示されます。車を走行させると、速度に応じて「ピッ」という発信音がして、数字とともにバー表示が変化します。車速パルスの確認は、安全な場所で、低速(5km/h程度)で行ってください。

電源電圧

車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンをかけた状態で11V～15Vの範囲にあれば正常です。なお、最大で±0.5V程度の誤差があるため、この表示は参考値です。

イルミネーション

イルミ電源の状態が表示されます。車のスモールライトが点灯しているときは「ON」、消灯しているときは「OFF」と表示されます。

バック信号

バック信号入力の状態が表示されます。シフトレバーを「R」(リバース)の位置にすると「HIGH」と「LOW」の表示が入れ替わります。ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーを操作し、正しく表示されることを確認してください。この接続は、車の前進/後退を判断するためのものです。

※接続しないと前進後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。また、別売のバックカメラを接続している場合は、シフトレバーを「R」(リバース)の位置にしても自動的にバックカメラの映像に切り換えることができません。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキの状態が表示されます。パーキングブレーキがかかっているときは「ON」、解除されているときは「OFF」と表示されます。ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを操作し、正しく表示されることを確認してください。

GPS アンテナ

GPSアンテナの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「NG」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストはGPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。バーが1本以下の場合は、GPSアンテナの位置を変えて2本以上バーが表示される位置に取り付けてください。車内に取り付けているときは、必ず金属シートを使用してください。

取付位置

本機の設置状態が表示されます。正しく設置されているときは「OK」と表示されます。「NG (振動)」または「NG (取付角)」と表示されたときは、販売店にご相談ください。

Bluetooth

Bluetooth機器との接続(ペアリング)状態が表示されます。正しく接続(ペアリング)されていれば「OK」、接続(ペアリング)されていない場合は「NG」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストは本機とBluetooth機器の電波強度を確認できます。

※電波強度を確認するには、Bluetooth設定を行い、本機とBluetooth機器をワイヤレス接続する必要があります。詳しくは「Bluetooth機器を登録する」(→P91)をご覧ください。

データバージョンを確認する

本機に収録された地図データおよび検索データのバージョンを確認することができます。

1 **メニュー** を押し、**情報** にタッチする

2 **データバージョン表示** にタッチする



3 **確認** にタッチする

データバージョンが表示されます。



SDカード内の画像を表示する

本機に挿入したSDカード内の画像ファイルを表示することができます。

！ 注意

- SDカードの出し入れは、決められた手順で行ってください。→『スタートブック』-『SDカードの出し入れ』
- 異なる手順で出し入れを行うと、SDカードに保存したデータが破損する場合があります。

メモ

- JPEG、BMP形式で非プログレッシブ方式のファイルを表示することができます。
- 6MBまでのファイルを表示できます。

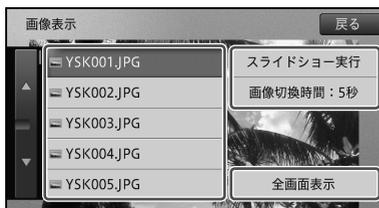
1 SDカードを挿入する (→『スタートブック』)

2 **メニュー** を押し、**情報** にタッチする

3 **画像表示** にタッチする



画像ファイルが検索され、リスト表示されます。



リスト項目	タッチした画像をリスト項目の背景に表示します。
スライドショー実行	スライドショーを開始します。
画像切替時間	スライドショーの表示時間(1枚あたりの映写時間)を設定します。(→P84)
全画面表示	選んだ画像を全画面で表示します。

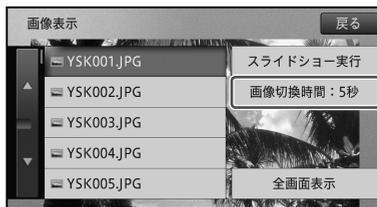
メモ

- 最大400ファイルまでリスト表示できます。
- スライドショー実行中画面または全画面表示からリスト表示に戻るには、画面にタッチします。

スライドショーの画像切替時間を設定する

スライドショーで表示される画像の1枚の表示時間を設定します。
工場出荷時は「5秒」です。

1 **画像切替時間** にタッチする (→P84)



タッチすることにより、以下のように切り替わります。

5秒 → 10秒 → 30秒 → 1分 → 5分
→ 5秒に戻る

メモ

- スライドショーは、ルートフォルダーから8階層目までのフォルダー内の画像を最大400枚まで表示できます。

ナビゲーションの設定

機能設定をする	86	イージーセットアップをする	100
設定内容の詳細.....	87	イージーセットアップを行う.....	100
地図表示.....	87	イージーセットアップを開始する.....	100
ルート・案内.....	88	音量の調整.....	101
渋滞情報.....	90	自宅の設定.....	101
通信設定をする	91	ETC取付状態の設定.....	101
ユーザー登録について.....	91	カスタムボタンの設定.....	102
通信機器使用上のご注意.....	92	Bluetoothの設定.....	102
Bluetoothの設定を行う.....	92	車両情報の設定.....	102
Bluetooth機器を登録する.....	93	燃費の設定.....	102
Bluetooth機器を切り換える／削除する.....	94	パーソナライズの設定.....	103
プロバイダを変更する.....	95	イージーセットアップを終了する.....	103
パスキーを変更する.....	96	車両情報を設定する	104
電波発射をON/OFFする.....	97	有料道路料金区分の設定.....	104
ナビゲーションの音量を設定する	98	駐車制限(車種)の設定.....	104
音量設定をする.....	98	駐車制限(車両寸法)の設定.....	105
消音設定をする.....	99	リアルタイムプローブ設定をする	106
ガイド／ハンズフリー SP設定をする.....	99	リアルタイムプローブ設定を行う.....	106
		初期登録.....	106
		プローブ情報送信の設定.....	107
		データ取得開始タイミングの設定.....	107
		データ受信方法の設定.....	108
		取得タイミングと連続取得の取得動作について ...	108
		その他の設定をする	109
		自転車位置のずれを修正する.....	109
		走行中の道路を切り換える.....	109
		セキュリティ設定をする.....	110
		セキュリティロックが働いた場合の操作.....	111
		カメラの入力設定をする.....	111
		カスタムボタンを設定する.....	112
		設定できる機能(コマンド)について.....	112
		フロントカメラ・サイドカメラを使う場合.....	113
		SDカード登録確認メッセージ表示設定.....	113
		設定を初期状態に戻す.....	113
		一括で工場出荷状態に戻す.....	114

機能設定をする

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

ナビゲーションの設定項目は、機能ごとに次の3つのメニューに分類されています。

- 地図表示(→P87) • ルート・案内(→P88) • 渋滞情報(→P90)

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** にタッチする

2 **ナビ機能設定** にタッチする



3 設定を変更したい項目にタッチする



メモ

- 分類タブにタッチすると、機能の先頭からリストを表示させることができます。

4 設定内容にタッチする



設定内容が変更されます。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

5 設定を終了する場合は、**終了** にタッチする

設定内容の詳細

地図表示

*は工場出荷時の設定です。

オートハイウェイマップ

- 「ON」* 自動的にハイウェイモードにします。
 「OFF」 自動的にハイウェイモードにしません。

シティマップ

- 「ON」* 市街地図が表示されます。
 「OFF」 通常の地図が表示されます。

シティマップ境界表示(シティマップON時に選択可)

- 「ON」* シティマップの境界を画面に表示します。
 「OFF」 シティマップの境界を画面に表示せず、通常画面に切り換えます。

地図色切換

- 「時刻連動」* 日没/日出時刻連動で画面の配色が切り換わります。
 「イルミ連動」 スモール灯のON/OFFで画面の配色が切り換わります。
 「昼色固定」 常に昼画面のままです。

走行軌跡表示

- 「ON」* 走行軌跡が表示されます。
 「OFF」 走行軌跡は表示されません。

走行軌跡自動消去

- 「自宅付近」 自宅に登録した場所から約100m以内の地点で本機の電源を切る(エンジンを切る)と、走行軌跡が自動的に消去されます。
 「電源オフ時」 本機の電源を切る(エンジンを切る)と走行軌跡が自動的に消去されます。
 「OFF」* 走行軌跡は自動消去しません。

2D(ノーマルビュー)固定スクロール

- 「ON」 スクロール中、画面をノーマルビューに固定します。
 「OFF」* スクロール中、画面をノーマルビューに固定しません。

現在地情報の表示

- 「市区町村名」* 現在地が市区町村名で表示されます。
 「走行道路名」 現在地が走行道路名で表示されます。(道路名がない場合は市区町村名が表示されます。)
 「緯度経度」 現在地が緯度経度で表示されます。

▲ ルート・案内

*は工場出荷時の設定です。

ルート探索基準

- 「推奨」* 信号機の数が少なく、右左折の量も適度な通りやすいルートが探索されます。
- 「距離優先」 距離を優先してルートが探索されます。
- 「幹線優先」 幹線道路を優先してルートが探索されます。

有料道路使用条件

- 「標準」* 有料道路が標準的な基準でルート探索されます。
- 「回避」 有料道路を回避したルートが探索されます。

フェリー航路使用条件

- 「標準」* フェリー航路が標準的な基準でルート探索されます。
- 「優先」 フェリー航路を優先的にルート探索されます。
- 「回避」 フェリー航路を回避したルートが探索されます。

学習ルート探索

- 「ON」* 学習したルートを考慮します。
- 「OFF」 学習したルートを考慮しません。

渋滞考慮ルート探索

- 「ON」* 渋滞情報を考慮してルートが探索されます。
- 「OFF」 渋滞情報は考慮されません。

スマートIC考慮ルート探索^{*1}^{*2}

- 「ON」* スマートICを利用するルートが探索されます。
- 「OFF」 スマートICを利用しないルートが探索されます。

渋滞考慮オートリルート

- 「ON」* 渋滞情報を考慮して、オートリルートを行います。
- 「OFF」 渋滞情報を考慮したオートリルートが動きません。

渋滞考慮オートリルート自動決定ルート

- 「元ルート」* 元ルートを選択します。
- 「新ルート」 新ルートを選択します。

道のり・到着予想時刻表示

- 「目的地」* 目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
- 「立寄地」 次の立寄地までの距離と到着予想時刻が表示されます。

到着予想時刻速度（一般道）

- 「20km/h」 平均速度20km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「30km/h」* 平均速度30km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「40km/h」 平均速度40km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「50km/h」 平均速度50km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「60km/h」 平均速度60km/hとして到着予想時刻が計算されます。

到着予想時刻速度 (有料道)

「60km/h」	平均速度 60km/h として到着予想時刻が計算されます。
「80km/h」*	平均速度 80km/h として到着予想時刻が計算されます。
「100km/h」	平均速度 100km/h として到着予想時刻が計算されます。

交差点案内表示

「アローガイド」*	案内地までの距離 (数値と矢印) と交差点名の情報が強調され表示されます。
「拡大図」	平面的な交差点拡大図が表示されます。

ETC レーン案内表示^{※3}

「ON」*	有料道路の料金所付近で ETC レーン案内が表示されます。
「OFF」	ETC レーン案内は表示されません。

一般道シンプルガイド

「ON」	ルート誘導時の音声案内をシンプルにします。
「OFF」*	シンプルガイドを行いません。

信号機ジャスト案内

「ON」*	信号機ジャスト案内を行います。
「OFF」	信号機ジャスト案内を行いません。

AV 画面への割り込み

「ON」*	AV 画面表示中でも交差点案内図などを割り込み表示します。
「OFF」	AV 画面表示中は、交差点案内図などを割り込み表示しません。

有料道注意地点・県境案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

踏切案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

リフレッシュ案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

ライト点灯案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

e スタート案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

パーキングブレーキアラート

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

渋滞オートガイド

- | | |
|-------|--------------------------|
| 「ON」* | ルート上の渋滞情報が自動で音声案内されます。 |
| 「OFF」 | ルート上の渋滞情報は自動では音声案内されません。 |

- ※1 ルート案内中でないときのみ設定できる機能です。
- ※2 イージーセットアップの「ETC取付状態設定」が「車に取り付けている」のときは自動的に「ON」になります。「車に取り付けていない」のときは自動的に「OFF」になります。
- ※3 イージーセットアップの「ETC取付状態設定」を行うと、自動的に「ON」になります。

渋滞情報

*は工場出荷時の設定です。

渋滞情報表示対象道路

- | | |
|------------|------------------------|
| 「有料道・一般道」* | 有料道路・一般道路の渋滞情報が表示されます。 |
| 「有料道のみ」 | 有料道路の渋滞情報のみが表示されます。 |
| 「一般道のみ」 | 一般道路の渋滞情報のみが表示されます。 |
| 「表示しない」 | 渋滞情報は表示されません。 |

渋滞情報表示※1

- | | |
|-------|-------------|
| 「ON」* | 道塗り表示されます。 |
| 「OFF」 | 道塗り表示されません。 |

順調表示※2

- | | |
|--------|------------------------------|
| 「ON」 | 渋滞情報をもとに、交通が順調な道路が道塗り表示されます。 |
| 「OFF」* | 順調表示はされません。 |

規制表示※1

- | | |
|-------|----------------------------|
| 「ON」* | 交通規制の渋滞情報マークと規制区間が表示されます。 |
| 「OFF」 | 交通規制の渋滞情報マークと規制区間は表示されません。 |

駐車場マーク表示※1

- | | |
|-------|----------------------|
| 「ON」* | 駐車場の渋滞情報マークが表示されます。 |
| 「OFF」 | 駐車場の渋滞情報マークは表示されません。 |

- ※1 「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のときに設定できる機能です。
- ※2 「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のとき、かつ「渋滞情報表示」が「ON」のときに設定できる機能です。

通信設定をする

データ通信機能やハンズフリー機能をお使いになるには、Bluetooth機器をあらかじめ設定する必要があります。

メモ

- データ通信機能をお使いにならない場合（電話機能やBluetooth Audio機能のみ使用）は、機器登録後、プロバイダの接続先を初期化してください。（→P95）
- 最大5台のBluetooth機器を登録できます。Bluetooth機器の切り換えかたや削除の方法は「Bluetooth機器を切り換える／削除する」（→P94）をご覧ください。
- Bluetooth Audio（→P180）をお使いになる場合も、あらかじめ本機にBluetooth Audio機器を登録しておく必要があります。
- AVプロファイルを持つBluetooth対応携帯電話を登録した場合、Bluetooth Audioの優先接続機器として設定されます。詳しくは「Bluetooth Audioの操作のしかた」（→P180）をご覧ください。
- イージーセットアップ（→P100）で設定することもできます。

通信機能※1		ユーザー登録	初期登録 （→P106）	ご利用料金※2
携帯電話機能（→P198）		不要	不要	無料
オンデマンドVICS（→P116）		不要	不要	無料
通信コンテンツ	駐車場満空情報（→P121）	不要	不要	無料
	ガススタ価格情報（→P120）	不要	不要	無料
天気予報（→P119）		不要	不要	無料
セキュリティ（→P110）		要	不要	無料
リアルタイムプローブ（→P116）		要	要	無料
Bluetooth Audio（→P180）		不要	不要	無料

※1 各種データ通信サービスについては、予告なく休止または中止する場合があります。

※2 発売時現在。（通信費および接続料金はお客様負担となります）

ユーザー登録について

本製品の無料地図更新やリアルタイムプローブなどの各種通信機能、パソコンリンクソフトのご利用には、事前にユーザー登録が必要です。ユーザー登録方法について詳しくは『スタートブック』-「使い始める前に」-「ユーザー登録について」をご覧ください

通信機器使用上のご注意

- 本機は、Bluetooth対応の携帯電話などのBluetooth機器にのみ対応しています。携帯電話接続ケーブルなどを使っ
ての接続はできませんので、ご注意ください。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種によっては本機との接続に制限がある場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- 本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

プロファイル名	用途
HFP (HandsFreeProfile)	ハンズフリー通話
OPP (ObjectPushProfile)	電話帳転送
PBAP (Phone Book Access Profile)	電話帳転送
DUN (DialupNetworking Profile)	データ通信
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオデータ転送
AVRCP (Audio/Visual Remote Control Profile)	AV機器のリモコン機能

- 回線接続中の通信料およびプロバイダ接続料はお客様負担となります。
- 通信終了後は必ず通信が切れたことを確認してください。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などのロック機能を解除してから接続してください。
- お使いの携帯電話によっては、専用サーバー接続中に電話を着信した場合、専用サーバーとの接続が切断される場合があります。その場合は、通話終了後に専用サーバーに再接続してください。

- お使いになる携帯電話によっては、Bluetooth Audioを使用中はデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったんBluetooth AudioをOFF(→P126)にし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了させてからデータ通信を行ってください。

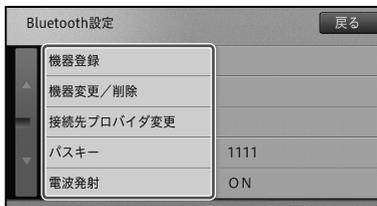
Bluetoothの設定を行う

1 **メニュー**を押し、**設定・編集**→**システム設定**にタッチする

2 **Bluetooth設定**にタッチする



3 **設定する項目を選んでタッチする**



機器登録 Bluetooth接続するBluetooth機器を本機に登録します。あらかじめBluetooth機器のBluetooth設定をONにしてください。(→P93)

機器変更/削除 Bluetooth接続する携帯電話を2台以上登録したときは、手で切り換えることができます。また、登録した携帯電話を削除することもできます。(→P94)

接続先プロバイダ変更	接続中のBluetooth機器の接続先プロバイダを変更します。変更方法は、プロバイダリストから選ぶ方法と手動で設定する方法があります。また、通信機能をお使いにならない場合は、プロバイダの設定を初期化する必要があります。(→P95)
パスキー	本機のパスキーを変更することができます。(→P96)
電波発射	本機からの電波発射をON/OFFすることができます。(→P97)

Bluetooth機器を登録する

1 機器登録にタッチする (→P92)

メモ

- Bluetooth Audioが再生中の場合、再生が中断されます。また確認のメッセージが表示されますので、中断して登録を行う場合は**はい**を、中断したくない場合は**いいえ**を選んでください。
- すでにBluetooth機器が5台登録されている場合は、登録済みリストを表示し、削除確認のメッセージが表示されます。削除するBluetooth機器を選んで**はい**にタッチし、選んだBluetooth機器の削除に成功すると手順2の画面が表示されます。

▼

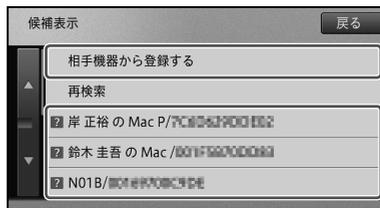
周辺のBluetooth機器を自動的に探します。検索は最大20秒間行われ、10機器まで発見できます。

▼

Bluetooth機器が見つかったと、リスト表示されます。

お使いのBluetooth機器によっては本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、**相手機器から登録する**にタッチして、Bluetooth機器の登録メニューから本機を登録してください。詳しくは、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

2 登録するBluetooth機器にタッチする



3 本機またはBluetooth機器を操作してペアリングを行う



メモ

- Bluetooth機器を最初に登録する際は、接続相手特定するため、ペアリング操作が必要です。ペアリング方法はお使いのBluetooth機器によって異なります。本機またはBluetooth機器の画面表示に従ってペアリングしてください。
- Bluetooth機器に本機を登録（機器登録・機器認証）する方法については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は、ハンズフリー通話、ダイヤルアップ通信、メモリダイヤル転送*、Bluetooth Audioに対応しています。
※ お使いのBluetooth機器によっては、各機能に対応していない場合があります。

▼

登録完了のメッセージが表示されます。

つづ→

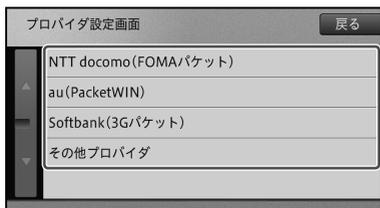
4 確認にタッチする



登録したBluetooth機器のプロファイルによっては以下の設定が続けて行えます。

プロバイダ設定

登録したBluetooth機器でデータ通信する際に使用するプロバイダを設定します。



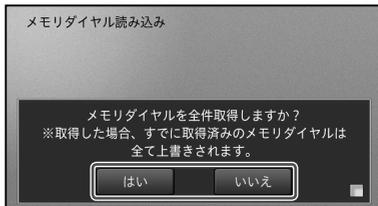
Bluetooth Audio 使用確認

登録したBluetooth機器でBluetooth Audio機能を使用するかしないかを選びます。



メモリダイヤル読み込み

登録したBluetooth機器のメモリダイヤルを本機に読み込むことができます。



設定完了のメッセージが表示されます。



5 確認にタッチする

Bluetooth機器を切り換える／削除する

メモ

- Bluetooth Audioを使用中にBluetooth機器の切替操作を行うと、Bluetooth Audioの再生が中断されます。
- 選んだBluetooth機器が動作中(通話中／データ通信中)の場合は削除できません。動作終了後に操作してください。

1 機器変更／削除にタッチする (→P92)

2 切り換えまたは削除する Bluetooth機器にタッチする



3 項目を選んでタッチする



ハンズフリー	ハンズフリー機能と Bluetooth Audio 機器として使用します。
Bluetooth Audio	Bluetooth Audio 機器のみとして使用します。
ハンズフリー	ハンズフリー電話機能のみとして使用します。
削除	選択した Bluetooth 機器を削除します。メッセージが表示されたら はい にタッチしてください。

メモ

- ・「ハンズフリー」に設定した場合は **HFP**、「Bluetooth Audio」に設定した場合は **AVP**、「ハンズフリー / Bluetooth Audio」に設定した場合は **AVB** のアイコンが表示されます。
- ・「Bluetooth Audio」または「ハンズフリー / Bluetooth Audio」に設定すると、AV ソースを Bluetooth Audio に切り換えたときに自動的に接続される優先接続機器となります。

プロバイダを変更する

メモ

- ・機器登録 (→P93) した Bluetooth 機器にあわせてプロバイダを設定してください。
- ・プロバイダの設定内容は、プロバイダの都合により変更される場合があります。その場合はプロバイダに設定内容をお問い合わせのうえ、手動で設定してください。

1 接続先プロバイダ変更 にタッチする (→P93)

2 接続する Bluetooth 機器のタイプに合わせたプロバイダにタッチする



その他プロバイダ ご希望の接続先がプロバイダリストにない場合や、プロバイダの設定値が変更された場合は、手動で設定を行います。

プロバイダ設定初期化 通信機能をお使いにならない場合 (電話機能のみを使用するなど)、プロバイダの設定を初期化して未設定にします。

手動で接続先の設定を行う

1 その他プロバイダ にタッチする (→P95)

つづく→

2 設定項目を順に選び、設定内容を入力または選択する



設定できる項目と内容は以下のとおりです。

項目	設定内容
「接続先名称」	プロバイダの名称
「接続先電話番号」	アクセスポイントの電話番号
「ID」	プロバイダ入会時に発行された接続ID
「パスワード」	プロバイダ入会時に発行された接続パスワード
「プライマリDNS」	プライマリDNSのIPアドレス
「セカンダリDNS」	セカンダリDNSのIPアドレス
「Proxyサーバー」	「使う」、「使わない」
「Proxyサーバー名」	Proxyサーバーの名称
「ポート番号」	Proxyサーバーのポート番号

* 上記はプロバイダより指定されたものをお使いください。

メモ

- パスワードを入力すると、他人に読み取られないように「*」で表示されます。
- プライマリDNSとセカンダリDNSのIPアドレスは3桁ずつ入力し、3桁未満の数字には、数字の前に「0」を付けて3桁にしてください。
例：192. 168. 2. 255の場合は、「192.168. 002. 255」と入力する。
- セカンダリDNSは、プロバイダから指示されているときのみ入力してください。
- Proxy (プロキシ)サーバーを使用する場合は、**使う**を選択してください。

- 「Proxyサーバー名」「ポート番号」の設定は、「Proxyサーバー」を「使う」に設定した場合にはできるようになります。Proxyサーバー名とポート番号は、加入したプロバイダへお問い合わせください。
- Proxyサーバー名にIPアドレスを直接入力するときに、「2」などを入力する場合は、数字の前の「00」を入れないで直接「2」を入力してください。
例：192. 168. 2. 255の場合は、そのまま「192. 168. 2. 255」と入力する。

3 終了にタッチする

パスキーを変更する

1 パスキーにタッチする (→P93)

2 変更するパスキーを入力し、入力終了にタッチする



電波発射を ON/OFF する

- 1 **電波発射** にタッチする
(→P93)
- 2 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	電波発射を行います。
OFF	電波発射を行いません。

メモ

- 電波発射を OFF に設定すると、本機からの登録操作やパスキーの変更はできません。

ナビゲーションの音量を設定する

ナビゲーションの案内音量、ハンズフリー時の受話・着信音量の調整と、オーディオの消音設定、案内音声や受話音を出力するスピーカー設定を行います。

音量設定をする

ナビゲーションの案内音量やハンズフリー時の受話音量と着信音量の調整、操作音のON/OFFを設定します。

メモ

・イージーセットアップ(→P100)で設定することもできます。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **調整補正** にタッチする

2 **音量/消音設定** にタッチする



3 **音量設定** にタッチする



4 **設定したい項目** にタッチする



案内音量

+	案内音量が大きくなります。
-	案内音量が小さくなります。

操作音

ON	操作音が鳴ります。
OFF	操作音が鳴りません。

受話音量

+	受話音量が大きくなります。
-	受話音量が小さくなります。

着信音量

+	着信音量が大きくなります。
-	着信音量が小さくなります。

メモ

- ・操作音は、それぞれの調整した音量と同じ大きさで鳴ります。
- ・カスタム設定(→P112)で「音量設定画面を表示する」を割り当てている場合は、**C** (カスタムボタン) を押して操作することもできます。

注意

- ・操作音をOFFに設定された場合、SDカード挿入不良などの警告音も鳴りません。ご注意ください。

消音設定をする

ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の着信などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声聞き取りやすくすることができます。

工場出荷時は以下のとおりです。

消音タイミング：「電話」

消音レベル：「-20dB」

- 1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **調整補正** にタッチする
- 2 **音量/消音設定** にタッチする
- 3 **消音設定** にタッチする



- 4 **設定したい項目** にタッチする



消音タイミング

ガイド・電話	音声案内やハンズフリー通話の着信時にオーディオの音量を下げます。
電話	ハンズフリー通話の着信時にオーディオの音量を下げます。
OFF	オーディオの音量を下げません。

消音レベル

-10dB	音量が1/3になります。
-20dB	音量が1/10になります。
MUTE	音量が0になります。

ガイド／ハンズフリー SP 設定をする

ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受話音などを、どのフロントスピーカーから出力するかを設定します。

工場出荷時は「フロントL + フロントR」です。

- 1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **調整補正** にタッチする
- 2 **音量/消音設定** にタッチする
- 3 **ガイド/ハンズフリー SP 設定** にタッチする



- 4 **出力させたいスピーカー** にタッチする



フロントL	フロント左側から出力します。
フロントL+フロントR	フロント左右から出力します。
フロントR	フロント右側から出力します。

イージーセットアップをする

イージーセットアップを行う

画面の指示に従って各設定をかたんに行うことができます。

イージーセットアップで設定できる項目と順序は、以下のとおりです。

音量設定

ナビの案内音量、受話音量、着信音量と操作音を設定できます。



自宅設定

自宅の登録や変更ができます。



ETC取付状態設定

ETC車載器が車に取り付けられているかどうか設定します。



カスタム設定

ⓐボタンに割り当てる機能を設定できます。



Bluetooth設定

Bluetooth機器の登録と、通信機能を使うためのプロバイダの設定ができます。



車両情報設定

車の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さを設定できます。



燃費設定

一般道路と高速道路での燃費設定ができます。



パーソナライズ設定

ユーザーアイコン、ユーザー名、案内音量、操作音、地図の表示などをユーザーごとに設定できます。

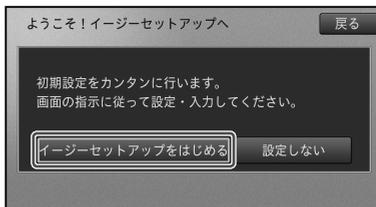
イージーセットアップを開始する

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** にタッチする

2 **イージーセットアップ** にタッチする



3 **イージーセットアップをはじめる** にタッチする



メモ

- イージーセットアップ設定中は、**次へ** にタッチすると次の設定へ、**前へ** にタッチすると前の設定に移ることができます。
- 終了** にタッチすると、その時点までの設定を保存してイージーセットアップ終了画面 (→ P103) に移ります。
- ETC取付状態設定以外の設定項目は、それぞれ設定メニューから個別に設定することができます。

音量の調整

4 **+** または **-**、**ON** または **OFF** にタッチして調整する

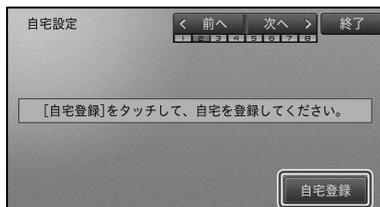


「案内音量」	ナビの音声案内の音量を調整します。
「操作音」	本機の操作音のON/OFFを設定します。
「受話音量」	ハンズフリー通話時の受話音量を調整します。
「着信音量」	電話の着信音量を調整します。

5 **次へ** にタッチする

自宅の設定

6 **自宅登録** にタッチする



メモ

- すでに自宅が登録済みの場合は、**登録変更**が表示されます。タッチすると手順 **7** に進み、自宅の場所を変更して上書きすることができます。

7 場所を探して(→P40)、**決定** にタッチする



8 **次へ** にタッチする

ETC取付状態の設定

9 状態を選んでタッチする



メモ

- 「車に取り付けている」に設定すると、機能設定(→P86)の「スマートIC考慮ルート探索」が自動的にONになります。また、どちらの設定にした場合でも、機能設定(→P86)の「ETCレーン案内表示」はONに変更されます。
- ルート案内中は、設定できません。

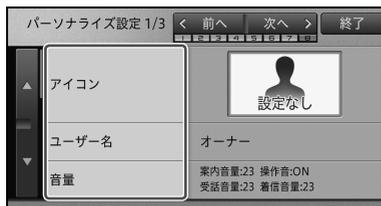
10 **次へ** にタッチする

つづく→

パーソナライズの設定

現在使用中のユーザー (→P213) 専用の設定を行います。

20 各項目を選んで内容を設定する



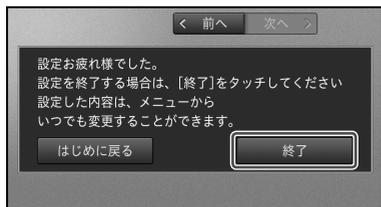
メモ

- ・パーソナライズの設定項目の詳細については、「パーソナライズ機能を利用する」(→P209)をご覧ください。

21 次へ にタッチする

イージーセットアップを終了する

22 終了 にタッチする



前へ	ひとつ前の画面に戻ります。
はじめに戻る	イージーセットアップ開始画面(→P100)に戻ります。

車両情報を設定する

車両の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さを設定します。
ここで設定された内容が駐車場および有料道路の料金案内に反映されます。

メモ

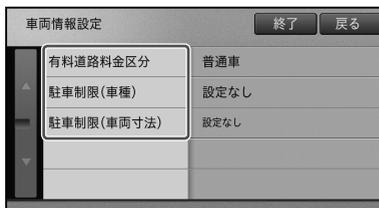
・イージーセットアップ(→P100)で設定することもできます。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** にタッチする

2 **車両情報設定** にタッチする



3 各項目を選んで内容を設定する



有料道路料金区分 有料道路走行時の料金区分を設定します。(→P104)

駐車制限(車種) 駐車場利用時の車種制限を設定します。(→P104)

駐車制限(車両寸法) 駐車場利用時の車両寸法制限を設定します。(→P105)

メモ

・ルート案内中やハイウェイモードの場合は、有料道路料金区分の設定はできません。

4 **終了** にタッチする

有料道路料金区分の設定

1 **有料道路料金区分** にタッチする(→P104)

2 該当する区分を選んでタッチする



駐車制限(車種)の設定

1 **駐車制限(車種)** にタッチする(→P104)

2 該当する車種を選んでタッチする



選ばれた車種のインジケーターが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

・該当する車種が無い場合は、何も設定しないでください。

3 **戻る** にタッチする

駐車制限(車両寸法)の設定

- 1 **駐車制限(車両寸法)**にタッチする(→P104)
- 2 入力する項目を選んでタッチする



- 3 **車検証などを参考に寸法を入力し、入力終了**にタッチする

例：**長さ(L)**を選んだ場合



引き続き他の項目を入力することができます。入力を終了する場合は**戻る**にタッチしてください。

メモ

- 一度設定した値をクリアするには、それぞれの入力画面で**設定解除**にタッチします。

リアルタイムプローブ設定をする

リアルタイムプローブを利用するために必要な設定を行います。

メモ

- ・「プローブ情報」とは、以下のデータを総称した名称です。
 - 蓄積型プローブ SDカードとパソコン経由で専用サーバーへ送信される、本機内蔵のメモリーに蓄積された走行履歴データ
 - リアルタイムプローブ 本機に接続された通信機器を使って、専用サーバーへ送受信される現在の走行履歴データ
- ・蓄積型プローブデータは最大で約1000km分が本機内蔵のメモリーに保存され、それを超えると古いデータから削除されます。
- ・リアルタイムプローブをご利用いただくには、あらかじめ通信設定(→P91)、ユーザー登録(→『スタートブック』-「使い始める前に」-「ユーザー登録について」)およびリアルタイムプローブ設定(→P106)が必要となります。

リアルタイムプローブ設定を行う

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** にタッチする

2 **リアルタイムプローブ設定** にタッチする



3 **設定する項目を選んでタッチする**



リアルタイムプローブ初期登録 リアルタイムプローブを利用するための初期登録を行います。(→P106)

プローブ情報送信設定 プローブ情報送信の有無(ON/OFF)を設定します。(→P107)

渋滞情報取得開始設定 渋滞情報を自動で取得するか手動で取得するか(オート/マニュアル)を設定します。(→P107)

渋滞情報連続取得設定 渋滞情報の連続取得の有無(ON/OFF)を設定します。(→P108)

初期登録

メモ

- ・あらかじめ通信設定を行ってください。(→P91)

1 **リアルタイムプローブ初期登録 - 登録する** にタッチする

通信が開始され、専用サーバーに接続されます。

メモ

- ・回線接続する必要がある場合は、メッセージが表示されます。**はい** にタッチしてください。

2 **ユーザー登録時に設定したニックネームとパスワードを入力し、入力終了** にタッチする

初期登録が完了します。

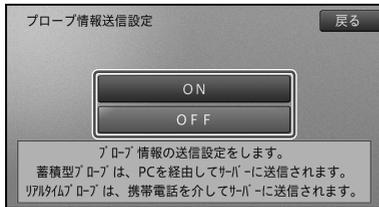
メモ

- 万が一、ニックネームやパスワードを忘れた場合は、『スタートブック』-「使い始める前に」-「ユーザー登録について」をご覧ください。

プローブ情報送信の設定

工場出荷時は「OFF」です。

- 1 **プローブ情報送信設定** にタッチする(→P106)
- 2 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	プローブ情報を送信します。
OFF	プローブ情報は送信しません。 (リアルタイムプローブ機能は利用できません。)

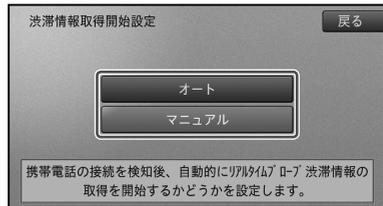
メモ

- ONからOFFに変更すると、本機に保存されているプローブ情報消去の確認メッセージが表示されます。設定を変更する場合は**はい**、キャンセルする場合は**いいえ**にタッチしてください。
- 「OFF」に設定した状態では、リアルタイムプローブ渋滞情報の取得、およびプローブ情報の蓄積は行われません。

データ取得開始タイミングの設定

工場出荷時は「マニュアル」です。

- 1 **渋滞情報取得開始設定** にタッチする(→P106)
- 2 **オート** または **マニュアル** にタッチする



オート	本機が通信可能な状態の場合、渋滞情報を自動的に取得します。
マニュアル	渋滞 に長くタッチするか 渋滞情報メニュー (→P23)の リアルタイムプローブ情報取得 にタッチすると、渋滞情報を取得します。

メモ

- **オート** を選ぶと、確認メッセージが表示されます。設定を実行する場合は**はい**、キャンセルする場合は**いいえ**にタッチしてください。
- 通信費および接続料金はお客様負担となります。

データ受信方法の設定

工場出荷時は「OFF」です。

1 渋滞情報連続取得設定にタッチする(→P106)

2 ONまたはOFFにタッチする



ON	情報の取得を一定間隔で行います。
OFF	連続取得は行いません。

メモ

- **ON** を選ぶと、確認メッセージが表示されず。設定を実行する場合は **はい**、キャンセルする場合は **いいえ** にタッチしてください。
- 連続取得を ON に設定した場合、取得間隔は以下ようになります。
 - － ルートあり時：10分間隔
 - － ルートなし時：20分間隔
- 専用サーバーの状態によっては、設定した取得時間間隔どおりに動作しない場合があります。
- 通信費および接続料金はお客様負担となります。

※リアルタイムプローブはバイオニア株式会社が提供するサービスです。

取得タイミングと連続取得の取得動作について

取得タイミングと連続取得の関係は、以下の表のようになります。

		渋滞情報取得開始設定	
		オート	マニュアル
渋滞情報連続取得設定	ON	通信機器の接続を確認した時点で自動取得し、以降一定間隔で連続取得します。	手動取得操作(→P117)を行った時点で取得し、以降一定間隔で連続取得します。
	OFF	通信機器の接続を確認した時点で自動取得し、以降は手動取得操作(→P117)を行った時点で取得します。	手動取得操作(→P117)を行った時点のみ取得します。

その他の設定をする

自転車位置のずれを修正する

自転車位置がずれた場合は、修正することができます。自転車位置修正は必ず停車した状態で行ってください。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **調整補正** にタッチする

2 **自転車位置修正** にタッチする



3 **8方向矢印キー** にタッチして **十字カーソル** を現在地に合わせる

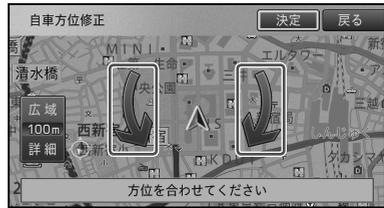


メモ

- ・ **微調整** にタッチすると、8方向矢印キーの表示/非表示を切り換えることができます。
- ・ 8方向矢印キー表示中に走行を開始した場合は、**微調整** にタッチして8方向矢印キーを消すことが、一度だけできます。

4 **決定** にタッチする

5 左右の回転矢印にタッチして自転車の向きを調整する



6 **決定** にタッチする

自転車位置が修正されます。

走行中の道路を切り換える

一般道路と有料道路が並行している場所を走行中、自転車位置が実際と異なる種類の道路に乗ってしまった場合に、自転車位置を一般道路または有料道路へ切り換えることができます。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **調整補正** にタッチする

2 **別道路切換** にタッチする



異なる種類の道路へ自転車位置が修正されます。

メモ

- ・ 自転車位置が修正できない場合もあります。
- ・ ルート案内中は、自転車位置を修正後ルートを探し直します。

セキュリティ設定をする

セキュリティ設定をすることで、盗難抑止効果や盗難予防効果が期待できます。本機が一度バッテリーから外された場合、パスワードが一致しない限り、主な機能が使えないように設定することができます。セキュリティロックの設定は、専用サーバーに接続して行います。あらかじめ通信機器を接続してから操作してください。また、事前にユーザー登録も必要となります。ユーザー登録については、『スタートブック』-「使い始める前に」-「ユーザー登録について」をご覧ください。

！ 注意

• 本機能をご利用いただくことが、必ずしも盗難防止につながるわけではありません。車から離れるときは必ずキーを抜いてドアをロックするなど、基本的な対策はお客様ご自身で注意していただきますようお願いします。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **システム設定** にタッチする

2 **セキュリティ設定** にタッチする



3 **セキュリティロック** にタッチする

通信が開始され専用サーバーに接続されます。

メモ

• 回線接続する必要がある場合は、メッセージが表示されます。**はい** にタッチしてください。

4 **確認** にタッチする

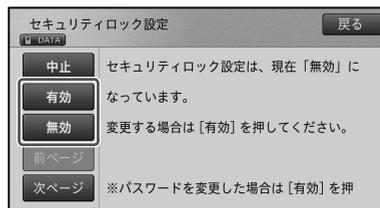
5 ユーザー登録時に設定したニックネームとパスワードを入力し、**入力終了** にタッチする

現在のセキュリティ設定状態が表示されます。

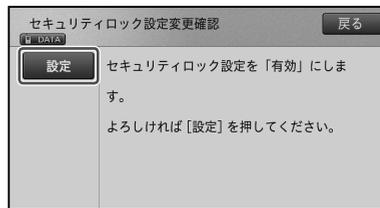
メモ

• 万が一、ニックネームやパスワードを忘れた場合は、『スタートブック』-「使い始める前に」-「ユーザー登録について」をご覧ください。

6 現在の状態に合わせて、**有効** または **無効** にタッチする



7 **設定** にタッチする



8 **確認** にタッチする



セキュリティが有効または無効になります。

セキュリティロックが働いた場合の操作

セキュリティロックを有効に設定した状態で、バッテリー交換などを行った場合、ACCをONにすると、以下の画面が表示されます。

1 確認にタッチする



2 ユーザー登録時に設定したパスワードを入力し、入力終了にタッチする



メモ

- 万が一、パスワードを忘れた場合は、『スタートブック』-「使い始める前に」-「ユーザー登録について」をご覧ください。

3 確認にタッチする



ナビゲーションが起動します。

カメラの入力設定をする

本機に接続した別売カメラの入力設定を行います。

1 [メニュー] を押し、[設定・編集] - [システム設定] にタッチする

2 [カメラ設定] にタッチする



3 項目を選んでタッチし、[ON] または [OFF] にタッチする



フロントカメラ

- ON** 本機に別売のフロントカメラを接続した場合にONに設定します。
- OFF** 本機に別売のフロントカメラを接続していない場合、または一時的にフロントカメラを使用しない場合はOFFに設定します。

サイドカメラ

- ON** 本機に別売のサイドカメラを接続した場合にONに設定します。
- OFF** 本機に別売のサイドカメラを接続していない場合、または一時的にサイドカメラを使用しない場合はOFFに設定します。

つづ→

バックカメラ

ON	本機に別売のバックカメラを接続した場合にONに設定します。
OFF	本機に別売のバックカメラを接続していない場合、または一時的にバックカメラを使用しない場合はOFFに設定します。

擬似バンパーライン表示

ON	バックカメラの映像表示中に擬似バンパーラインを表示させたい場合はONに設定します。
OFF	バックカメラの映像表示中に擬似バンパーラインを表示させたくない場合はOFFに設定します。

カスタムボタンを設定する

本体の **C** (カスタムボタン) に割り当てる機能を設定します。

メモ

- 工場出荷時は、「ソースを換える」に設定されています。
- イーザーセットアップ (→P100) で設定することもできます。

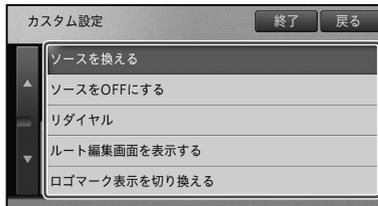
1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **システム設定** にタッチする

2 **カスタム設定** にタッチする



▼
カスタム設定リストが表示されます。

3 **設定したい機能 (コマンド) にタッチする**



▼
選んだ機能が、**C** (カスタムボタン) に割り当てられます。

C (カスタムボタン) を押し、割り当てた機能を使うことができます。

設定できる機能 (コマンド) について

TVにする	AVソースのTV(→P134)をONにします。
VICS図形情報画面を表示する	VICS図形情報画面(→P79)を表示します。
MUTEをON/OFFする	一時的にAVソースの音量を0にする機能をON/OFFします。
音量設定画面を表示する	音量設定画面(→P98)を表示します。
自宅へ帰る	自宅までのルート(1本)を探索します。(→P37)
ソースを換える	ボタンを押すたびにAVソースを切り換えます。(→P125)
ソースをOFFにする	AVソースをOFFにします。(→P126)
リダイヤル	ハンズフリー電話で、リダイヤルを行います。(→P201)
ルート編集画面を表示する	ルート編集画面(→P64)を表示します。
ロゴマーク表示を切り換える	ボタンを押すたびにロゴマークの表示/非表示を切り換えます。(→P30)

フロントカメラ・サイドカメラを使う場合

本機に別売のフロントカメラ/サイドカメラを接続し、カメラの入力設定(→P111)をONに設定した場合は、カスタム設定に関わらず、**C**(カスタムボタン)を押すと、フロントカメラまたはサイドカメラ映像を表示します。カメラの入力設定をOFFに設定すると、カスタム設定で割り当てた機能を再び使うことができます。

メモ

- フロントカメラ/サイドカメラ使用中の場合でも、カスタム設定自体は行うことができます。割り当てた機能が有効になるのはカメラの入力設定をOFFにした時点からとなります。

SDカード登録確認メッセージ表示設定

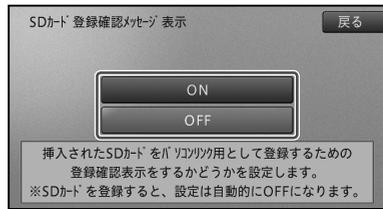
本機にSDカードを挿入した場合に、SDカード登録確認メッセージを表示するかどうかを設定します。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **システム設定** にタッチする

2 **SDカード登録確認表示** にタッチする



3 **ON** または **OFF** にタッチする



- ON** 登録確認メッセージを表示します。
- OFF** 登録確認メッセージは表示しません。

メモ

- SDカード登録確認メッセージは、一度登録が完了したあとは表示されません。はじめに登録したSDカードを別のものに変更したい場合は、設定を「ON」にしてください。

設定を初期状態に戻す

設定された機能を工場出荷時の状態に戻すことができます。

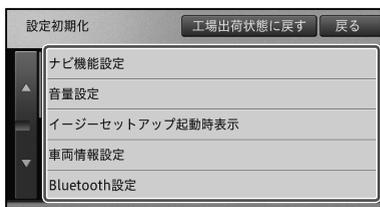
1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **システム設定** にタッチする

2 **設定初期化** にタッチする

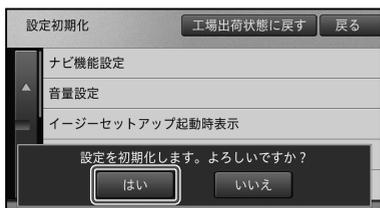


つづく→

3 初期化したい項目にタッチする



4 はいにタッチする



選んだ項目が初期化されます。

一括で工場出荷状態に戻す

お客様がご購入後に設定した内容や記録したデータを一括で工場出荷時の状態に戻すことができます。

注意

- 一度消去したデータは元に戻せません。十分注意してから操作してください。
- 必要な情報は、事前に控えておいてください。

消去される項目は、以下のとおりです。

消去される項目

機能設定、カスタム設定、リアルタイムプローブ設定、音量設定、車両情報設定、地図のビューとスケールの設定、走行軌跡、自車位置情報、VICS FMレベル3データ、VICS放送局 受信モード設定・受信周波数、VICSオンデマンドVICS情報(レベル3データ)、リアルタイムプローブ取得時情報、メモリダイヤル、Bluetooth設定、ロゴマーク表示設定、案内中のルート、学習ルートデータ、登録地、検索履歴、天気予報データ、エコ情報、エコプライズなど

消去されない項目

カメラ設定、センサー学習、セキュリティなど

メモ

- センサー学習を初期化するには、センサー学習のオールリセットを行ってください。(→P239)

通信機能を使う

オンデマンドVICS情報・リアルタイム	
プローブ渋滞情報を利用する	116
オンデマンドVICSについて	116
リアルタイムプローブと	
リアルタイムプローブ渋滞情報について	116
渋滞情報の取得のしかた	117
手動で取得する	117
自動で取得する	117
地図上でオンデマンドVICS /	
リアルタイムプローブ渋滞情報を見る	118
プローブ情報を保存する	118
天気予報を利用する	119
天気予報アイコンの見かた	119
ガススタ価格情報を利用する	120
駐車場満空情報を利用する	121

オンデマンドVICS情報・リアルタイムプローブ渋滞情報を利用する

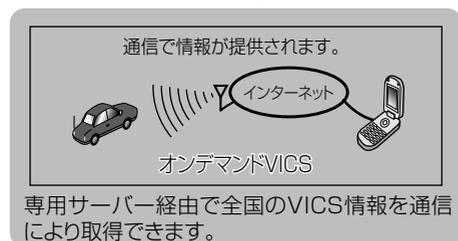
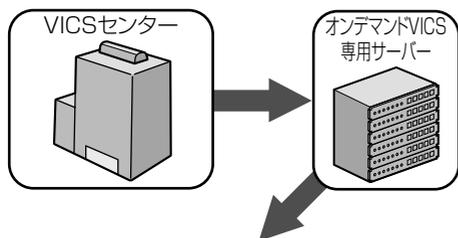
通信機能を利用して、オンデマンドVICS情報（オンデマンドVICS専用サーバーより提供）、リアルタイムプローブ渋滞情報（リアルタイムプローブサーバーより提供）を取得し、渋滞情報や規制情報などを確認することができます。

メモ

- 取得できる情報は、オンデマンドVICSまたはリアルタイムプローブ情報のどちらかになります。リアルタイムプローブの利用準備ができていない場合は、自動的にオンデマンドVICS情報のみの取得となります。

オンデマンドVICSについて

オンデマンドVICSとは、本機に接続された通信機器からオンデマンドVICS専用サーバーに接続し、VICSセンターからの自転車位置付近またはスクロール先のVICS情報（事象・規制情報、渋滞旅行時間リンク情報、SA・PA情報、駐車場情報）を取得する機能です。取得した情報は、地図に表示したり、ルート探索、到着予想時間などに反映することができます。

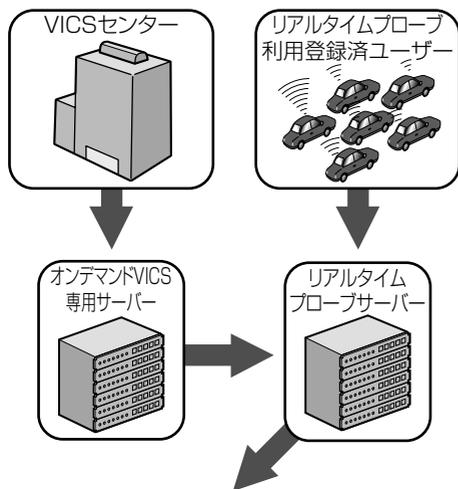


メモ

- あらかじめ、通信設定（→P91）を行ってください。
- 本機に保存できる取得情報は、3回分までです。4回目の取得操作を行うと、1回目の取得情報が消去されます。
- オンデマンドVICSの情報は、インクリメントP株式会社から提供されます。
- 道路交通情報データは、財団法人 日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には、財団法人 道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

リアルタイムプローブとリアルタイムプローブ渋滞情報について

リアルタイムプローブとは、ご利用登録いただいた各お客様から提供される情報（走行履歴）を、リアルタイムプローブサーバーで蓄積管理し、走行履歴データを考慮して作成された最新のプローブ渋滞情報を、VICS情報とあわせてお客様にご提供するシステムです。「リアルタイムプローブ渋滞情報」として取得できる情報は、VICSの情報（渋滞、規制、駐車場、SA/PA情報）と、リアルタイムプローブサーバーからのプローブ渋滞情報（現況渋滞情報・過去3カ月の走行履歴から生成した渋滞情報）で、ルート探索、到着予想時間などに反映することができます。



通信で情報が提供されます。

インターネット

リアルタイムプローブ

専用サーバー経由で全国のリアルタイムプローブ参加者からの渋滞情報を通信により取得できます。

※リアルタイムプローブはバイオニア株式会社が提供するサービスです。

メモ

- リアルタイムプローブをご利用いただくには、あらかじめ通信設定 (→P91) とユーザー登録 (→「スタートブック」-「使い始める前に」-「ユーザー登録について」) およびリアルタイムプローブ設定 (→P106) が必要となります。

渋滞情報の取得のしかた

通信による渋滞情報の取得のしかたは、手動で取得する方法と自動で取得する方法の2通りあります。

手動で取得する

現在地付近以外の情報を取得したい場合は、情報を取得したい場所の地図を表示させてから、以下の操作を行います。

1 渋滞に2秒以上タッチする

専用サーバーに接続し、オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報を受信します。



メモ

- 情報の受信が完了すると、自動的に通信の接続は切れます。
- メニュー** を押し、**情報 - 渋滞情報 - リアルタイムプローブ情報取得** にタッチしても、通信によるオンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報の取得を行うことができます。
- オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報とFM多重放送によるVICS情報を両方取得した場合は、提供時刻が新しい情報を優先して画面に表示します。

自動で取得する

リアルタイムプローブ設定 (→P106) で、「渋滞情報取得開始設定」を「オート」に設定しておくこと、本機が通信機器の接続を確認した時点で、自動的に情報を取得し、ルート案内に反映することができます。また「渋滞情報連続取得設定」を「ON」に設定しておくこと、通信可能な状態にあるときは、一定間隔で情報を取得します。

メモ

- リアルタイムプローブ渋滞情報受信の際には、走行履歴などのお客様の情報が、リアルタイムプローブサーバーに送信されます。
- 連続受信設定がONの場合、ルート案内中は10分間隔、ルート案内中でない場合は20分間隔でプローブ情報の送信および受信を行います。

地図上でオンデマンド VICS / リアルタイムプローブ渋滞情報を見る

プローブ渋滞情報の地図表示は、VICS情報の地図表示(→P77)と区別され表示されます。

有料道路への表示

渋滞	赤色の点線(青い縁取り)
混雑	橙色の点線(青い縁取り)
順調	空色の点線(青い縁取り)

一般道路への表示

渋滞	赤色の点線(白い縁取り)
混雑	橙色の点線(白い縁取り)
順調	空色の点線(白い縁取り)



情報提供時刻表示

O	オンデマンドVICSによる渋滞情報提供時刻
R	リアルタイムプローブによる渋滞情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青色	情報を受信してから5分以上30分未満の状態

プローブ情報を保存する

本機に保存されているプローブ情報は、リアルタイムプローブ設定(→P106)のプローブ情報送信設定をONに設定することで、登録済みの自宅周辺500m以内に入ったときに、自動的にSDカードに保存されます。

！ 注意

- SDカードの出し入れは、決められた手順で行ってください。→『スタートブック』-『SDカードの出し入れ』
異なる手順で出し入れを行うと、SDカードに保存したデータが破損する場合があります。

メモ

- SDカードに保存したプローブ情報は、パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」使用時に、自動的に専用サーバーへ転送されます。
- リアルタイムプローブ設定(→P106)のプローブ情報送信設定をONからOFFに変更すると、本機に保存されているプローブ情報の消去確認メッセージが表示されます。設定を変更する場合は**はい**、キャンセルする場合は**いいえ**にタッチしてください。

天気予報を利用する

天気予報を地図画面に表示することができます。

メモ

・あらかじめ、通信設定(→P91)を行ってください。

1 [メニュー] を押し、[情報] にタッチする

2 天気予報 - [はい] にタッチする



専用サーバーとの通信が開始されます。



データの取得が完了すると、地図画面下部に天気予報アイコンが表示されます。

現在地画面の場合は、現在地の天気予報を表示します。地図をスクロールした場合は、スクロールした地点の天気予報を表示します。

地図の表示方法がスカイビュー(→P28)のときは、天気予報に応じて空の色が変化します。

メモ

・表示される情報は、(株)ライフビジネスウェザーの天気予報に基づいています(ただし、専用サーバー上のデータが更新されていない場合があります)。

- ・(株)ライフビジネスウェザーが天気予報を発表する時刻は、予告なく変更される場合があります。
- ・取得した天気予報のデータは、発表時刻から35時間経過すると本機から削除されます。もう一度表示させるには、再度専用サーバーから天気予報のデータを取得してください。
- ・天気予報のデータが取得できないときは、表示されません。
- ・サーバー側からの緊急メッセージがあるときは、メッセージが表示され、気象情報の取得処理は中止されます。
- ・サーバー側からメンテナンスなどの事前予告情報があるときは、メッセージが表示されますが、気象情報の取得処理は継続されます。
- ・パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」を使って、天気予報データをパソコンからSDカードに保存し、本機の起動時に読み込ませることもできます。

通信機能を使う

天気予報アイコンの見かた



天気マーク 予報時刻表示

	晴れ(昼)		大雨
	晴れ(夜)		雪
	曇り		大雪
	雨		

メモ

・天気予報のデータが取得できなかったときは、天気予報アイコンは表示されません。

ガスタスタ価格情報を利用する

専用サーバーからガソリンの価格情報を取得して販売価格の安いガソリンスタンドを探し、目的地とすることができます。



メモ

・あらかじめ、通信設定(→P91)を行ってください。

1 **メニュー** を押し、**目的地** - **通信コンテンツ** にタッチする

2 **ガスタスタ価格情報** - **はい** にタッチする



専用サーバーとの通信が開始されます。

3 **探したいガソリンスタンドを選んでタッチする**

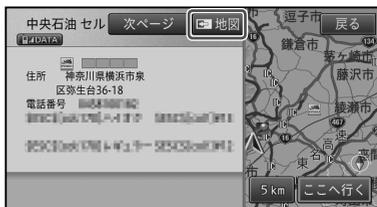


4 **目的の施設にタッチする**



選んだ施設を中心とした地図と詳細情報画面が表示されます。

5 **地図** にタッチする



該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P24)を参照してください。



メモ

- ・「ガスタスタ価格情報」は、データが取得できていないときは、情報表示されません。また、個人からの口コミによる情報のため、情報内容に関する保証は行いません。
- ・専用サーバーへ情報が保持されてからの経過時間に応じて価格情報を色で区別しています。
 - 橙色：24時間以内
 - 青色：7日以内
 - 茶色：8日以上

駐車場満空情報を利用する

専用サーバーから駐車場満空情報を取得して空いている駐車場を探し、目的地とすることができます。

メモ

- ・あらかじめ、通信設定(→P91)を行ってください。

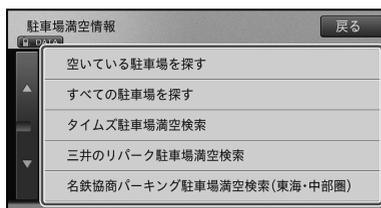
1 メニュー を押し、目的地 – 通信コンテンツにタッチする

2 駐車場満空情報 – はい にタッチする

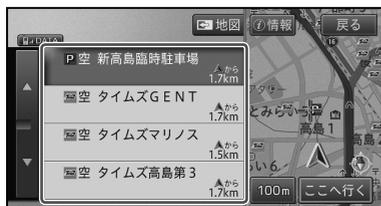


専用サーバーとの通信が開始されます。

3 探したい駐車場を選んで絞り込む

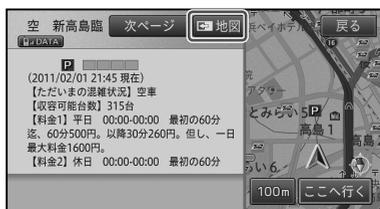


4 目的の施設にタッチする



選んだ施設を中心とした地図と詳細情報画面が表示されます。

5 地図 にタッチする



該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P24)を参照してください。

メモ

- ・「駐車場満空情報」は、データが取得できていないときは、情報表示されません。
- ・駐車場は、「車両情報を設定する」(→P104)の「駐車制限」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は(⊙)と表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります)

オーディオ基本操作

オーディオの基本操作	124
AVソース画面を表示する	124
映像系AVソースについて	124
AVソースプレートの表示について	124
AVソースを切り換える	125
AVソースアイコンについて	125
AVソースをOFFにする	126
映像画面時計表示設定	126
本機で再生可能なメディアとファイルの種類 ...	127

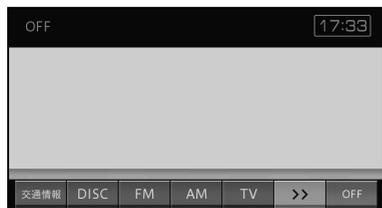
オーディオの基本操作

AVソース画面を表示する

1 ナビゲーション画面のときに

AVを押す

AVソース画面が表示されます。



ナビゲーション画面に戻るには、**現在地**を押します。

メモ

- AVソースがONの状態では**現在地**を押したときは、AVソースの音声はそのままにナビゲーション画面に戻ります。

映像系AVソースについて

DVDやTVなどの映像系AVソースの場合は、画面を切り換えるとはじめに映像のみ表示します。操作タッチキーなどを表示させたい場合は、一度画面にタッチしてください。



メモ

- 操作タッチキーは、**ビュー**にタッチするか8秒間何も操作しないと消えます。

AVソースプレートの表示について

地図画面のまま、**◎** (カスタムボタン) によるAVソースの切り換え (→P125) や本体のボタンによる選局・選曲操作などを行った場合は、地図画面上部にAVソースプレートが表示されます。AVソースプレートは、表示されてから約4秒間何も操作が行われないと消えます。

AVソースプレートには、現在再生中のAVソースの状態が表示されます。

AVソースプレート

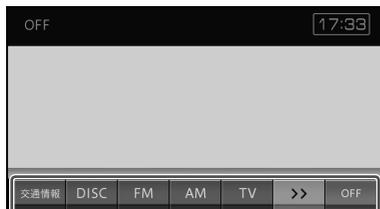


AVソースを切り換える

AVソースの切り換えは、タッチ操作(AVソースアイコン)で行います。

1 AVソース画面を表示する

2 お好みのAVソースアイコンにタッチする



AVソースアイコン

選んだAVソースに切り換わります。

メモ

- AVソースアイコンの **>>** にタッチすると、表示しきれなかったAVソースアイコンが表示されます。もう一度タッチすると、元の状態に戻ります。
- DVDやTVなどの映像系AVソースの場合は、一度画面にタッチして、操作タッチキーを表示してから操作してください。
- カスタム設定(→P112)で「ソースを換える」を割り当てている場合、**C** (カスタムボタン) を押すごとにAVソースを切り換えることができます。切り換わる順序は以下の通りです。

DISC → FM → AM → TV → SD →
Bluetooth Audio → USB/iPod →
VTR → AUX

ナビゲーション画面表示中は音声のみが切り換わり、**(AV)** を押すと、AVソース画面が表示されます。

- 機器を接続していないソースや、再生の準備、設定ができていないソースには切り換わりません。

AVソースアイコンについて

交通情報	幹線道路などで放送されている交通情報を受信したいときに選びます。
DISC	音楽CDやDVDビデオなどを再生したいときに選びます。
FM	FMラジオ放送を聞きたいときに選びます。
AM	AMラジオ放送を聞きたいときに選びます。
TV	地上デジタルテレビ放送を見たいときに選びます。
USB	USBメモリーに保存した音楽ファイルを再生したいときに選びます。
iPod	iPodを使いたいときに選びます。
SD	SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイルを再生したいときに選びます。
Bluetooth Audio	Bluetooth Audioを使いたいときに選びます。
VTR	ポータブルビデオなどを使いたいときに選びます。
AUX	外部オーディオ機器などを使いたいときに選びます。
OFF	選択中のAVソースをOFFにしたときに選びます。

メモ

- 各ソースアイコンは、再生の準備ができていソースのみ表示されます。
- ソースによっては、設定や接続が必要です。詳しくは、各ソースの説明ページをご覧ください。

AVソースをOFFにする

AVソースの再生や受信をやめる場合は、AVソースをOFFにします。

1 OFFにタッチする

AVソースがOFFになります。

メモ

- DVDビデオなど、再生停止ボタンが操作タッチキーに用意されているAVソースでは、OFFにしなくても再生を停止することができます。
- カスタム設定(→P112)で「ソースをOFFにする」を割り当てている場合は、**C**(カスタムボタン)を押して操作することもできます。
- **AV**を長く押ししても、AVソースをOFFにすることができます。また、AVソースOFF時に**AV**を長く押しすと、AVソースをOFFにする前のAVソース画面を表示することができます。

映像画面時計表示設定

映像系AVソース表示中の画面上で、時計表示するかどうかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **システム設定** にタッチする

2 映像画面時計表示 にタッチする



3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	時計を表示します。
OFF	時計を表示しません。

本機で再生可能なメディアとファイルの種類

本機で再生可能なメディアとファイル形式の組み合わせには制限があります。以下の表をご覧ください、対応の可(○)否(×)をご確認のうえ、ご利用ください。

なお、ファイル形式や拡張子が対応可の場合でも、ファイルの作成方法などによっては再生できない場合もあります。また、以下の表に記載されている以外のファイル形式は再生できません。

	ファイル形式	拡張子	 CD-R/RW	 DVD-R/RW	 USBメモリー	 SDカード
	WMA	.wma	○	○	○	○
	MP3	.mp3	○	○	○	○
	AAC	.m4a	○	○	○	○
	WAV	.wav	×	×	○	○
	MPEG-4	.avi/.mp4/.m4v	×	×	×	○
	WMV	.wmv	×	×	×	○
	H.264	.mp4	×	×	×	○

放送を受信する

ラジオを聞く	130
ラジオの放送を受信する	130
プリセットの種類を選ぶ	131
バンドを切り換える	131
リストから受信したい放送局を選ぶ	131
放送局を手動で登録する	131
放送局の自動登録	132
交通情報を聞く	133
交通情報を受信する	133
地上デジタルテレビ放送を見る	134
地上デジタルテレビ放送を受信する	134
アイコン一覧	136
プリセットの種類を切り換える	136
放送局を手動で登録する	136
サービスを切り換える	137
番組表を表示する	137
ジャンル検索で見たい番組を選ぶ	137
番組内容を表示する	138
データ放送を見る	138
データ放送画面の操作のしかた	138
十字パネルタッチキーの操作	139
数字パネルタッチキーの操作	139
字幕を切り換える	139
映像を切り換える	139
音声を切り換える	139
音声多重に切り換える	140
バンドを切り換える	140
放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン) ...	140
番組情報を取得する	140
お知らせメッセージを表示する	141
バージョン情報を表示する	141
サービスリストからチャンネルを選ぶ	141
ワイドモードを設定する	142
ワイドモードの種類	142
地上デジタルテレビの機能設定をする	143
設定内容の詳細	143

ラジオを聞く

ラジオの受信のしかたを説明します。

ラジオの放送を受信する

1 AVソースをFMまたはAMにする(→P125)

ラジオ受信画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。



リスト表示	プリセットされた周波数や放送局をリストで表示します。リスト表示中にタッチすると、ラジオ受信画面に切り換わります。(→P131)
スキャン	2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的にユーザープリセットに登録します。(→P132)
◀または▶	周波数を順に送ります。長くタッチすると、受信できる放送局を自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
FM1 ↔ FM2 (FMの場合)	バンドを切り換えます。(→P131)
AM1 ↔ AM2 (AMの場合)	
プリセット切換	プリセットの種類(→P131)を切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

◀または▶を押す	プリセットチャンネルを順に送る
◀または▶を長く押す	受信できる放送局を自動的に探す(SEEK)
◀または▶を押し続ける	周波数を連続で送る(NON STOP SEEK)

ワイプで操作する場合：

ラジオ受信中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	チャンネルをアップします。
←ワイプ	チャンネルをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさざぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- ステレオ放送を受信した場合は [STEREO] が表示されます。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが登録した放送局（ユーザープリセット）を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車位置付近の放送局（エリアプリセット）を呼び出すかを選びます。

1 プリセット切換にタッチする (→P130)

タッチするごとに、「ユーザープリセット」↔「エリアプリセット」が切り換わります。

メモ

- エリアプリセットに設定しておく、自車周辺の放送局がリスト表示され、かんたんに放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

バンドを切り換える

本機ではFM / AMそれぞれに2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットメモリー（P1～P6）を使い分けることができます。

1 FM1↔FM2または AM1↔AM2にタッチする (→P130)

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

FM1 ↔ FM2
AM1 ↔ AM2

メモ

- ふだんはFM1やAM1を使用し、旅行先ではFM2やAM2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

リストから受信したい放送局を選ぶ

1 リスト表示にタッチする (→P130)

2 受信したい放送局にタッチする



メモ

- 「戻る」にタッチすると、ラジオ受信画面に切り換わります。
- 放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットに、FM1、FM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で登録することができます（マニュアルプリセット）。

1 「ユーザープリセット」に切り換える(→P131)

2 ◀ / ▶ にタッチして登録したい放送局(周波数)を選ぶ (→P130)

3 リスト表示にタッチし、登録したいプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の周波数が、選んだプリセットに登録されます。

放送局の自動登録

受信状態の良い放送局をユーザープリセットに自動的に登録することができます。

1 スキャンに2秒以上タッチする (→P130)



中止 にタッチすると、自動登録を中止します。

自動登録が完了すると、ユーザープリセットに放送局が登録されます。

メモ

- 受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、以前に登録した放送局が残る場合があります。

交通情報を聞く

幹線道路などで放送されている交通情報の受信のしかたを説明します。

交通情報を受信する

1 AVソースを交通情報にする (→P125)

交通情報画面が表示され、前回聞いた周波数の交通情報を受信します。



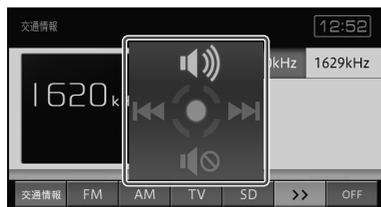
1620kHz	1 620kHzにします。
1629kHz	1 629kHzにします。

本体のボタンで操作する場合：

を押す	1 620kHzにします。
を押す	1 629kHzにします。

ワイプで操作する場合：

交通情報受信中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	1 629kHzを受信します。
←ワイプ	1 620kHzを受信します。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

- 交通情報を受信しているときに、音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。他のAVソースに切り換えて音量を調整しても、次に交通情報を受信したときは、前回設定した音量で聞くことができます。

地上デジタルテレビ放送を見る

地上デジタルテレビ放送を視聴することができます。

メモ

- TVソースを初めて使用するときやバッテリーを外したとき、視聴者設定クリア (→P144) をしたとき、別のエリアに移動したときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P140)

注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のため、モニターに映像は表示されません。

地上デジタルテレビ放送を受信する

1 AVソースをTVにする (→P125)

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

メモ

- カスタム設定 (→P112) で「TVにする」を割り当てている場合は、**C** (カスタムボタン) を押して操作することもできます。

2 画面にタッチする

シンプル操作タッチキーが表示されます。



リスト項目	タッチした放送局を受信します。
詳細	操作タッチキー 1 を表示します。
ビュー	シンプル操作タッチキーを消し、映像画面に戻ります。

操作タッチキー 1



リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
終了	映像画面を表示します。
戻る	シンプル操作タッチキーを表示します。
◀または▶	3桁チャンネルを順に送ります。長くタッチすると、物理チャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
プリセット切換	プリセットの種類 (→P136) を切り換えます。
サービス切換	同じ放送局内のサービスを切り換えます。(→P137)
番組表	番組表を表示します。(→P137)
番組内容	番組内容を表示します。(→P138)
d	データ放送画面に切り換えます。(→P138)
操作	パネルタッチキーを表示します。(→P138)
次ページ	操作タッチキー 2 に切り換えます。

操作タッチキー 2



終了	映像画面を表示します。
戻る	シンプル操作タッチキーを表示します。
字幕切換	字幕がある場合、字幕を切り換えます。(→P139)
音声切換	複数の音声がある場合、音声を切り換えます。(→P139)
映像切換	番組に複数の映像(マルチビュー)がある場合、映像を切り換えます。(→P139)
音声多重	音声出力を切り換えます。(→P140)
TV1⇄TV2	バンドを切り換えます。(→P140)
スキャン	2秒以上タッチすると、受信可能な放送局を自動的に登録します。(→P140)
番組情報取得	番組情報を取得します。(→P140)
前ページ	操作タッチキー 1 に切り換えます。
次ページ	操作タッチキー 3 に切り換えます。

操作タッチキー 3



終了	映像画面を表示します。
戻る	シンプル操作タッチキーを表示します。

お知らせメッセージ	本機に送られてきたメッセージを表示します。(→P141)
バージョン情報	本機のソフトウェアのバージョンや、miniB-CASカードなどの情報を表示します。(→P141)
サービスリスト	サービスリストを表示します。(→P141)
ワイドモード	表示画面を設定します。(→P142)
前ページ	操作タッチキー 2 に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

◀ または ▶ 押す	プリセットチャンネルを順に送る
◀ または ▶ 長く押す	受信できる物理チャンネルを自動的に探す (SEEK)

ワイプで操作する場合：

地デジ受信中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	チャンネルをアップします。
←ワイプ	チャンネルをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

- TVの音量は、他のAVソースより低いため、他のAVソースからTVに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P192)

アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンがAVソースプレートに表示されます。

	2カ国語放送
	ワンセグから通常放送へ切り換え可能
	データ連動放送
	マルチビュー放送
	HDTV (ハイビジョン放送)
	SDTV (標準画質放送)
	ワンセグ(1セグメント放送)
	サラウンド放送
	ステレオ放送
	マルチ編成
	複数の音声あり
	字幕あり
	アンテナの受信感度
	未読のお知らせメッセージあり

プリセットの種類を切り換える

ユーザーが登録した放送局(ユーザープリセット)を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車周辺の放送局(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

1 プリセット切換にタッチする (→P134)

タッチすることにより、「ユーザープリセット」↔「エリアプリセット」が切り換わります。

メモ

- エリアプリセットに設定しておくと、自車周辺の放送局がリストに表示され、かんたんに放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数(チャンネル)変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットにバンドごとに12局まで手動で登録することができます(マニュアルプリセット)。

1 「ユーザープリセット」にする (→P136)

2 ◀ / ▶ にタッチして登録したい放送局を選ぶ(→P134)

3 登録したいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の放送局が、選んだプリセットに登録されます。

サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスやワンセグが提供されている場合、サービスを切り換えることができます。

1 サービス切換にタッチする (→P134)

別のサービスが表示されます。

番組表を表示する

本機が取得したチャンネルの、最大1週間先までの電子番組表(EPG)を表示できます。

1 番組表にタッチする (→P134)

番組表が表示されます。

3桁チャンネル番号

日付・時刻 放送事業者名 地域名 番組名 アイコン



日付切換 (タッチ操作可能)
(タッチ操作可能) 番組表
スクロールアイコン (タッチ操作可能)

前日	前日の番組表を表示します。
翌日	翌日の番組表を表示します。
🔍	ジャンル検索画面が表示されます。ジャンルを選んで、見たい番組を検索し、視聴します。(→P137)

切換	タッチすることにより、以下のように表示方法が切り換わります。 4チャンネル分 → 7チャンネル分 → 1チャンネル分 → 4チャンネル分に戻る
終了	通常の視聴画面に戻ります。
決定	現在放送中の番組であれば、選んだまたは番組表 現在放送中の番組でなければ、選択された番組の番組内容画面を表示します。

メモ

- 画面の項目に直接タッチして操作できます。
- 終了**にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。
- 番組情報取得の操作(→P140)または4チューナー設定で、「番組表取得/サーチ優先」(→P144)を行っていない場合、現在受信中のチャンネル以外は空欄となります。空欄部分にタッチするか、**▲▼◀▶**で空欄を選んで**決定**にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。

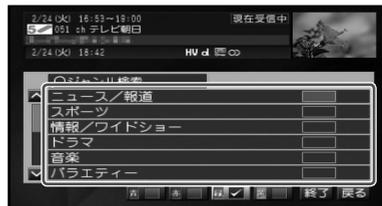
ジャンル検索で見たい番組を選ぶ

ジャンルから見たい番組を検索することができます。

メモ

- 検索結果は最大で30番組までです。また、検索対象は24時間以内に開始される番組となります。

- 1 番組表が表示されているときに **🔍** にタッチする(→P137)
- 2 見たい番組のジャンルを選んでタッチする



メモ

- ジャンル検索画面表示中に **A V** でジャンルを選び、カラーボタン (**青**、**赤**、**緑**、**黄**) にタッチすると、その選んだジャンルの番組がカラーボタンの色で番組表に表示されます。

3 見たい番組を選んでタッチする

現在放送している番組であれば、その番組に切り換わります。

これから放送する番組であれば、その番組の情報が表示されます。

番組内容を表示する

視聴している番組の番組内容を表示します。

1 番組内容にタッチする (→P134)

番組内容が表示されます。

3桁チャンネル番号

番組名 放送(サービス)名
地域名 放送事業者名



番組内容 (タッチ操作可能)
スクロールアイコン (タッチ操作可能) アイコン

メモ

- 画面の項目に直接タッチして操作できます。
- 終了** にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

データ放送を見る

視聴中の番組にデータ放送がある場合は、データ放送に切り換えることができます。

メモ

- 地域を対象としたサービス(設定した地域の天気予報や選挙速報など)を行っている場合は、郵便番号設定 (→P144) で設定した地域の情報を受信します。工場出荷時は、「オート」に設定されています。

1 d にタッチする (→P134)

データ放送の画面に切り換わります。

メモ

- データ放送画面は、画面の項目に直接タッチして操作することはできません。パネルタッチキーで項目を選んで操作します。→「データ放送画面の操作のしかた」(P138)
- データ放送画面から、通常の放送画面に戻するには、画面にタッチしてから **d** にタッチします。

データ放送画面の操作のしかた

データ放送画面では、パネルタッチキーを表示して操作します。

1 データ放送画面で、操作にタッチする (→P134)

パネルタッチキーが表示されます。パネルタッチキーには十字パネルタッチキーと数字パネルタッチキーがあります。

十字パネルタッチキーの操作

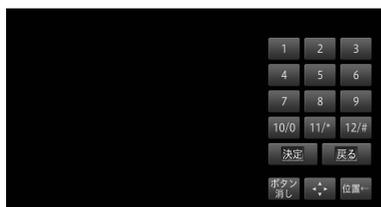
カーソル操作や項目の決定、各機能ボタンの操作ができます。



決定	項目を決定します。
▲▼◀▶	カーソルを操作します。
戻る	1つ前の操作に戻ります。
d	データ放送画面と通常の放送画面を切り換えます。
青	青ボタンとして使います。
赤	赤ボタンとして使います。
緑	緑ボタンとして使います。
黄	黄ボタンとして使います。
ESC	ESCボタンとして、全解除などに使います。
ボタン消し	パネルタッチキーを消します。
数字	数字パネルタッチキーを表示します。(→P139)
位置←	パネルタッチキーの表示位置を切り換えます。

数字パネルタッチキーの操作

プリセットメモリの操作や数字の入力などができます。



数字キー (1 ~ 12/#)	数字を入力します。数字入力画面以外では、プリセットメモリキーとして動作します。
決定	項目を決定します。
戻る	1つ前の操作に戻ります。
ボタン消し	パネルタッチキーを消します。

	十字パネルタッチキーに戻ります。(→P139)
位置←	パネルタッチキーの表示位置を切り換えます。

字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り換えます。

1 字幕切換 にタッチする (→P135)

タッチするごとに次のように切り換わります。

複数の字幕がある場合：

字幕1 → 字幕2 → 字幕OFF → 字幕1 に戻る

映像を切り換える

マルチビューなど、複数の映像がある番組のときに、映像を切り換えます。

1 映像切換 にタッチする (→P135)

タッチするごとに次のように切り換わります。

複数の映像がある場合：

映像1 → 映像2 → 映像3 → 映像1 に戻る

音声を切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声を切り換えます。

1 音声切換 にタッチする (→P135)

つづく→

▼
 タッチすることにより次のように切り換わります。

複数の音声がある場合：

第1音声 → 第2音声 → 第3音声 →
 第1音声 に戻る

音声多重に切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声多重に切り換えます。

1 音声多重にタッチする (→P135)

▼
 タッチすることにより次のように切り換わります。

MAIN (主音声) → SUB (副音声) →
 MAIN + SUB (主音声 + 副音声) →
 MAIN (主音声) に戻る

MAIN	左右のスピーカーから主音声のみを出力します。
SUB	左右のスピーカーから副音声のみを出力します。
MAIN+SUB	左側スピーカーから主音声、右側スピーカーから副音声を出力します。

バンドを切り換える

本機では2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットメモリー (P1 ~ P12) を使い分けることができます。

1 TV1⇄TV2にタッチする (→P135)

▼
 タッチすることによりTV1 ↔ TV2が切り換わります。

メモ

- ふだんはTV1を使用し、旅行先ではTV2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)

バンドごとに受信可能な放送局をユーザープリセットとサービスリストに自動的に登録することができます。

1 スキャンに2秒以上タッチする (→P135)



▼
中止 にタッチすると、スキャンを中止します。

番組情報を取得する

番組情報を取得して、番組表や番組内容を最新の状態にします。

1 番組情報取得にタッチする (→P135)



▼
中止 にタッチすると、取得を中止します。

お知らせメッセージを表示する

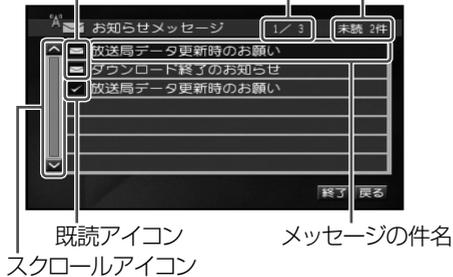
本機に送られてきたメッセージを表示します。

1 お知らせメッセージにタッチする(→P135)

メッセージ一覧画面

選択中のメッセージ番号と総メッセージ数
未読アイコン

未読件数の表示

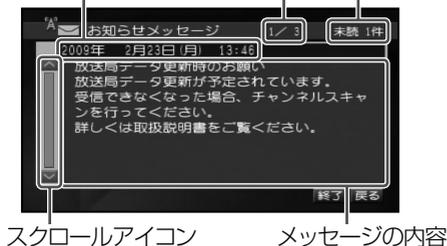


2 内容を見たいメッセージにタッチする

選んだメッセージの内容が表示されます。

選択中のメッセージ番号と総メッセージ数
日付・時刻

未読件数の表示



メモ

- ・**戻る**または**終了**にタッチすると、放送画面(視聴画面)に戻ります。
- ・未読メッセージがあると、画面に✉(→P136)が表示されます。

バージョン情報を表示する

1 バージョン情報にタッチする(→P135)

本機ソフトウェアのバージョン



miniB-CAS カードの情報

サービスリストからチャンネルを選ぶ

1 サービスリストにタッチする(→P135)

2 受信したいサービスチャンネルにタッチする



ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

メモ

- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。

1 **ワイドモード**にタッチする (→P135)

2 お好みの表示方法を選んでタッチする



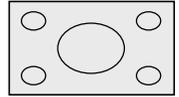
メモ

- 通常のテレビ放送の番組で ZOOM、NORMAL 以外の映像の縦横比が異なるモードを選ぶと本来の映像と見えかたに差が出ます。
- CINEMA、ZOOM で映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると (FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類

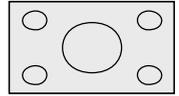
FULL (フル)

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



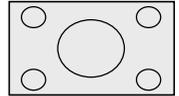
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



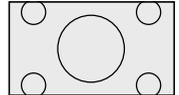
CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



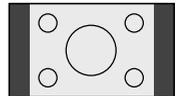
ZOOM (ズーム)

4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



地上デジタルテレビの機能設定をする

地上デジタルテレビ放送を受信する際の機能を設定します。

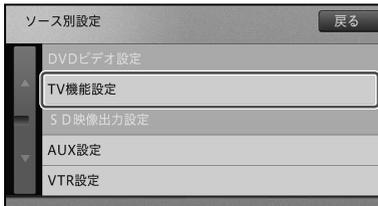
機能設定には、視聴設定、環境設定があります。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** にタッチする

2 **ソース別設定** にタッチする



3 **TV機能設定** にタッチする



地上デジタルテレビ放送の機能設定メニューが表示されます。

4 **メニューの種類(タブ)** を選んで **メニュー項目** にタッチする



メニュー項目

視聴設定	[視聴設定] メニューが表示されます。
環境設定	[環境設定] メニューが表示されます。

メモ

・各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

設定内容の詳細

【視聴設定】メニュー

*は工場出荷時の設定です。

12セグ・ワンセグ切換設定

視聴している番組の受信レベルが低くなった場合に、通常の放送とワンセグを自動的に切り換えるか手動で切り換えるかを設定します。シグ切換をONにすることで、自動切換をスムーズに行います。

切換設定

「オート」*

受信感度に応じてフルセグ⇄ワンセグを自動で切り換えます。

「マニュアル」

フルセグ⇄ワンセグを自動で切り換えません。

シグ切換

「ON」*

フルセグ⇄ワンセグ自動切り換え時に、画像および音声を途切れがないようにスムーズにつなげます。

「OFF」

スムーズにつなげる機能はOFFにします。

オート放送局サーチ設定

受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。

「中継局+系列局」自動で中継局・系列局を探します。

「中継局」*

自動で中継局を探します。中継局・系列局は探しません。

「OFF」

つづく→

文字スーパー表示設定

文字スーパーの言語や表示を設定します。

- 「第1言語」* 第1言語で表示します。
「第2言語」 第2言語で表示します。
「OFF」 文字スーパーを表示しません。

イベントリレー設定

別のチャンネルで延長番組が放送されるときに、自動的にチャンネルを切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。

- 「オート」 自動でチャンネルを切り換えます。
「マニュアル」* 手動でチャンネルを切り換えます。

緊急警報放送設定

緊急警報放送が始まったときに、チャンネルを自動で切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。

- 「オート」* 自動でチャンネルを切り換えます。
「マニュアル」 手動でチャンネルを切り換えます。

【環境設定】メニュー

*は工場出荷時の設定です。

地域設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、エリアプリセットで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

- 「オート」* 自車位置情報をもとに自動的に設定されます。
「マニュアル」 手動で地域を設定します。

郵便番号設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、データ放送の地域を対象にしたサービスで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

- 「オート」* 自車位置情報をもとに自動的に設定されます。
「マニュアル」 手動で使用する地域を郵便番号で入力します。

番組名称情報取得設定

地上デジタルテレビ以外のAVソースのときや、「4チューナー設定」を「番組表取得/サーチ優先」に設定している場合に、自動的に最新の番組情報を取得(→P135)するかどうかを設定します。

- 「ON」* 自動的に取得します。
「OFF」 自動的に取得しません。

視聴者設定クリア

廃棄や譲渡などで本機を手放すときに、本機に記録されている視聴者設定を消去するための設定です。

※チャンネルおよび番組表、機能設定(視聴設定、環境設定)、データ連動放送のブックマークが消去されます。

- 「はい」 設定をクリアします。
「いいえ」 設定をクリアしません。

番組表示設定

表示する番組表を、主要サービスのメインチャンネルにするか、全チャンネルにするかを設定します。

- 「メインチャンネル」* メインチャンネルの番組表を表示します。
「全チャンネル」 全チャンネルの番組表を表示します。

4チューナー設定

4つのチューナーをすべて受信性能優先とするか、2チューナーで受信を行い、残りの2チューナーで他の放送局の番組表取得などの機能に振り分けるかを設定します。

- 「受信性能優先」* 4つのチューナーをすべて受信性能優先として設定します。
「番組表取得/サーチ優先」 必要に応じて2チューナーで放送を受信し、残りの2チューナーで機能を実行します。

音楽ディスクを使う

音楽CDを聴く	146
再生する	146
リストから選んで再生する	147
リピート再生	147
ランダム再生	147
ROM (WMA/MP3/AAC) を聴く	148
再生する	148
リストから選んで再生する	149
リピート再生	149
ランダム再生	149

音楽CDを聴く

音楽CDの基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。



再生中トラックの 経過時間 アルバムタイトル

リスト表示	トラックリストを表示します。
▶/⏸	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生を行います。 (→P147)
ランダム	ランダム再生を行います。 (→P147)

本体のボタンで操作する場合：

◀ または ▶ を押す	トラックのダウン/アップ
◀ または ▶ を長く押す	早戻し/早送り

ワイプで操作する場合：

CD再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	トラックをアップします。
←ワイプ	トラックをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P125)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P220)を参照してください。
- アルバムタイトル、トラックタイトル、アーティスト名は、CD-TEXTから情報が取得できた場合のみ表示されます。それ以外では、以下のように表示されます。
 - アルバムタイトル：No Title
 - トラックタイトル：No Title
 - アーティスト名：No Name
- 音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)のデータが混在しているディスクを再生した場合、CDのみ再生されます。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 リスト表示にタッチする (→P146)

2 聴きたい曲(トラック)にタッチする



メモ

- 通常再生画面に戻るには、**終了**または**戻る**にタッチします。

リピート再生

指定したディスク、トラックを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をTRACK REPEATに指定すると、再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 リピートにタッチする (→P146)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

DISC REPEAT ↔ TRACK REPEAT

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面に表示されませんが、通常再生であるDISC REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする (→P146)

タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピート再生の範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はDISC REPEATに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にリピート再生やリピート再生の範囲を超える操作を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

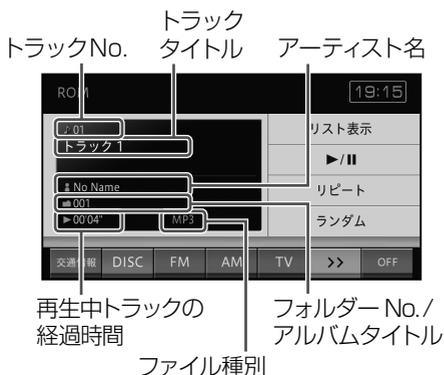
ROM(WMA/MP3/AAC)を聴く

ROM(WMA/MP3/AAC)の基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。



リスト表示	トラックリストを表示します。
▶/ 	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生を行います。 (→P149)
ランダム	ランダム再生を行います。 (→P149)

本体のボタンで操作する場合：

◀ または ▶ を押す	トラックのダウン/アップ
◀ または ▶ を長く押す	早戻し/早送り

ワイプで操作する場合：

ROM再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	トラックをアップします。
←ワイプ	トラックをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P125)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P220)を参照してください。
- ID3タグ/WMAタグ/AACタグ(→P224, 225)からタイトル情報を取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- タイトル情報を取得できなかった場合は以下のように表示されます。
 - アルバムタイトル：フォルダー名
 - トラックタイトル：ファイル名
 - アーティスト名：No Name
- WMAのときにタグのAuthor情報があつた場合、アーティスト名として表示します。
- DRM(デジタル著作権管理)が設定されたファイルは再生できません。
- 音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)のデータが混在しているディスクを再生した場合、CDのみ再生されます。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 リスト表示にタッチする (→P148)

メモ

- ・ **リスト** に長くタッチすると、ルートフォルダー内のリストを表示します。

2 聴きたい曲(トラック)にタッチする



メモ

- ・ **戻る** にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- ・ フォルダリスト表示中にフォルダ名にタッチすると、そのフォルダの内容をリスト表示します。
- ・ リストに表示されるフォルダ数はCD-R、DVD-R共通で最大700、ファイル数はCD-R最大999、DVD-R最大3500です。

リピート再生

指定したディスク、フォルダー、トラックを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をTRACK REPEATに指定すると、再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 リピートにタッチする (→P148)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

DISC REPEAT → TRACK REPEAT → FOLDER REPEAT → DISC REPEAT に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダを繰り返します。

メモ

- ・ リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- ・ 選んだリピート再生範囲は画面に表示されませんが、通常再生であるDISC REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする (→P148)

タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- ・ リピート再生の範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はFOLDER REPEATに自動的に切り換わります。
- ・ FOLDER REPEATとランダム再生中に他のフォルダの曲を再生した場合、FOLDER REPEATはなくなり、ランダム再生のみの再生となります。

映像ディスクを使う

DVDビデオを見る	152	DVD-VRを見る	158
再生する	152	再生する	158
ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ)	153	リストからタイトルを選んで再生する	159
ディスクメニュー操作キーで操作する	153	リピート再生	159
リピート再生	154	コマ送り再生	160
コマ送り再生	154	スロー再生	160
スロー再生	154	CMバック/スキップ	160
ブックマークの登録	155	字幕言語の切り換え	161
字幕言語の切り換え	155	音声言語の切り換え	161
音声言語の切り換え	155	音声多重の切り換え	161
音声出力の切り換え	156	ダイレクトサーチ	161
アングルの切り換え	156	ワイドモードを設定する	162
リターン再生	156	ワイドモードの種類	162
ダイレクトサーチ	156	DVDの機能設定	163
ワイドモードを設定する	157	基本字幕言語	163
ワイドモードの種類	157	基本音声言語	163
		メニュー言語	164
		マルチアングル	164
		テレビアスペクト	164
		視聴制限	165
		暗証番号を忘れたときは	165
		オートプレイ	165
		言語コード表	166

DVDビデオを見る

DVDビデオの基本的な再生のしかたについて説明します。

！ 注意

・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

2 画面にタッチする

操作タッチキー1が表示されます。

操作タッチキー 1



トップメニュー / メニュー	ディスクに記録されたメニューがある場合、メニュー画面を表示します。(→P153)
▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)
リピート	リピート再生を行います。(→P154)
 ▶	コマ送り再生 / スロー再生を行います。(→P154)

ディスクメニュー	ディスクメニュー操作キーを表示して、ディスクメニューの操作を行います。(→P153)
ブックマーク	再生中のディスクにブックマークを登録します。(→P155)
次ページ	操作タッチキー2に切り換えます。

操作タッチキー 2



字幕切換	再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕)(→P155)
音声切換	再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声)(→P155)
L/R切換	音声出力を切り換えます。(→P156)
アングル	再生中にカメラアングルを切り換えます。(マルチアングル)(→P156)
リターン	戻る位置が指定されたディスクの場合、再生中に指定された位置まで戻って再生します。(→P156)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→P156)
ワイドモード	表示画面を設定します。(→P157)
前ページ	操作タッチキー1に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

◀または▶を押す	チャプターのダウン／アップ
◀または▶を長く押す	早戻し／早送り
◀または▶を5秒以上押し続ける	キーを離してからも早戻し／早送りを続けます。もう一度押すと通常再生に戻ります。

ワイプで操作する場合：

DVDビデオ再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	チャプターをアップします。
←ワイプ	チャプターをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

- ・「ビュー」にタッチすると操作タッチキーは消えます。
- ・すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P125)
- ・DVDによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニューを操作して再生してください。→「ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ)」(→P153)
- ・オートプレイの設定をONにすると、タイトル順に自動的に再生することができます。→「オートプレイ」(P165)
- ・DVDの録音レベルは他のAVソースより低いいため、他のAVソースからDVDに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P192)
- ・再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P220)を参照してください。

ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ)

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。本機は、画面に表示されるディスクメニューに直接タッチして操作することができます。

1 トップメニューまたはメニューにタッチする(→P152)

2 画面にタッチして操作する



メモ

- ・☑にタッチするとディスクメニュー操作キーを表示して操作することができます。

ディスクメニュー操作キーで操作する

ディスクメニューの文字列が小さくてタッチしにくいときや、文字列の一部がタッチキーなどに隠れてしまっている場合などは、ディスクメニュー操作キーを表示して操作することができます。

1 操作タッチキー1またはディスクメニュー表示中に☑にタッチする(→P152)

つづく→

2 ▲◀▶▼ にタッチして項目を選び、決定にタッチする



メモ

- **←位置** にタッチすると、ディスクメニュー操作キーの表示位置を画面右側から画面左側へ変更することができます。表示位置を画面右側へ戻す場合は **位置→** にタッチしてください。
- **メニュー** にタッチすると、ディスクメニューに戻ります。
- **戻る** にタッチすると、一つ前の画面に戻ります。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をCHAPTER REPEATに指定すると、再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

1 リピートにタッチする (→P152)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT
→ TITLE REPEAT → DISC REPEAT
に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- 選んだリピート再生範囲は、画面に表示されませんが、通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊙(禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 Ⅲ▶ にタッチする(→P152)

再生が一時停止し、Ⅲ▶ にタッチすることにより、映像が1コマずつ送られます。

メモ

- Ⅲ▶ にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、⊙(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 Ⅲ▶ に2秒以上タッチする (→P152)

スロー再生されます。

スロー再生中にⅢ▶ にタッチすることにより、スロー再生の速度が以下のように切り換わります。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

メモ

- ▶▶ にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置によって、Ⓢ (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

ブックマークの登録

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

1 ブックマークにタッチする
(→P152)

選んだ場面がブックマークとして登録され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

消去する場合は、**ブックマーク** に2秒以上タッチします。

メモ

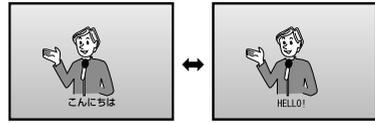
- ディスク1枚につき1場面登録でき、ディスク5枚分のブックマークを登録できます。5枚を超えて新しいディスクにブックマークを登録すると、一番使用時期の古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。

字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 字幕切換にタッチする
(→P152)

タッチすることにより、字幕言語が切り換わります。



メモ

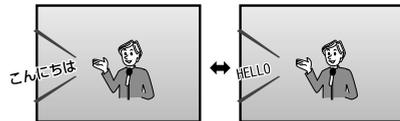
- パッケージについている[?]マークの数字が、字幕の収録数です。
- DVDによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語の切り換え

音声複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換にタッチする
(→P152)

タッチすることにより、音声言語が切り換わります。



メモ

- パッケージについているⓈ)マークの数字が、音声の収録数です。
- DVDによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- DTS音声は再生できません。
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声出力の切り換え

音声がリニアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り換えます。

1 **L/R切換** にタッチする (→P152)

タッチすることにより、音声出力のチャンネルが以下のように切り換わります。

L+R → L → R → Mix → L+Rに戻る

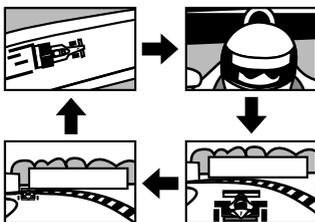
L+R	左右両方の音声を出力します。
L	左の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。
Mix	左右の音声をミックスして出力します。

アングルの切り換え

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り換えることができます(マルチアングル)。

1 **アングル** にタッチする (→P152)

タッチすることにより、アングルが切り換わります。



メモ

- マルチアングルが収録されている場で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。
- パッケージについている  マークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示/非表示は、DVD機能設定メニューの「マルチアングル」で行います。→「マルチアングル」(P164)

リターン再生

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます。

1 **リターン** にタッチする (→P152)

ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 **10キーサーチ** にタッチする (→P152)

2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

TITLE、**CHAPTER**、**TIME**、**10キーモード**が選べます。



数字キー

3 見たい場面の番号を入力し、**決定**にタッチする

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒 にタッチすると分と秒を 確定します。
TCキーモード	数字のコマンドを入力します。

指定した場面から再生を始めます。

ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

メモ

- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。

1 **ワイドモード**にタッチする (→P152)

2 お好みの表示方法を選んでタッチする



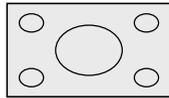
メモ

- CINEMA、ZOOM で映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類

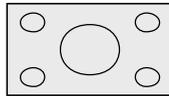
FULL (フル)

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



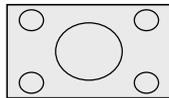
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



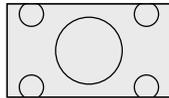
CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



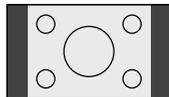
ZOOM (ズーム)

4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



DVD-VRを見る

DVD-VRの基本的な再生のしかたについて説明します。

！ 注意

・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

2 画面にタッチする

操作タッチキー1が表示されます。

操作タッチキー 1



リスト表示	タイトルリストを表示します。 (→P159)
▶/ 	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)
リピート	リピート再生を行います。(→P159)
 ▶	コマ送り再生/スロー再生を行います。(→P160)
CMバック / CMスキップ	一定の秒数だけ早戻し/早送りを行います。(→P160)
次ページ	操作タッチキー2に切り換えます。

操作タッチキー 2



字幕切替	再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕)(→P161)
音声切替	再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声)(→P161)
音声多重	音声出力を切り換えます。(→P161)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→P161)
ワイドモード	表示画面を設定します。(→P162)
前ページ	操作タッチキー1に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

◀ または ▶ を押す	チャプターのダウン/アップ
◀ または ▶ を長く押す	早戻し/早送り
◀ または ▶ を5秒以上押し続ける	キーを離してから早戻し/早送りを続けます。もう一度押すと通常再生に戻ります。

ワイプで操作する場合：

DVD-VR再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



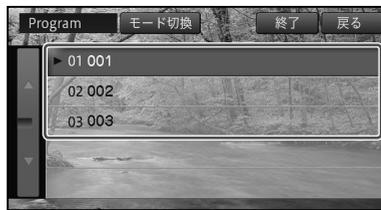
→ワイプ	チャプターをアップします。
←ワイプ	チャプターをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

- ・**ビュー**にタッチすると操作タッチキーは消えます。
- ・すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P125)
- ・DVD-VRの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースからDVD-VRに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P192)
- ・再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P220)を参照してください。

リストからタイトルを選んで再生する

リストから見たいタイトルを選んで再生することができます。

1 リスト表示にタッチする (→P158)**2 見たいタイトルにタッチする**

選んだタイトルが再生されます。

メモ

- ・**モード切換**にタッチすることにより、リスト表示をProgram再生(ディスクに記録された順番に再生)とPlayList再生(ユーザーが任意で指定して記録された順番に再生)に切り換えることができます。
- ・PlayListがない場合は、通常再生であるProgram再生のみとなり、**モード切換**は選択できません。
- ・モード切換を行うと、必ずそれぞれの先頭のタイトルから再生されます。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をCHAPTER REPEATに指定すると、再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

1 リピートにタッチする (→P158)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT
→ TITLE REPEAT → DISC REPEAT
に戻る

つづく→

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- ・選んだりリピート再生範囲は、画面に表示されませんが、通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ・ディスクまたは再生位置によっては、Ⓢ(禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- ・リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 にタッチする(→P158)

再生が一時停止し、 にタッチすることにより、映像が1コマずつ送られます。

メモ

- ・ にタッチすると通常再生に戻ります。
- ・ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ・ディスクや再生位置によって、Ⓢ(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。
- ・静止画コンテンツを再生された場合は、タッチすることに静止画が順に送られます。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 に2秒以上タッチする(→P158)

スロー再生されます。

スロー再生中に にタッチすることにより、スロー再生の速度が以下のように切り換わります。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

メモ

- ・ にタッチすると通常再生に戻ります。
- ・ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- ・戻り方向のスロー再生はできません。
- ・スロー再生速度を逆方向に切り換えることはできません。元に戻りたい場合(1/2から1/4など)は、 にタッチしてスロー再生を解除してから操作し直してください。

CMバック/スキップ

再生中の映像を、一定の秒数だけ早戻し/早送りします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 **CMバック** または **CMスキップ** にタッチする(→P158)

タッチすることにより、以下のような秒数で早戻し/早送りされます。

CMバック (早戻し)	「5秒」→「15秒」→「30秒」→「1分」→「2分」→「3分」→「0秒」→「5秒」に戻る
CMスキップ (早送り)	「30秒」→「1分」→「1分30秒」→「2分」→「3分」→「5分」→「10分」→「0秒」→「30秒」に戻る

メモ

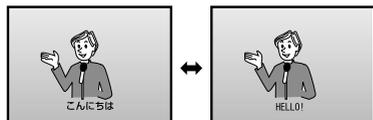
- ディスクや再生位置によって、(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

**1 字幕切換にタッチする
(→P158)**

タッチすることにより、字幕言語が切り換わります。

**メモ**

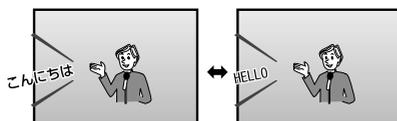
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語の切り換え

音声複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

**1 音声切換にタッチする
(→P158)**

タッチすることにより、音声言語が切り換わります。

**メモ**

- DTS音声は再生できません。
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声多重の切り換え

ディスクに2カ国語放送が収録されているときは、主音声と副音声を切り換えることができます。

**1 音声多重にタッチする
(→P158)**

タッチすることにより、以下のように切り換わります。

MAIN+SUB → MAIN → SUB → MIX
→ MAIN+SUBに戻る

MAIN+SUB	左側スピーカーから主音声、右側スピーカーから副音声を出力します。
MAIN	左右のスピーカーから主音声のみを出力します。
SUB	左右のスピーカーから副音声のみを出力します。
MIX	左右のスピーカーから主音声と副音声を一緒に出力します。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

**1 10キーサーチにタッチする
(→P158)****2 指定する方法(サーチの種類)に
タッチする**

つづく→

TITLE、**CHAPTER**、**TIME**が選べます。



数字キー

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒にタッチすると分と秒を 確定します。

3 見たい場面の番号を入力し、**決定**にタッチする

指定した場面から再生を始めます。

ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

メモ

- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。

1 **ワイドモード**にタッチする (→P158)

2 お好みの表示方法を選んでタッチする



メモ

- CINEMA、ZOOM で映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類

FULL (フル)

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



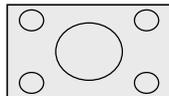
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



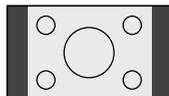
ZOOM (ズーム)

4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



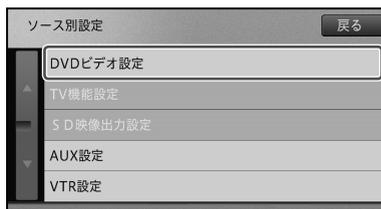
DVDの機能設定

DVD-V (Video mode) とDVD-VR (VR mode) の再生条件を、あらかじめ使用する環境に合わせて設定することができます。

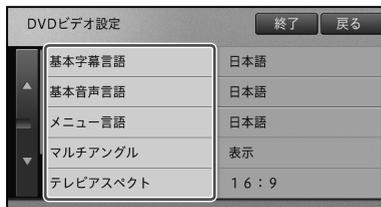
1 [メニュー] を押し、設定・編集—ソース別設定にタッチする



2 DVDビデオ設定にタッチする



3 各項目にタッチして設定する



各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

本書の表記について

[DVD-V] **[DVD-VR]** : Video modeとVR mode共に設定できる項目です。

[DVD-V] **[DVD-VR]** : Video modeのみ設定できる項目です。

基本字幕言語 **[DVD-V]** **[DVD-VR]**

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます(マルチ言語字幕)。

1 基本字幕言語にタッチする

2 それぞれの言語を設定する



日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、その他から選んでタッチします。

工場出荷時は「日本語」です。

メモ

- ・**その他**にタッチしたときは、「言語コード表」(→P166)より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- ・選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ・ディスクによっては設定した言語が優先されない場合があります。

基本音声言語 **[DVD-V]** **[DVD-VR]**

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます(マルチ音声)。

設定項目は基本字幕言語と同じです。

メニュー言語 DVD-V DVD-VR

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。設定項目は基本字幕言語と同じです。

マルチアングル

DVD-V DVD-VR

マルチアングルの場면을再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定することができます。工場出荷時は「表示」です。

1 マルチアングルにタッチする

2 表示または非表示にタッチする



表示	アングルマークを表示します。
非表示	アングルマークを表示しません。

メモ

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクに対して有効です。

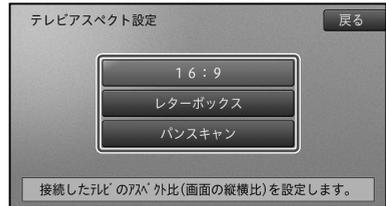
テレビアスペクト

DVD-V DVD-VR

接続したテレビのアスペクト（画面の縦横比）を設定します。工場出荷時は「16:9」です。

1 テレビアスペクトにタッチする

2 アスペクトを設定する



16:9	ワイドモニター（16:9）使用時に選びます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16:9で収録された画像の横幅を4:3モニターの横幅に合わせて16:9の比率で表示します。
パンスキャン	ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦幅を4:3モニターの縦幅に合わせて16:9の比率で表示します（左右にはみ出た映像は表示されません）。

メモ

- 通常は16:9に設定してお使いください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、**パンスキャン**に設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで**16:9 PS**マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

視聴制限 DVD-V DVD-VR

視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます(パレンタルロック)。

- 1 **視聴制限** にタッチする
- 2 **4桁の暗証番号を入力し、入力終了** にタッチする



メモ

- はじめて操作する場合は、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。

3 制限レベルを設定する



設定レベル	内容
8	ディスクをすべて再生します。
7～2	成人向けディスクの再生を禁止します(子供向けや一般向けディスクを再生します)。
1	子供向けのディスクのみ再生します。

暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で**削除**に10回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。

オートプレイ DVD-V DVD-VR

DVDを挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかどうかを設定します。
工場出荷時は「OFF」です。

- 1 **オートプレイ** にタッチする
- 2 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	自動再生します。
OFF	自動再生しません。

メモ

- オートプレイの設定をONにしても、ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。

言語コード表

言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブハジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712

言語名 (言語コード)	入カコード
グアラニ語 (gn)	0714
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カンナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612

言語名 (言語コード)	入カコード
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
セルボクroatia語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
シヨナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スندا語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トゥィ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

SDカード/USBメモリーを使う

SD / USBの操作のしかた	168
音楽ファイルを再生する	168
映像ファイルを再生する (SDのみ)	169
音楽ファイルと映像ファイルを 切り換える (SDのみ)	170
聴きたい曲や見たい映像を探す	170
リピート再生	170
ランダム再生	170
ダイレクトサーチ (SDのみ)	171
SD映像ファイルの機能を設定する	171

SD / USBの操作のしかた

本機に接続したSDカード／USBメモリー内の音楽ファイル(WMA/MP3/AAC/WAV) やSDカード内の映像ファイル(MPEG4/H.264/WMV) の操作について説明します。

! 注意

- SDカードの出し入れは、決められた手順で行ってください。→「スタートブック」－「SDカードの出し入れ」
異なる手順で出し入れを行うと、SDカードに保存したデータが破損する場合があります。

メモ

- 本機は、以下のメディアに対応しています。
 - SDカード：最大容量 32GB、ファイルシステムFAT 32/16、SDHC対応
 - USBメモリー：最大容量 16GB、ファイルシステムFAT 32/16
- 本機にUSBメモリーを接続する場合は、別売のUSB/AUX接続ケーブルが必要です。
- SDカード内の映像ファイルの操作に関しては「映像ファイルを再生する」(→P169)をご覧ください。
- 地図データ(差分情報のみ)更新時(→P218)に、AVソースでSD/USBを選択している場合は、自動的にOFFとなります。地図データ(差分情報のみ)更新完了後、再度AVソースをSDまたはUSBにして再生を再開させてください。
- 再生可能なファイルに関しては「本機で再生可能なメディアとファイルの種類」(→P127)をご覧ください。

音楽ファイルを再生する

1 AVソースをSDまたはUSBにする(→P125)

▼
前回再生していたファイルから再生されます。



リスト表示 ファイルリストを表示します。(→P170)

ビデオ 映像ファイルの再生に切り換わり(SDのみ) ます。(→P170)

▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生します。(→P170)
ランダム	ランダム再生します。(→P170)

メモ

- 再生中のMP3/WMA/AACファイルにタグ情報が存在する場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- タグ情報を取得できなかった場合やWAVファイルの場合は以下のように表示されます。
 - アルバムタイトル：フォルダー名
 - ファイルタイトル：ファイル名
 - アーティスト名：No Name
- WMAのときにタグのAuthor情報があつた場合、アーティスト名として表示します。
- フォルダーNo.は、階層の深いフォルダーを優先にファイルシステムから見つかった順に割り振られます。
- ファイルNo.は、同一フォルダー内でファイルシステムから見つかった順に割り振られます。また、再生順は接続したメディア内のファイル構成に依存します。
- DRM(デジタル著作権管理)が設定されたファイルは再生できません。

映像ファイルを再生する (SDのみ)

1 AVソースをSDにする (→P125)

前回再生していたファイルから再生されます。

画面にタッチすると、操作タッチキーが表示されます。



リスト表示	ファイルリストを表示します。(→P170)
ミュージック	音楽ファイルの再生に切り換わります。(→P170)
▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。
リピート	リピート再生します。(→P170)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→P170)

! 注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができません。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

メモ

- 「ビュー」にタッチすると、操作タッチキーは消えます。
- 本機で再生するSDカード内の映像ファイルの解像度は、WQVGA (400×240ピクセル) 以下で、かつ4の倍数(例：320×160→可、320×150→不可)となります。また、ビットレートが高すぎるファイルなどは、本機で再生できない場合があります。ビットレートの上限値は以下の通りです。
 - MPEG4 : 2.5Mbps
 - H.264 : 1.5Mbps
 - WMV : 768kbps
- 再生時間の長い映像ファイルは、再生開始までに時間がかかる場合があります。特にAVI形式のファイルは時間がかかります(2時間ファイルで十数秒程度)。
- ナビゲーションの動作状況や映像ファイルの構造によって、再生開始までの時間が異なる場合があります。

本体のボタンで操作する場合：

◀▶ または ▶▶	ファイルのダウン/アップを押し
◀◀ または ▶▶	早戻し/早送り を長く押し

ワイブで操作する場合：

SD/USBのファイル再生中には、以下のワイブ操作が行えます。ワイブの操作方法については、「ワイブ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイブ	ファイルをアップします。
←ワイブ	ファイルをダウンします。
↑ワイブ	ミュートを解除します。
↓ワイブ	ミュート(消音)にします。

音楽ファイルと映像ファイルを切り換える (SDのみ)

1 現在の再生状況に応じて、ビデオまたはミュージックにタッチする(→P168, 169)

音楽ファイル再生中は映像ファイルに切り換わります。

映像ファイル再生中は音楽ファイルに切り換わります。

聴きたい曲や見たい映像を探す

1 リスト表示にタッチする(→P168, 169)

メモ

- **リスト表示**に長くタッチすると、ルートフォルダー内のリストを表示します。

2 聴きたい曲や見たい映像にタッチする



メモ

- 映像ファイルのリスト画面では、**戻る**にタッチすると操作タッチキー画面に戻ります。**終了**にタッチすると映像画面に戻ります。
- **戻る**にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- フォルダー名にタッチした場合は、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- リストに表示されるフォルダー数は最大300、ファイル数は最大5000です。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 リピートにタッチする(→P168, 169)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

OFF → FILE REPEAT → FOLDER REPEAT → OFFに戻る

FILE REPEAT	再生中のファイル(曲)を繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(FILE REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面に表示されませんが、通常再生であるOFFは、画面に表示されません。

ランダム再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 ランダムにタッチする(→P168)

タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

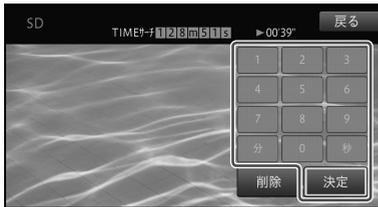
メモ

- リピート再生の範囲がFILE REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はFOLDER REPEATに自動的に切り換わります。

ダイレクトサーチ (SDのみ)

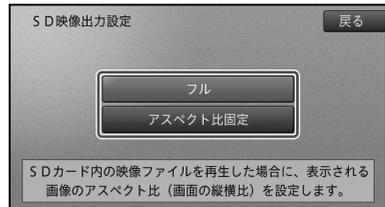
映像ファイル再生中は、見たい場面を数字で指定して再生することができます。

- 1 **10キーサーチ** にタッチする
(→P169)
- 2 **見たい場面の時間(分・秒)** を入力し、**決定** にタッチする



指定した場面から再生を始めます。

- 3 **フル** または **アスペクト比固定** にタッチする



フル	アスペクト比を変え、上下左右を引き伸ばして、画面いっぱいに表示します。
アスペクト比固定	アスペクト比はそのままで、長辺を画面に合わせて表示します。

SD映像ファイルの機能を設定する

SDカードの映像ファイルの画面サイズを設定します。

- 1 **メニュー** を押し、**設定・編集** → **ソース別設定** にタッチする
- 2 **SD映像出力設定** にタッチする



iPodの操作のしかた	174
再生する	174
iPodミュージック	174
iPodビデオ	175
共通操作	175
iPodミュージックとiPodビデオを切り換える ...	176
聴きたい曲や見たい映像を探す	176
リピート再生	176
シャッフル再生	176
ワイドモードを設定する	177
ワイドモードの種類	177

iPodの操作のしかた

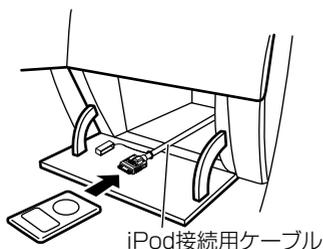
本機に接続した iPod の操作のしかたを説明します。

メモ

- 本書では便宜上、iPod、iPhoneを iPod と表記しています。
- 本機に iPod を接続するときは、別売の iPod 接続用ケーブルが必要です。
- iPod 利用中に iPod が停止状態となることがあります。(映像再生中に iPod を一度外して再度着けた場合など)
- 絞り込み操作中、リストに表示される内容と再生される曲は異なることがあります。
- 絞り込み操作中、動作が不安定となることがあります。
- ご使用前に、お持ちの iPod ソフトを最新バージョンにしてください。
- 対応 iPod および制限事項については、販売店へご確認ください。

再生する

1 グローブボックスなどから iPod 接続用ケーブルを引き出し、iPod を接続する



AVソースが自動的に iPod に切り換わります。

メモ

- iPod がすでに接続されていて、別の AV ソース選択中の場合は、AV ソースを iPod に切り換えてください。(→P125)
- iPod 接続用ケーブルの位置は、車によって異なります。詳しくは販売店にご確認ください。

iPod ミュージック

基本操作画面 1 (ジャケット表示)

トラック
トラックNo. タイトル ジャケット画像



再生中トラックの経過時間 アルバム アーティスト名
タイトル

リスト表示	iPod ミュージックのリスト画面を表示します。長くタッチすると、トップリスト画面(一番上の階層)を表示します。(→P176)
ビデオ	iPod ビデオのトップリスト画面を表示します。(→P176)
▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
🔄	リピート再生を行います。(→P176)
🎲	シャッフル再生を行います。(→P176)
📄	リスト表示(→P175)に切り換わります。

基本操作画面 2 (リスト表示)

現在再生中の曲を含むアルバムの内容をリスト表示します。同一アルバム内での選曲が可能です。別のアルバムから選曲したいときは、「聴きたい曲や見たい映像を探す」(→P176)をご覧ください。



リスト項目

リスト項目	選んだ曲を再生します。
ビュー	ジャケット表示 (→P174) に切り換わります。

iPodビデオ

基本操作画面

画面にタッチすると、基本操作画面が表示されます。



リスト項目	選んだ映像を再生します。
リスト表示	iPodビデオのリスト画面を表示します。長くタッチすると、トップリスト画面(一番上の階層)を表示します。(→P176)
ミュージック	iPodミュージックのトップリスト画面を表示します。(→P176)
▶/ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
🔄	リピート再生を行います。(→P176)

🔄	シャッフル再生を行います。(→P176)
ワイドモード	表示画面を設定します。(→P177)
ビュー	映像画面に切り換わります。

！ 注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

共通操作

本体のボタンで操作する場合：

◀ または ▶ を押す	チャプターまたはトラックのダウン/アップ
◀ または ▶ を長く押す	早戻し/早送り

ワイブで操作する場合：

iPodの再生中には、以下のワイブ操作が行えます。ワイブの操作方法については、「ワイブ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイブ	チャプターまたはトラックをアップします。
←ワイブ	チャプターまたはトラックをダウンします。
↑ワイブ	ミュートを解除します。
↓ワイブ	ミュート(消音)にします。

iPodミュージックと iPodビデオを切り換える

1 現在の再生状況に応じて、**ビデオ**または**ミュージック**にタッチする(→P174, 175)

iPodミュージック再生中はiPodビデオのリスト画面に切り換わります。

iPodビデオ再生中はiPodミュージックのリスト画面に切り換わります。

聴きたい曲や見たい映像を探す

1 **リスト表示**にタッチする(→P174, 175)

メモ

- **リスト表示**に長くタッチすると、iPodミュージックまたはiPodビデオのトップリストを表示します。

2 曲または映像を絞り込む



メモ

- それぞれのカテゴリで絞り込むことができます。
- **ポッドキャスト**と**オーディオブック**は、対応したiPodを接続した場合に、操作することができます。

3 聴きたい曲または見たい映像にタッチする



メモ

- iPodビデオのリスト画面では、**戻る**にタッチすると操作タッチキー画面に戻ります。**終了**にタッチすると映像画面に戻ります。
- **戻る**にタッチすると上位階層のリストを表示します。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 **リピート**にタッチする(→P174, 175)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

REPEAT ONE ↔ REPEAT ALL

シャッフル再生

再生順を変えて再生することができます。

1 **シャッフル**にタッチする(→P174)

タッチすることにより、シャッフルの範囲が以下のように切り換わります。

OFF → SHUFFLE SONGS →
SHUFFLE ALBUMS → OFFに戻る

ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

メモ

- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。

1 ワイドモードにタッチする (→P175)

2 お好みの表示方法を選んでタッチする



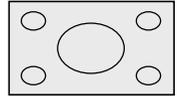
メモ

- CINEMA、ZOOM で映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類

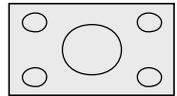
FULL (フル)

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



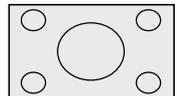
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



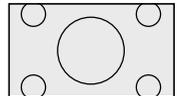
CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



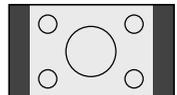
ZOOM (ズーム)

4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



Bluetooth Audioを使う

Bluetooth Audioの操作のしかた	180
Bluetooth Audio機器の登録	180
再生する	180
聴きたい曲を探す	182
リピート再生	182
ランダム再生	182
Bluetooth Audio機器の接続について	183
一時的に接続が切断された場合	183
Bluetooth Audio機器が 自動的に接続されない場合	183

Bluetooth Audioの操作のしかた

AVプロファイルに対応したBluetooth機器と本機をワイヤレス接続することで、Bluetooth Audio機器内の音楽データを本機で再生することができます。AVプロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

接続プロファイル	音声伝送	選曲操作	特殊再生操作	情報表示
A2DP Ver1.0	○	×	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.0	○	△	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.3	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver1.4	○	△	△	△

○：できます。 △：Bluetooth Audio機器により異なります。 ×：できません。

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。

AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)とは、楽曲の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。

Bluetooth Audio機器の登録

Bluetooth Audio機器をお使いになるには、あらかじめ本機にBluetooth Audio機器を登録する必要があります。→「Bluetoothの設定を行う」(P92)

登録が行われ、使用用途として「ハンズフリー／Bluetooth Audio」または「Bluetooth Audio」が設定されたBluetooth Audio機器は、AVソースがBluetooth Audioに切り換えられた時点で自動的に本機と接続され再生が始まります。接続された機器によっては、再生が始まる場合と始まらない場合があります。

メモ

- 本機に登録されていないBluetooth Audio機器は、接続することができません。
- 優先接続するBluetooth Audio機器を変更したい場合は、Bluetooth設定で行ってください。→「Bluetooth機器を切り換える／削除する」(P94)
- Bluetooth Audio機器が別のプロファイルで接続中は、接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器の全てのプロファイルを切断してから接続してください。

再生する

1 ソースをBluetooth Audioに切り換える(→P125)

自動的にBluetooth Audio機器と接続を行い、再生が始まります。



リスト表示 リストを表示します。(→P182)

接続解除 本機とBluetooth Audio機器の接続を解除します。Bluetooth Audio機器と未接続の場合は、**機器接続**が表示されます。タッチすることでナビ側から接続を行います。(→P183)

▶ 再生します。一時停止中は、再生を再開します。

⏸ 一時停止します。

リピート リピート範囲を切り換えます。(→P182)

ランダム	ランダム再生をON/OFFします。 (→P182)
ビュース	プレイリスト画面に切り換わります。

プレイリスト画面

現在再生中の曲を含むプレイリストを表示します。同一プレイリスト内での選曲が可能です。別のプレイリストから選曲したいときは、「聴きたい曲を探す」(→P182)をご覧ください。



プレイリスト項目
選んだ曲を再生します。

本体のボタンで操作する場合：

◀ または ▶ を押す	トラックのダウン/アップ
◀◀ または ▶▶ を長く押す	早戻し/早送り

ワイプで操作する場合：

Bluetooth Audio再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	トラックをアップします。
←ワイプ	トラックをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

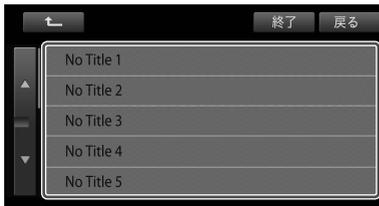
- 自動的に再生が始まらない場合は、▶ にタッチしてください。
 - お使いのBluetooth Audio機器によっては、▶ にタッチしても再生が開始されない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器側で再生を開始させてください。
 - Bluetooth Audio機器によっては、早戻し/早送り中に音が出る場合と出ない場合があります。
 - A2DP接続のみの場合は ▶ や ◻ などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、Bluetooth Audio機器側で操作してください。
 - Bluetooth Audio使用中に、ハンズフリー機能や通信機能、電話帳転送機能を使用すると、一時的にBluetooth Audioの機能は停止します。
 - A2DP+AVRCP接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。
 - A2DP+AVRCP Ver1.3またはA2DP+AVRCP Ver1.4で接続した場合は、トラックタイトルやアーティスト名などの情報が表示されません。(Bluetooth Audio機器によっては表示されない場合もあります)
- また、何らかの理由により再生が始まらない場合や接続が切断された場合は、一時的にこれらの情報が表示されなくなりますが、再生が始まると再表示されます。
- お使いになるBluetooth Audio機器によっては使用できない機能や制限事項があります。詳しくは、販売店にご確認ください。

聴きたい曲を探す

リストから聴きたい曲を選んで再生することができます。

1 リスト表示にタッチする (→P180)

2 聴きたい曲にタッチする



選んだファイルが再生されます。

メモ

- にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。Bluetooth Audio 機器によってはルートフォルダより下の階層をトップ階層にしている場合があるため、トップ階層では操作できない場合があります。
- フォルダー名にタッチした場合は、そのフォルダーの内容をリスト表示します。

リピート再生

指定した範囲内を繰り返し再生することができます。

1 リピートにタッチする (→P180)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

OFF → TRACK REPEAT →
GROUP REPEAT → ALL REPEAT
→ OFFに戻る

TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。
GROUP REPEAT	再生中のグループを繰り返します。
ALL REPEAT	最後のトラックの再生が終了すると、先頭のトラックから繰り返します。

メモ

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- 「OFF」は通常の再生状態です。AVソースプレーンやBluetooth Audioの画面には表示されません。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生範囲が変更される場合があります。

ランダム再生

選んだリピート再生の範囲で、曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする (→P181)

タッチすることにより、ランダム再生の範囲が以下のように切り換わります。

OFF → GROUP RANDOM →
ALL RANDOM → OFFに戻る

GROUP RANDOM	再生中のグループ内をランダムに再生します。
ALL RANDOM	すべての曲をランダムに再生します。

メモ

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- 「OFF」は通常の再生状態です。AVソースプレーンやBluetooth Audioの画面には表示されません。

Bluetooth Audio機器の接続について

一時的に接続が切断された場合

本機との接続が成功したBluetooth Audio機器は、以下のような理由により一時的にBluetooth接続が切断された場合、自動的に再接続を行います。

- AVソースを切り換えた場合
- ACCをOFF/ONした場合
- ハンズフリー通話を行った場合
- データ通信を行った場合
- 電話帳転送を行った場合
- 電波発射をOFF/ONした場合

メモ

- 以下の場合、自動接続の対象外となります。Bluetooth Audio機器側から再接続してください。(→P183)
 - Bluetooth Audio機器側の操作でBluetooth接続を切断した場合
 - Bluetooth Audio再生中にBluetooth Audio機器が本機から離れ、強制的にBluetooth接続が切断された場合
 - その他、何らかの理由により再接続が失敗した場合
- お使いになる携帯電話によっては、Bluetooth Audio使用中はデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったんBluetooth AudioをOFF(→P126)にし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了させてからデータ通信を行ってください。

Bluetooth Audio機器が自動的に接続されない場合

お使いになるBluetooth Audio機器によっては、Bluetooth Audio機器の登録が行われていても自動的に接続できないことがあります。その場合は、以下の手順で接続してください。

1 機器接続にタッチ、またはBluetooth Audio機器を操作して本機と接続する(→P180)

メモ

- 接続を開始してから1分以内に接続が完了しない場合、接続処理は中断されます。
- Bluetooth Audio機器側の接続操作は、Bluetooth Audio機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 自動接続中など何らかの処理を行っているときに**機器接続**にタッチしても、現在行っている処理が終わるまでは本機能が使用できない場合があります。



Bluetooth Audio機器との接続を開始します。

その他の機器を使う

AUXを使う	186
外部機器の入力設定をする	186
外部機器の音声を聞く	186
VTRを使う	187
映像入力の設定をする	187
ビデオを見る	187
ワイドモードを設定する	188
ワイドモードの種類	188

AUXを使う

本機にポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を接続すると、その音声を本機のAVソース(AUX)として聞くことができます。

メモ

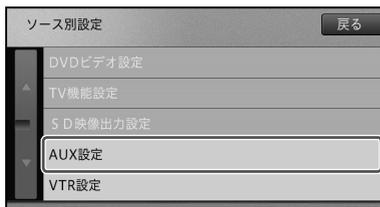
・本機にポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を接続するには、別売のUSB/AUX接続ケーブルが必要です。

外部機器の入力設定をする

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **ソース別設定** にタッチする



2 **AUX設定** にタッチする



3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	AUXに接続した機器の音声を聞くとき
OFF	何も接続されていないとき

外部機器の音声を聞く

1 AVソースをAUXにする (→P125)

外部機器の音声が出力されます。

ワイプで操作する場合：

外部機器音声再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

・AUXを使用しているときに、音量を調整すると、AUX用の音量として設定することができます。他のAVソースに切り換えて音量を調整しても、次回AUXを使用したときは、前回設定した音量で聞くことができます。

VTRを使う

本機にポータブルビデオなどの外部映像機器を接続すると、その映像を本機のAVソース(VTR)として見ることができます。

メモ

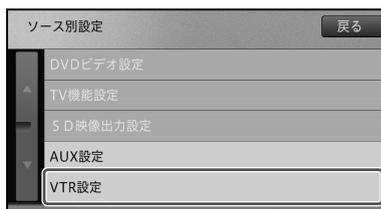
- 本機に外部映像機器を接続するには、別売のVTR接続ケーブルが必要です。

映像入力の設定をする

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **ソース別設定** にタッチする



2 **VTR設定** にタッチする



3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	VTR機器を接続したとき
OFF	何も接続されていないとき

ビデオを見る

! 注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため走行中は、モニターに映像が表示されません。

1 AVソースをVTRにする (→P125)

ビデオなどの映像が表示されます。画面にタッチすると、基本操作画面が表示されます。



ワイドモード 表示画面を設定します。(→P188)

メモ

- **ビュー** にタッチすると、操作タッチキーは消えます。
- 接続する機器により、別売の各種変換コードが必要になります。
- ビデオ機器からの入力信号が大きい場合、音が歪む場合があります。この場合、接続した機器側で音量を調整してください。
- 接続した機器により、映像が正常に表示されない場合があります。

ワイプで操作する場合：

VTR再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

メモ

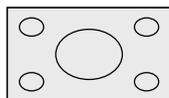
- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。

1 ワイドモードにタッチする (→P187)**2 お好みの表示方法を選んでタッチする****メモ**

- CINEMA、ZOOM で映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると(FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類**FULL (フル)**

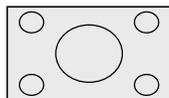
4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。

**JUST (ジャスト)**

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。

**CINEMA (シネマ)**

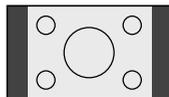
フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。

**ZOOM (ズーム)**

4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。

**NORMAL (ノーマル)**

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



オーディオの設定

オーディオの設定をする	190
フェーダー / バランス設定	190
ラウドネス設定	190
イコライザー設定	191
イコライザーを補正する	192
ソースレベルアジャスター設定	192

オーディオの設定をする

お好みに合わせてオーディオの音や機能などを設定することができます。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** にタッチする

2 **オーディオ設定** にタッチする



オーディオ設定メニュー画面が表示されます。



フェーダー/バランス設定

前後左右の音量バランスを設定することができます。(→P190)

ラウドネス設定

小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。(→P190)

イコライザー設定

あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みで調節した設定(CUSTOM)からイコライザーカーブを選ぶことができます。(→P191)

ソースレベルアジャスター設定

AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。(→P192)

メモ

- ・走行中は操作できない設定項目があります。
- ・オーディオ設定メニュー画面を操作中に、音声案内、ハンズフリー通話などがあった場合は、オーディオ設定の各種設定はできません。ただし、消音タイミング(→P99)がOFFに設定されている場合は、設定を行うことができます。
- ・AVソースOFF時やMUTE中は、設定できません。
- ・交通情報受信中は、ソースレベルアジャスターのみ設定できます。

フェーダー/バランス設定

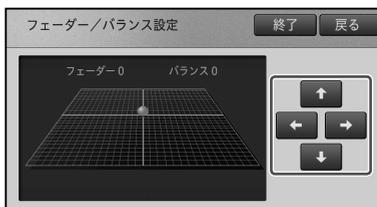
工場出荷時は以下のとおりです。

フェーダー：「0」

バランス：「0」

1 **フェーダー/バランス設定** にタッチする(→P190)

2 **↑、↓、←、→** にタッチして前後左右のバランスを調節する



カーソルの位置で前後左右の音のバランスを確認できます。

ラウドネス設定

工場出荷時は以下のとおりです。

設定：「OFF」

効果：「MID」

1 ラウドネス設定にタッチする (→P190)

2 ON にタッチする



LOUDNESSを働かせない場合は、**OFF** を選びます。

3 ◀または▶でLOW/MID/HIGHから設定する



イコライザー設定

工場出荷時は「FLAT」です。

1 イコライザー設定にタッチする(→P190)

2 お好みの設定にタッチする



タッチすることによりイコライザーカーブが切り換わります。

詳細設定	
	選んだファクトリーカーブを補正します。
SUPER BASS	低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
POWERFUL	低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
NATURAL	自然なバランスで、聞き疲れしない心地良い音を再生します。
VOCAL	中高音域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。
FLAT	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときにご使用ください。
CUSTOM1 、 CUSTOM2	CUSTOMメモリーに登録した調整値を呼び出します。

メモ

- **CUSTOM1** はAVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - FM, AM
 - CD, ROM, DVD-V, DVD-VR
 - SD, USB
 - VTR, AUX

イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、各周波数でさらに細かくレベルを補正することができます。補正した値は、CUSTOM1に登録されます。

メモ

- **CUSTOM2** を選んで行った補正値は、CUSTOM2に登録されます。
- すでにイコライザー設定(→P191)で、CUSTOM1に補正値を登録済みの場合、ここで補正した値が上書されます。

1 ファクトリーカーブを選ぶ(→P191)

2 詳細設定にタッチする

3 補正する周波数を選び、▲または▼にタッチしてレベルを補正する



100Hz、315Hz、1.25kHz、3.15kHz、8kHzから周波数を選べます。

−12dB ~ +12dBの間で2dBごとに調整できます。

ソースレベルアジャスター設定

工場出荷時は「±0dB」です。

メモ

- FMの音量を基準に他のAVソースとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- AVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - CD、ROM
 - AM、交通情報
 - DVD-V、DVD-VR
 - SD、USB
 - VTR、AUX

1 ソースレベルアジャスター設定にタッチする(→P190)

2 + または - にタッチする



−8dB ~ +8dBの範囲で2dBごとに調節できます。

カメラ機能を使う

カメラを使う	194
後退中にカメラの映像を表示する	194
バックカメラ映像のガイド線の 表示 / 非表示を設定する	194
バックカメラ映像のガイド線を調整する	195
バックカメラとサイドカメラの 映像を切り換える	195
バックカメラの映像を解除する	196
前進、停車中にカメラの映像を表示する	196
フロントカメラ / サイドカメラと バックカメラの映像を切り換える	196
フロントカメラ / サイドカメラの 映像を解除する	196

カメラを使う

別売のバックカメラ／フロントカメラ／サイドカメラを接続すると、車の後方／前方両側／左前方の映像を本機のモニター画面で確認することができます。

また、複数のカメラを組み合わせてお使いになる場合は、カメラの映像を切り換えて使用することができます。

カメラをお使いになる場合は、あらかじめカメラの入力設定を行ってください。

→「カメラの入力設定をする」(P111)

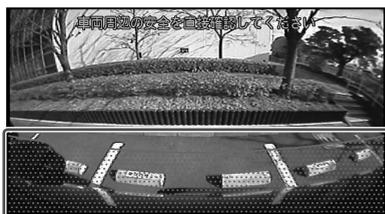
後退中にカメラの映像を表示する

！ 注意

- バックカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

1 シフトレバーをR(リバース)の位置にする

バックカメラの映像が表示されます。



擬似バンパーライン

メモ

- バックカメラの映像を表示している間は、車両周辺確認のメッセージが表示されます。
- バックカメラの映像を表示中に「メニュー」を長く押し、画質調整画面(→P215)が表示され、画質を調整することができます。
- 擬似バンパーライン表示(→P112)をONに設定している場合は、バックカメラの映像表示中に擬似バンパーラインが表示されます。

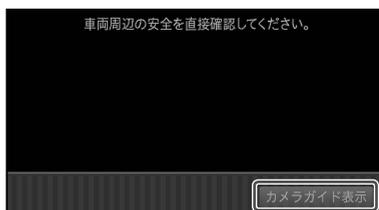
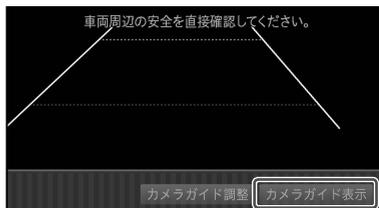
バックカメラ映像のガイド線の表示／非表示を設定する

1 バックカメラの映像表示中に画面にタッチする

カメラガイド表示とカメラガイド調整が表示されます。

2 カメラガイド表示にタッチする

タッチすることによってバックカメラのガイド線とカメラガイド調整の表示／非表示が切り換わります。



メモ

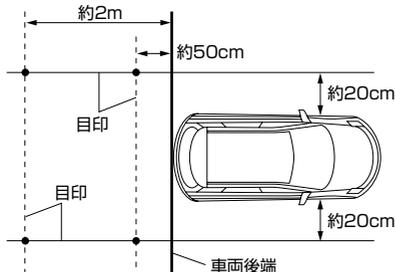
- 工場出荷時は、バックカメラの映像を表示するとガイド線が表示されます。
- カメラガイド表示とカメラガイド調整は、何も操作しないと約4秒で消えます。画面にタッチすると再表示します。

バックカメラ映像のガイド線を調整する

！ 注意

- ガイド線調整をする際には、車を安全な場所に停車して行ってください。
- 車を降りて目印を付ける際には、必ず車のキースイッチをOFFにしてエンジンを停止してください。

1 車両の幅+両側約20cm、車両後端から後ろ側へ+約50cmと+約2mの位置にガムテープなどで目印をつける

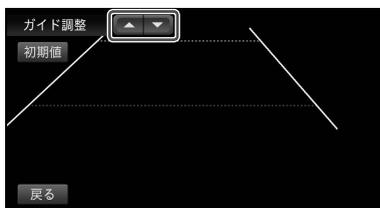


2 パーキングブレーキを引いてカメラガイド調整にタッチする

メモ

- あらかじめガイド線を表示しておいてください。(→P194)

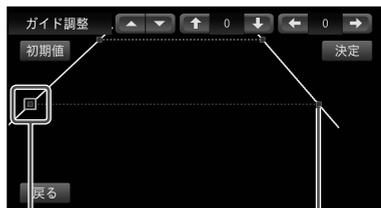
3 ▲または▼にタッチする



初期値	工場出荷時の状態に戻します。
戻る	ガイド調整を終了します。

調整ポイント選択画面が表示されます。

4 カーソル位置を選択してポイントを調整する



カーソル位置

ポイント

初期値	ポイントを調整前(前回保存した状態)の位置へ戻します。
決定	設定を保存して、手順3の画面に戻ります。
戻る	設定を破棄して、手順3の画面に戻ります。
▲/▼	現在のカーソル位置の調整結果を保存し、赤(L)↔赤(R)↔緑(L)↔緑(R)の順にカーソル位置を変更します。
↑/↓/←/→	選んだカーソル位置のポイントを上下左右に動かします。

！ 注意

- バックカメラが映し出す範囲には限界があります。またバックカメラの画面上に表示される車幅・距離ガイド線は、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。(ガイド線は直線となります。)
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。

バックカメラとサイドカメラの映像を切り換える

1 バックカメラ映像表示中に(C) (カスタムボタン)を押す

つづく→

▼
C (カスタムボタン) を押すごとにカメラの映像が交互 (バックカメラ⇄サイドカメラ) に切り換わります。

 **メモ**

- バックカメラとフロントカメラの映像を切り換えることはできません。

バックカメラの映像を解除する

1 シフトレバーをR (リバース) 以外の位置にする

▼
 バックカメラの映像が解除されます。

 **メモ**

- サイドカメラの映像に切り換えている場合は、あらかじめ**C**(カスタムボタン)を押してバックカメラの映像に戻してから操作してください。サイドカメラの映像表示中に本操作を行った場合、**C**(カスタムボタン)を押してもサイドカメラの映像を解除することはできません。サイドカメラの解除方法は「フロントカメラ／サイドカメラの映像を解除する」(→P196)をご覧ください。

前進、停車中にカメラの映像を表示する

! **注意**

- フロントカメラ／サイドカメラの映像だけを見ながらの運転は、絶対に行わないでください。前進、右左折するときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。

1 C (カスタムボタン) を押す

▼
 フロントカメラまたはサイドカメラの映像が表示されます。

フロントカメラとサイドカメラの両方を接続している場合は、はじめにフロントカメラの映像が表示され、**C** (カスタムボタン) を押すごとにカメラの映像が交互 (フロントカメラ⇄サイドカメラ) に切り換わります。

 **メモ**

- フロントカメラ／サイドカメラの映像を表示している間は、車両周辺確認のメッセージが表示されます。
- フロントカメラ／サイドカメラの映像を表示中に**メニュー**を長く押しと、画質調整画面 (→P215) が表示され、映像を調整することができます。

フロントカメラ／サイドカメラとバックカメラの映像を切り換える

1 フロントカメラ／サイドカメラ映像表示中にシフトレバーをR (リバース) の位置にする

▼
 バックカメラの映像が表示されます。シフトレバーをR (リバース) 以外の位置にすると、フロントカメラ／サイドカメラの映像に切り換わります。

フロントカメラ／サイドカメラの映像を解除する

1 **メニュー** / **現在地** / **AV** /  **を押す**

▼
 フロントカメラ／サイドカメラの映像が解除されます。

 **メモ**

- バックカメラの映像に切り換えている場合は、あらかじめシフトレバーをR (リバース) 以外の位置にして、フロントカメラ／サイドカメラの映像に戻してから操作してください。バックカメラの映像表示中に本操作を行っても動作しません。

携帯電話を使う

携帯電話を使う	198
ハンズフリー通話をする	198
ハンズフリー通話をするには	198
ハンズフリー通話でエコー (残響音)が気になるときは	198
電話の受けかた	198
電話のかけかた	199
電話番号を入力して電話をかける	200
メモリダイヤルを呼び出して電話をかける ...	200
発着信履歴から電話をかける	200
リダイヤルで電話をかける	201
地図に登録された電話番号にかける	201
通話中メニューの操作	201
携帯電話情報を編集する	202
メモリダイヤルを読み込む	202
メモリダイヤルを消去する	203
履歴情報を消去する	204

携帯電話を使う

本機と携帯電話をBluetooth接続すると、本機の電話機能を使うことができます。

ハンズフリー通話をする

本機に携帯電話をBluetooth接続すると、ハンズフリー通話を行うことができます。

メモ

・通話相手の音声聞き取りやすいように、受話音量を調整してください。(→P98)

注意

・安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短かに終了するようにしてください。

ハンズフリー通話をするには

Bluetoothに対応した携帯電話が必要です。また、事前に携帯電話を本機に登録しておく必要があります。詳しくは「通信設定をする」(→P91)をご覧ください。

メモ

・携帯電話をお使いになるときは、必ず「通信機器使用上のご注意」(→P92)をよくお読みください。
・本機は、割込通話および三者通話サービスには対応していませんので、携帯電話側で操作してください。なお、割込通話や三者通話サービスのご利用中に本機を操作すると、通話が切れることがあります。

ハンズフリー通話でエコー(残響音)が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声が入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合もあります。

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- ・受話音量を小さくする(→「ナビゲーションの音量を設定する」(P98))
- ・お互いに一呼吸おいて話す
- ・ガイド音声出力を助手席側のスピーカーのみに設定する(→「ガイド/ハンズフリーSP設定をする」(P99))

ただし、ナビ本体内部のエコーキャンセラーのしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。

メモ

- ・通話中メニューで受話音量を調整することもできます。(→P201)
- ・携帯電話によっては、一部機能が制限される場合があります。詳しくは、販売店へお問い合わせください。

電話の受けかた

電話がかかってくると、以下のような電話の着信を案内するメッセージが表示され、着信案内の音が流れます。



☎️にタッチすると電話がつながり、通話することができます。

メモ

- 電話が着信すると“トゥルルルル”という音が一度鳴って、着信を知らせます。
- 一部の携帯電話では、着信音がスピーカーから出力されないことがあります。
- 登録地に登録されている電話番号と一致すると、その地点の名称が表示されます。
- メモリダイヤル(→P200)に登録されている電話番号と一致すると、メモリダイヤルで登録された名称が表示されます(登録地とメモリダイヤルの電話番号が同一の場合は、登録地の名称が表示されます)。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできます。
- 携帯電話側で応答保留にしても、にタッチすることで応答保留を解除できます。
- 電話の切りかたは、「通話中メニューの操作」(→P201)をご覧ください。

ワイプで操作する場合：

電話着信中は、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P12)をご覧ください。



→ワイプ	通話することができます。
←ワイプ	電話を切ります。

電話のかけかた

いろいろな方法で電話をかけることができます。

- 1** **メニュー** を押し、**携帯電話** にタッチする
- 2** **電話をかける方法** にタッチする



ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかけます。(→P200)
メモリダイヤル	本機に読み込まれた携帯電話のメモリダイヤルリストを呼び出して電話をかけます。(→P200)
発信履歴	本機と携帯電話を接続時に発信、着信(不在着信含む)した履歴を表示し、電話をかけることができます。(→P200)
リダイヤル	直前にかけた電話番号へリダイヤルします。(→P201)

メモ

- 携帯電話のメモリダイヤルを本機に読み込んでいない場合は、**メモリダイヤル**は選択できません。
- Bluetooth Audio再生中に電話をかけるまたはメモリダイヤルを読み込む場合は、Bluetooth Audioの再生中止確認画面が表示されますので、**はい**にタッチしてください。
- 発信中、通話中は、画面左上に電話機のマークまたは通話中メニュー(→P201)が表示されます。

電話番号を入力して電話をかける

1 **ダイヤル発信**にタッチする
(→P199)

2 電話番号を入力し、**発信**にタッチする



相手先に電話が発信されます。

メモ

- 携帯電話でダイヤルすることもできます。
(携帯電話によっては、ハンズフリーにならない場合があります。)

メモリダイヤルを呼び出して電話をかける

メモ

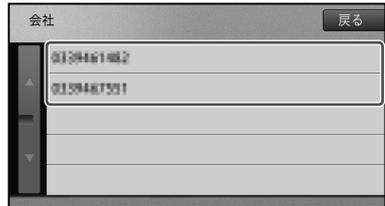
- メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換える(→P94)と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。

1 **メモリダイヤル**にタッチする
(→P199)

2 相手先を選んでタッチする



3 選んだ相手先に含まれる電話番号を選んでタッチする



4 **はい**にタッチする

相手先に電話が発信されます。

発信履歴から電話をかける

1 **発信履歴**にタッチする
(→P199)

2 表示したい履歴を選んでタッチする



選んだ履歴がリスト表示されます。

3 相手先を選んでタッチする

相手先に電話が発信されます。

リダイヤルで電話をかける

1 リダイヤルにタッチする (→P199)

発信確認のメッセージが表示されます。

2 はいにタッチする



相手先に電話が発信されます。

メモ

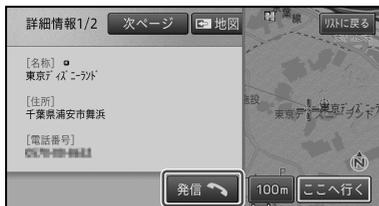
- カスタム設定 (→P112) で「リダイヤル」を割り当てている場合は、**C** (カスタムボタン) を押して操作することもできます。

地図に登録された電話番号にかける

検索した施設情報に収録されている電話番号や登録地に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 場所を探して(→P40)施設の 詳細情報(→P46)を表示させる

2 発信にタッチする



登録されている電話番号にダイヤルします。

通話中メニューの操作

通話中は、通話中メニューが自動的に表示され、受話音量の調整やハンズフリー機能のON/OFF、電話を切る操作を行うことができます。



戻る	通話中メニューを閉じます。
+	受話音量を上げます。
-	受話音量を下げます。
電話を切る	電話を切ります。
ハンズフリー ON (OFF)	ハンズフリー機能をON/OFFします。携帯電話機で通話したいときは、OFFにします。

メモ

- ハンズフリー機能をOFFにすると、本機と携帯電話とのワイヤレス接続が切断される場合があります。
- 戻る** にタッチして通話中メニューを閉じた場合、画面左上の にタッチすると通話中メニューを再表示することができます。
- 携帯電話で電話を切ることもできます。

携帯電話情報を編集する

メモリダイヤルの読み込みや消去、各履歴の消去を行うことができます。

1 **メニュー** を押し、**携帯電話** にタッチする

2 **編集・消去** にタッチする

編集・消去メニューが表示されます。



メモリダイヤル	メモリダイヤルの読み込みや消去を行います。(→P202, 203)
発信履歴消去	発信履歴を消去します。(→P204)
着信履歴消去	着信履歴を消去します。(→P204)
不在着信履歴消去	不在着信履歴を消去します。(→P204)

メモリダイヤルを読み込む

メモリダイヤル機能を使用するには、事前に携帯電話に登録されているメモリダイヤルを本機に読み込んでおいてください。携帯電話から最大1000件のデータを本機に読み込むことができます。

メモ

- Bluetooth Audio再生中に携帯電話からメモリダイヤルを読み込む場合は、Bluetooth Audioの再生中止確認画面が表示されますので、**はい** にタッチしてください。
- お使いの携帯電話によっては、メモリダイヤル転送に対応していない場合があります。
- 名前、電話番号のデータを読み込むことができます。

- メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換える(→P94)と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。
- 読み込んだデータは本機内蔵のメモリーに保存されます。
- 読み込んだメモリダイヤルを編集することはできません。
- メモリダイヤルの消去方法は、「メモリダイヤルを消去する」(→P203)を参照してください。
- 1人あたり複数の電話番号を登録できる携帯電話では、電話番号の登録状態や機種によって、全データを読み出せない場合があります。

1 **メモリダイヤル** にタッチする (→P202)

2 **読み込み** にタッチする



メモ

- すでに読み込んだデータがある場合は、**上書き読み込み** または **追加読み込み** を選んでください。

3 **携帯電話を操作して、メモリダイヤルを転送する**

メモリダイヤルが本機に読み込まれます。読み込みが完了するとメモリダイヤルリスト画面に戻り、読み込んだデータをメモリダイヤルとして使用することができます。

メモ

- メモリダイヤル読み込みを行う際は、接続されている携帯電話からメモリダイヤル転送の操作(携帯電話により異なりますが、全件転送、1件転送などがあります)が必要です。

- PBAP接続(→P92)に対応した携帯電話の場合、**読み込み**にタッチした時点で、携帯電話側の操作なしで本機にメモリダイヤルが読み込まれます。お使いの携帯電話によってはアクセス許可を認めるかの表示が携帯電話側に表示されます。またPBAP接続の場合には自動で上書き読み込みされます。追加読み込みはできません。
- メモリダイヤルの転送が終了すると、追加読み込みを行うかどうかのメッセージが表示されます。追加で読み込む場合は、**はい**にタッチしてください。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリー件数は、携帯電話によって異なります。
- お使いの携帯電話によっては携帯電話のシークレット機能により登録されたメモリダイヤルも読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号もメモリダイヤルと同時に読み込まれる場合があります。

メモリダイヤルを消去する

不要になったメモリダイヤルを消去することができます。

メモ

- 本機に記録されているメモリダイヤルが消去されます。接続した携帯電話側のメモリダイヤルおよび履歴情報は消去されません。
- 消去可能なメモリダイヤルは、現在本機に接続中の携帯電話から読み込んだもののみです。接続する携帯電話を切り換える(→P94)と、消去可能なメモリダイヤルの内容も切り換わります。
- メモリダイヤルの消去中は、メモリダイヤル機能(→P202)が使用できません。

1 **メモリダイヤル**にタッチする (→P202)

2 **消去**にタッチする



3 **消去したい電話番号**にタッチする



選んだ電話番号には、 (チェックマーク)が付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- **全選択**にタッチするとすべての電話番号が選択されます。**全解除**にタッチすると、選択されている電話番号すべてを解除します。

4 **消去**にタッチする

確認メッセージが表示されます。

5 **はい**にタッチする

選んだ電話番号が消去されます。

メモ

- メモリダイヤルの消去には、数分かかる場合があります。
- メモリダイヤルの消去中は、本機の電源をOFF(エンジンスイッチをOFF)にしないでください。選択したデータが消去されない場合があります。

履歴情報を消去する

発信履歴、着信履歴、不在着信履歴情報を消去することができます。

メモ

- 接続する携帯電話を切り換えると、その携帯電話を使用したときの発信履歴を消去することができます。
- 携帯電話の登録が削除された場合は、その携帯電話を使用したときの発信履歴も、自動的に削除されます。

1 消去したい履歴項目を選んでタッチする(→P202)



2 消去したい履歴情報にタッチする



選んだ履歴情報には、 (チェックマーク)が付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- **全選択**にタッチするとすべての履歴情報が選択されます。**全解除**にタッチすると、選択されている履歴情報すべてを解除します。

3 消去にタッチする

確認メッセージが表示されます。

4 はいにタッチする

選んだ履歴情報が消去されます。

その他の操作

エコマネージャーを使う	206
燃費設定をする	206
エコスコアについて	207
エコゲージについて	207
エコプライズについて	208
パーソナライズ機能を利用する	209
パーソナライズ画面を表示する	209
ユーザー設定をする	210
ユーザーアイコンを設定する	210
ユーザー名を設定する	210
音量を設定する	211
操作音を変更する	211
入力キーボードを設定する	211
地図の文字情報を拡大する	211
地図の表示方法を設定する	212
ロゴマークの表示を設定する	212
誘導アイコンを設定する	213
ユーザー切り換えメニューを使う	213
ユーザーを新規登録する	213
ユーザーを切り換える	214
ユーザーを削除する	214
画質を調整する	215
リアモニターを組み合わせる	216
リアモニターに表示される映像について	216
リアモニターの設置場所について	216
タッチパネルのタッチ位置を調整する	217
パソコンリンクソフトからSDカードに 保存したデータを本機で使用する	218
SDカードに保存したデータを本機へ転送する ...	218
地図データのバージョンアップを行う	218

エコマネージャーを使う

エコマネージャーは、エコゲージやエコスコア(エコ情報)の確認を行うメニューです。また、エコ運転の貢献度に応じて、いろいろな動物の画像を獲得(エコプライズ)することができます。

メモ

・エコゲージは「車速」「加速度」「勾配情報」から、エコスコアは「車速」「エコゲージ」から計算されます。センサー初期学習中の場合など、車速が算出されない状態ではエコゲージとエコスコアが正しく計算できない場合があります。→「ナビゲーションのしくみ」(P226)

- 1 **メニュー** を押し、**エコマネージャー** にタッチする
- 2 **項目を選んでタッチする**



エコスコア	現在地画面に戻り、エコスコアを表示します。(→P207)
エコゲージ	現在地画面に戻り、エコゲージを表示します。(→P207)
エコプライズ	エコプライズのサムネイル画面を表示します。(→P208)
燃費設定	一般道路、高速道路の燃費をそれぞれ設定します。(→P206)
エコ表示設定	タッチすることにより、現在地画面でのエコ表示をON/OFFします。

メモ

・「エコ表示設定」をOFFにすると、**エコスコア**および**エコ運転度**は操作できません。

燃費設定をする

一般道路、高速道路走行時の燃費を設定します。ここで設定した内容がエコルート表示(→P50)に反映されます。

- 1 **燃費設定** にタッチする
- 2 **一般道路燃費** または **高速道路燃費** にタッチする



- 3 **燃費を入力し、入力終了** にタッチする

例：一般道路燃費



メモ

・工場出荷時に目安の燃費が入っています。入力する燃費は、お客様が販売店等で確認なさった燃費を入力してください。また、実際の走行では道路状況、季節、運転のしかたなど各使用状況で燃費は異なることがありますので、選んだルートが必ずしもエコルートであるとは限りません。

エコスコアについて

車速とエコゲージから評価されたエコスコアを表示します。



エコスコア	リセットしてから次にリセットをするまでの運転を評価します。
エコゲージ	画面表示をエコゲージに切り換えます。
リセット	エコゲージとエコスコアをリセットします。
履歴	これまでにリセットした過去9件分と最新のエコスコア履歴を表示します。

！ 注意

- エコスコアを参考にして運転する場合は、ナビ画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。

メモ

- 急な坂道など走行環境によりエコスコアが低く評価される場合がありますので、ご了承ください。
- エコスコアの点数に応じてポイントが加算され、エコプライズの獲得レベルが決まります。詳しくは「エコプライズについて」(→P208)をご覧ください。
- 推定される燃費が理想の燃費に近いほどエコ運転と判断されます。
- エコスコアは100点満点で評価されます。
- リセットを行うと、最新のエコスコアが履歴に追加保存されます。すでに履歴が9件ある場合には、一番古い履歴は削除されます。履歴を確認するには「履歴」にタッチしてください。
- 以下の場合、エコスコアは表示されません。
 - ハイウェイモード表示中(→P28)
 - 交差点案内表示中(→P56)
 - レーン情報、方面看板表示中(→P55)
 - センサー初期学習中(→P81)

エコゲージについて

エコゲージ画面では、エコ運転をチェックすることができます。

エコな運転であるほど、メーターがHIGHに伸びます。



瞬間	瞬間のエコゲージを表示します。
平均	リセットしてから次にリセットをするまでの平均エコゲージを表示します。
エコスコア	画面表示をエコスコアに切り換えます。
リセット	エコゲージとエコスコアをリセットします。
履歴	これまでにリセットした過去9件分と最新のエコゲージ履歴を表示します。

！ 注意

- エコゲージのメーターを参考にして運転する場合は、ナビ画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。

メモ

- リセットを行うと、最新の平均エコゲージが履歴に追加保存されます。すでに履歴が9件ある場合には、一番古い履歴は削除されます。履歴を確認するには「履歴」にタッチしてください。
- 以下の場合、エコゲージは表示されません。
 - ハイウェイモード表示中(→P28)
 - 交差点案内表示中(→P56)
 - レーン情報、方面看板表示中(→P55)
 - センサー初期学習中(→P81)

エコプライズについて

前日までのエコスコアの累積結果をポイント換算し、ポイントに応じたレベルの画像を表示します。

エコプライズサムネイル画面



サムネイル画像	選んだサムネイル画像の詳細画面を表示します。(→P208)
◀◀ / ▶▶	エコプライズサムネイル画像を前ページ/次ページに送ります。

メモ

- エコスコアのポイントがレベルに達していない画像は **?** と表示され、タッチするとエコプライズの詳細説明メッセージが表示されます。
- エコプライズで獲得した画像によっては、パーソナライズの「ユーザーアイコン」、「操作音」、「誘導アイコン」で設定できます。パーソナライズについて詳しくは、「パーソナライズ機能を利用する」(→P209)をご覧ください。

エコプライズ詳細画面



戻る	エコプライズサムネイル画面に戻ります。
----	---------------------

パーソナライズ機能を利用する

パーソナライズ機能とは、本機を家族間など複数人でお使いになる場合に、使用者（オーナー、ユーザー）のお好みによって異なる設定値（地図表示や音量設定など）を別々に登録しておき、使用者を切り換えることで、オリジナルな設定で本機を使用することができる機能です。

使用者は最大4名（オーナー1名、ユーザー3名）まで登録できます。（オーナーはあらかじめ登録されています。）

現在の使用者として選択されたオーナーやユーザー（1～3）は、地図画面右下にユーザーアイコンとして表示されます。

メモ

- ・オーナーを削除することはできません。ただし、オーナー情報を設定・編集することはできません。
- ・ユーザー1～3を登録すると、本機の電源をON（エンジンスイッチをON）にした際、登録ユーザー選択画面が表示されるようになります。使用者がお1人だけの場合は、オーナー情報を設定・編集します。

パーソナライズ画面を表示する

パーソナライズ画面では、操作履歴の表示および選択、ユーザーの登録や設定・切り換えなどを行うことができます。

1 地図画面でユーザーアイコンにタッチする



パーソナライズ画面が表示されます。



★	選択中の操作履歴に★マークが表示され、お気に入りとして登録されます。お気に入りとして登録された操作履歴は、リストの上位に常に表示されます。再度★にタッチすると★マークが消灯し、お気に入り登録が解除されます。
リスト項目	過去30件分の操作履歴が表示されます。選択した操作を実行することができます。
設定— ユーザー設定	使用者ごとの設定ができます。（→P210）
設定— 履歴の消去	操作履歴の全消去ができます。
ユーザー切換	ユーザーの新規登録や切り換え、削除ができます。（→P213）

メモ

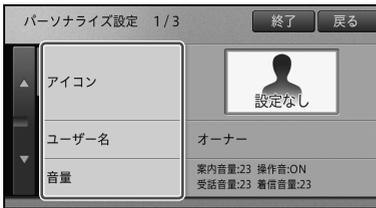
- ・お気に入りに登録されていない操作履歴は、30件を超えると古い順に上書きされています。
- ・お気に入り登録は、30件まで登録できます。
- ・履歴消去を行うと、お気に入りを除いた全ての操作履歴が消去されます。

ユーザー設定をする

使用者ごとに地図の表示方法の設定やナビゲーションの音量設定などが行えます。

1 設定 - ユーザー設定にタッチする(→P209)

▼
ユーザー設定画面が表示されます。



アイコン	ユーザーアイコンを設定します。(→P210)
ユーザー名	ユーザー名を設定します。(→P210)
音量	各音量を設定します。(→P211)
操作音変更	操作音を設定します。(→P211)
入力キーボード	文字入力時のキーボード設定をします。(→P211)
地図の文字拡大	地図の文字拡大のON/OFFを設定します。(→P211)
地図ビュー	地図の表示方法を設定します。(→P212)
ロゴマーク	地図表示するロゴマークを設定します。(→P212)
誘導アイコン	地図表示する誘導アイコンのパターンを設定します。(→P213)
リセット	設定を初期化して工場出荷時の状態に戻します。

2 設定が終了したら、**終了**にタッチする

ユーザーアイコンを設定する

ユーザーアイコンを20種類のアイコンから設定できます。
工場出荷時は「パターン1」です。

1 アイコンにタッチする(→P210)

2 お好みのアイコンにタッチする



メモ

- ・エコプライズで獲得したアイコン(最大12種類)を設定することもできます。エコプライズについて、詳しくは「エコプライズについて」(→P208)をご覧ください。

ユーザー名を設定する

お好みでユーザー名が設定できます。最大入力文字数は全角で7文字です。
工場出荷時は「オーナー」または「ユーザー(1~3)」です。

1 ユーザー名にタッチする(→P210)

2 ユーザー名を入力し、**入力終了**にタッチする



音量を設定する

ナビゲーションの案内音量や電話の着信音量と受話音量の調整、操作音のON/OFFを設定できます。

1 音量にタッチする(→P210)

2 それぞれの項目を設定する



メモ

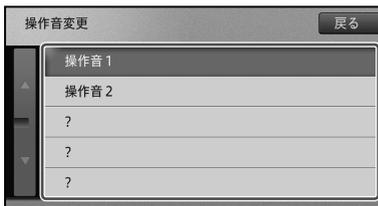
• 音量の設定操作は、「ナビゲーションの音量を設定する」(→P98)と同様です。

操作音を変更する

画面や本体のボタンをタッチしたときに鳴る操作音を設定できます。工場出荷時は「操作音1」です。

1 操作音変更 にタッチする(→P210)

2 お好みの操作音にタッチする



リスト項目にタッチすると音が鳴り、確認することができます。

3 戻る にタッチする

メモ

• エコプライズで獲得した操作音を設定することもできます。エコプライズについて、詳しくは「エコプライズについて」(→P208)をご覧ください。

入力キーボードを設定する

2種類の入力パレット(キーボード式入力とケータイ式入力)から選んで行うことができます。

工場出荷時は「50音入力」です。

1 入力キーボード にタッチする(→P210)

2 50音入力 または ケータイ入力 にタッチする



3 戻る にタッチする

地図の文字情報を拡大する

地図画面上に表示される地名や施設名の文字を拡大表示することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 地図の文字拡大 にタッチする(→P210)

つづく→

2 ON または OFF にタッチする



3 戻る にタッチする

地図の表示方法を設定する

地図の表示方法を設定できます。
工場出荷時は「ノーマルビュー」です。

1 地図ビュー にタッチする (→P210)

2 ノーマルビュー または スカイビュー にタッチする



3 戻る にタッチする

ロゴマークの表示を設定する

施設のロゴマークを地図上に表示させることができます。

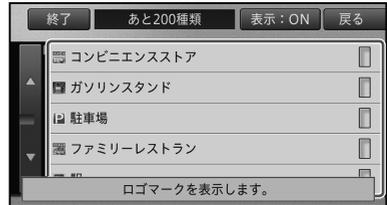
工場出荷時は以下のとおりです。

表示：「ON」

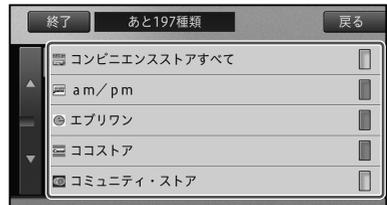
表示種類：「0種類」

1 ロゴマーク にタッチする (→P210)

2 ロゴマークを表示させたいジャンルにタッチする



3 ロゴマークを表示させたい施設にタッチする



選ばれた施設のインジケータが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

- 再度施設にタッチすると、インジケータが消灯し、選択が解除されます。
- 他の施設を選ぶには、**戻る** にタッチして手順 **2** の画面に戻り、手順 **2** ~ **3** を繰り返してください。
- 表示設定が **表示：OFF** の場合は、**表示：OFF** - **表示：ON** とタッチして、表示設定を変更してください。

4 終了 にタッチする

メモ

- ロゴマークの表示設定操作は、「ロゴマークの表示設定をする」(→P30)と同様です。

誘導アイコンを設定する

目的地や立寄地などの誘導アイコンを設定できます。

工場出荷時は「パターン1」です。

1 誘導アイコンにタッチする (→P210)

2 お好みのパターンにタッチする



メモ

- エコプライズで獲得したアイコン (最大3種類) を設定することもできます。エコプライズについて、詳しくは「エコプライズについて」(→P208)をご覧ください。

ユーザー切り換えメニューを使う

ユーザーを新規登録する

オーナー以外の使用者を、ユーザー1～3に登録することができます。

メモ

- すでにユーザー1～3が登録済みの場合、新規登録ができません。登録済みのユーザーを削除(→P214)してから操作してください。

1 ユーザー切換にタッチする (→P209)

2 新規登録にタッチする



ユーザー設定画面が表示されます。

3 ユーザー設定をする(→P210)

4 終了にタッチする

メモ

- 新規登録を行うと、登録完了後はそのまま現在の使用者として選択されます。

ユーザーを切り換える

登録されたユーザーごとの設定値や操作履歴を使うには、ユーザーを切り換えます。

1 ユーザー切換にタッチする (→P209)

2 切り換えたいユーザーにタッチする



▼
選んだユーザーに切り換わります。

ユーザーを削除する

オーナー以外の登録ユーザーを削除することができます。

1 ユーザー切換にタッチする (→P209)

2 ユーザー削除にタッチする



3 削除したいユーザーにタッチする



▼
確認メッセージが表示されます。

4 はいにタッチする

▼
ユーザーが削除されます。

メモ

- オーナーを削除することはできません。
- 現在選択中のユーザーを消去した場合、自動的にオーナーが選択状態になります。

画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」、「色温度」、「色の濃さ」、「色合い」を調整することができます。

メモ

- ・車のライトに連動して昼と夜の設定を自動的に切り換えます。
- ・「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」の設定は、昼と夜で別々に設定できます。
- ・「明るさ」と「色温度」以外の設定内容は、画面の種類ごとに別々に設定できます。
- ・「色温度」は、LEDバックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示している映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。
- ・バックカメラ、フロントカメラ、サイドカメラの映像表示中も、以下の操作を行うことで画質調整することができます。
- ・走行中は操作できません。

1 調整したい映像の表示画面で、

メニュー を2秒以上押す

2 左右のタッチキーにタッチして調整する



色の濃さ

淡	薄くなる
濃	濃くなる

色合い

■ (赤)	赤くなる
■ (緑)	緑になる

メモ

- ・色の濃さ、色合いは、映像系AVソース(SDを除く)とカメラ映像を表示している場合のみ、調整することができます。

3 戻る にタッチする

黒の濃さ

□ (白)	薄くなる
■ (黒)	濃くなる

コントラスト (明暗)

低	白黒の差が小さくなる
高	白黒の差が大きくなる

明るさ

暗	暗くなる
明	明るくなる

色温度

■ (赤)	暖色系が強くなる
■ (青)	寒色系が強くなる

リアモニターを組み合わせる

本機のリアモニター出力端子に別売のリアモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

リアモニターに表示される映像について

TV	○
DVD	○
iPodビデオ	○
VTR	○
SDの映像ファイル	×
ナビゲーション	×
バックカメラ	×
フロントカメラ	×
サイドカメラ	×
AVソース画面	×

○：表示します。 ×：表示しません。

！ 注意

- リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

メモ

- リアモニターに表示される映像は、本機のモニターに表示される映像と比べて不鮮明になります。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

リアモニターの設置場所について

リアモニター出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されません。リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中映像を見ることができず、設置しないください。

タッチパネルのタッチ位置を調整する

画面のタッチキーと実際に反応するタッチ位置にずれを感じたときなどに、調整することができます。(タッチパネルキャリブレーション)

調整には画面四隅で行う4点調整と、画面全体で詳細に行う16点調整があります。

！ 注意

・必ず綿棒などの先のとがっていない物を使用して画面に軽く触れてください。

メモ

・タッチパネル調整を途中で終了する場合は、**メニュー**を長く押すか、**現在地**または**AV**を押してください。**現在地**を押した場合は、ナビゲーションの画面に戻り、**AV**を押した場合は、AV画面に戻ります。

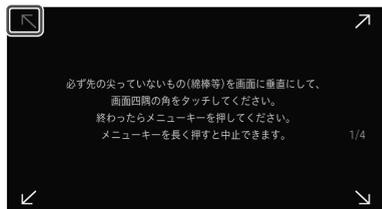
1 **メニュー**を2秒以上押す

画質調整画面(→P215)が表示されます。

2 画質調整画面のまま **メニュー**を2秒以上押す

タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面の四隅にタッチする



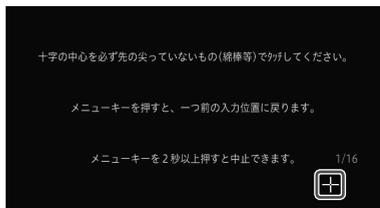
4 **メニュー**を押す

調整結果が保存されます。

5 もう一度 **メニュー**を押す

16点調整に進みます。

6 画面に表示される+マークの中心にタッチする



16点タッチ後、画面に表示される+マークにタッチすると、調整結果が保存されます。

メモ

・保存中はエンジンを切らないでください。
・1つ前の調整に戻るには、**メニュー**を押してください。

7 **メニュー**を2秒以上押す

調整を終了し、画質調整を行う前に表示していた画面に戻ります。

メモ

・タッチパネル調整が正しく実施できない場合は、販売店にご相談ください。

パソコンリンクソフトからSDカードに保存したデータを本機で使用する

パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」を使って、SDカードにデータを保存しておく、かんたんな操作で本機にそのデータを転送することができます。

！ 注意

- SDカードの出し入れは、決められた手順で行ってください。→『スタートブック』－『SDカードの出し入れ』
異なる手順で出し入れを行うと、SDカードに保存したデータが破損する場合があります。

メモ

- あらかじめ、市販のSDカードを本機に登録してください。本機に登録されていないSDカードではパソコンリンク機能を使用することができません。SDカードの登録について、詳しくは『スタートブック』－『パソコンリンクソフト』をご覧ください。

SDカードに保存したデータを本機へ転送する

1 データが保存されたSDカードを本機に挿入する(→『スタートブック』)

自動的に以下のデータが本機に転送されます。

- 天気予報
- 渋滞情報
- 地図データ(差分情報のみ)

メモ

- 転送が完了すると、メッセージが表示されます。地図データの差分情報に関しては、次に本機を起動した時点から有効となります。
- 地図データ(差分情報のみ)更新時に、AVソースでSD / USBを選択している場合は、自動的にOFFとなります。地図データ(差分情報のみ)更新完了後、再度AVソースをSDまたはUSBにして再生を再開させてください。

！ 注意

- データ転送中は、地図画面下部に更新中マークが表示されます。データ転送中は本機の電源をOFFにしたり、SDカードを抜いたりしないでください。

地図データのバージョンアップを行う

1 地図データが保存されたSDカードを本機に挿入する(→『スタートブック』)

確認メッセージが表示されます。

メモ

- 地図データの更新を開始すると、本機のすべての機能が使用できなくなりますのでご注意ください。

2 はいにタッチする

認証が開始されます。

バージョンアップが完了すると、再起動を求めるメッセージが表示されます。

3 今すぐ再起動にタッチする

自動的に本機が再起動し、地図データの更新を開始します。

地図データの更新が完了すると、メッセージが表示されます。更新された地図データは、次に本機を起動した時点から有効となります。

再生できるディスクの種類	220	故障かな?と思ったら	229
DVDに表示されているマークの意味	221	ナビゲーション	229
ディスクの操作について	221	オーディオ	229
ディスクの構成について	222	共通項目	229
DVDビデオ	222	FM/AM	230
映画など	222	DVD	230
カラオケディスク	222	CD/ROM (WMA/MP3/AAC)	231
CD	222	TV	232
WMA/MP3/AAC/ WAVファイルについて	223	SDカード/USBメモリー	233
フォルダーとWMA/MP3/AAC/ WAVファイルについて	223	エラーメッセージと対処方法	234
WMAとは?	223	共通項目	234
再生できるWMAファイルについて	224	ナビゲーション	234
MP3とは?	224	オーディオ	235
再生できるMP3ファイルについて	224	DISC(CD/ROM(WMA/MP3/AAC)/DVD) ...	235
AACとは?	225	TV	236
再生できるAACファイルについて	225	Bluetooth Audio	237
WAVとは?	225	SDカード/USBメモリー	237
再生できるWAVファイルについて	225	iPod	238
ナビゲーションのしくみ	226	センサーメモリーのリセットについて	239
現在地がわかるしくみ	226	センサー学習状態のリセットが必要な場合	239
GPSによる測位	226	センサー学習状態のリセットのしかた	239
自立航法による測位	226	センサー学習とは	239
測位の精度を高めるためのしくみ	226	その他の情報	240
3Dハイブリッドセンサーの役割	226	検索におけるデータベースについて	240
マップマッチング	227	ルートに関する注意事項	240
誤差について	227	VICS情報に関する注意事項	241
		シティマップ(詳細市街地図)収録エリア	242
		阪神高速道路株式会社からのご連絡	245
		収録データベースについて	245
		索引	249
		メニュー索引	249
		用語索引	250
		五十音順	250
		数字・アルファベット順	255
		記号・マーク一覧	259

再生できるディスクの種類

下記マークは、ディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

DVDビデオ



CD



- DVDオーディオディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録されファイナライズされたもの、およびWMA/MP3/AACファイルが収録されたものに限り、再生することができます。
- ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-EXTRAは、音楽CDとして再生することができます。
- コピーガード機能付きCD（Copy Control CDなど）は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音したものの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RWおよびDVD-R/RW（VRを含む）ディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RWおよびDVD-R/RW（VRを含む）ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）
- 本機は、音楽データ（CD）とWMA/MP3/AACデータ（ROM）のいずれかのデータが混在しているディスクの再生には対応していますが、再生される優先順位は以下の順となり、優先順位の高いもののみ再生されます。再生メディアの切り換えはできません。
 - ① CD → ② ROM
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

ハイビジョン画質 (AVCHD 規格) で記録されたディスクについて

- 本機は、AVCHD規格に非対応のため再生できません。
- ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生可能です。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷が付く場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合が起こる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数
	字幕の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率)の種類
	再生可能な地域番号 (リージョン番号) 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピート再生など一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。

ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



ディスクの構成について

DVDビデオ

DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

カラオケディスク

1曲が1タイトルとなっています。



メモ

• 上記のような構成（区切りのしかた）になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

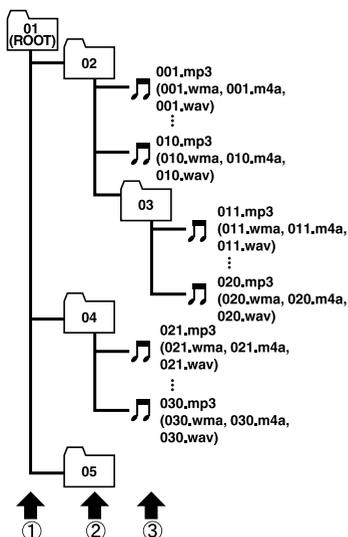
一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



WMA/MP3/AAC/WAVファイルについて

フォルダーとWMA/MP3/AAC/WAVファイルについて

- WMA/MP3/AACファイルを収録したディスクや、WMA/MP3/AAC/WAVファイルを収録したSDカード/USBメモリー内のイメージは下図のようになります。



- 本機はWMA/MP3/AACファイルが記録されたDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROM(CD-ROMモードはモード1、モード2、FORM1、FORM2に対応)や、WMA/MP3/AAC/WAVファイルが収録されたSDカード/USBメモリーの再生に対応しています。
- ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i(MP3 interactive)フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。

- 再生できるフォルダー数の合計は、最大700(ROMの場合) / 300(SD/USBの場合)です。
- 再生できるファイル数の合計は、DVD-Rに書き込んだDISCで最大3500(ROMの場合)、CD-Rに書き込んだDISCで最大999(ROMの場合) / 5000(SD/USBの場合)です。
- 拡張フォーマット(Romeo)に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から28文字、半角では先頭から56文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- WMA/MP3/AAC/WAVファイルを含まないフォルダーは認識しません(フォルダー番号の表示をせず、スキップします)。
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が700個まで再生可能です。

WMAとは？

WMAとは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮方式です。

WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

メモ

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

再生できるWMAファイルについて

メモ

- WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。
- 画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

- WMA Tagのalbum (ディスクタイトルとして表示)、title (トラックタイトルとして表示)、artist (アーティストとして表示)の表示に対応しています。
- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は8kHz～48kHzです。
- 対応ビットレートは5kbps～320kbpsです。VBRに対応しています。
- デジタル著作権管理(DRM)で保護されたファイルは再生できません。すべてのファイルがDRMで保護されている場合、本機では再生できません。
- 下記形式には対応していません。
 - ・ Windows Media Audio 9 Professional
 - ・ Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - ・ Windows Media Audio 9 Voice

MP3とは？

MP3とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるMP3ファイルについて

メモ

- MP3ファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けないでください。
- ID3 Tagのalbum(ディスクタイトルとして表示)、title(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)の表示に対応しています。
- 対応可能なID3 Tagのバージョンは1.0、1.1、2.2、2.3です。なお、ID3 TagのVer.1.XとVer.2.Xが混在している場合は、Ver.2.Xが優先されます。
- 再生可能なMP3ファイルの対応サンプリング周波数は、8kHz～48kHzです。エンファシスに対応しています。
- 対応ビットレートは8kbps～320kbpsです。VBRに対応しています。

AACとは？

AACとは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるAACファイルについて

メモ

- AACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- AACファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.m4a)を付けてください。
- 本機は、iTunesで作成された拡張子(.m4a)が付いているファイルをAACファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AACファイル以外には拡張子(.m4a)を付けしないでください。
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AAC Tagのalbum (ディスクタイトルとして表示)、title (トラックタイトルとして表示)、artist (アーティストとして表示)の表示に対応しています。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能なAACファイルのサンプリング周波数は8kHz～44.1kHz (ROMの場合) / 11.025kHz～48kHz (SD/USBの場合)です。
- 対応ステレオビットレートは8kbps～320kbpsです。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
 - * Apple Lossless

WAVとは？

WAVとは、「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

再生できるWAVファイルについて

メモ

- WAVファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wav)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wav)が付いているファイルをWAVファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAVファイル以外には拡張子(.wav)を付けしないでください。
- 本機は、LPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- 本機は、16kHz～48kHzのサンプリング周波数で記録されたWAVファイルの再生に対応しています。
- 一般的にWAVファイルは、量子化ビット数が大きいほど音質は良くなります。本機は、8/16bitで記録されたWAVファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、より高い量子化ビット数で記録することをおすすめします。

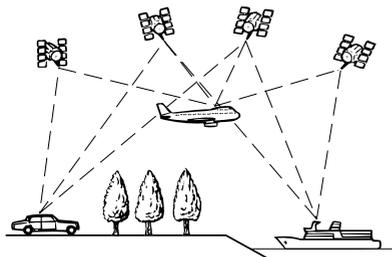
ナビゲーションのしくみ

現在地がわかるしくみ

本機では、現在地（自車位置）を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

GPSによる測位

GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。GPS衛星は、地球の周り高度21 000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。



種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できる。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

自立航法による測位

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計（Gセンサー）で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

3Dハイブリッドセンサーの役割

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自立航法自体の測位精度を高めるために、高精度3Dハイブリッドシステムで活用されています。

高精度3Dハイブリッドシステム

車速パルスが入力されているときは、3Dハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能になります（高精度3Dハイブリッドシステム）。

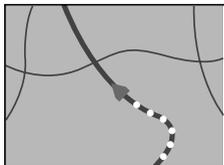
簡易ハイブリッドシステム

車速パルスが入力されないときは、簡易ハイブリッドシステムで測位します。簡易ハイブリッドシステムでは、3Dハイブリッドシステムに比べて精度が低くなります。道路の傾斜の影響を受けやすいため、長いトンネルや地下駐車場などでのGPSが長い間受信できない状況では、誤差が大きくなることがあります。

マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合



本機では、GPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

メモ

- シティマップで道路が表示されていても、その道路をルート探索またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

誤差について

次のような状況のときは、誤差が大きくなる場合があります。

GPS 測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
 - GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。
- GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、アンテナに雪が積もると感度が低下しますので、除雪してください。

GPS 衛星自体による誤差

- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉（受信）できている衛星の数が少ないときは、2次元測位となり誤差が大きくなります。

有料・高架道路での誤差について

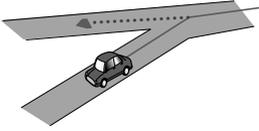
有料道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、勾配を検知して距離補正を行います。勾配データが収録されていない道路では、補正されないため誤差が大きくなる場合があります。

低速時の自転車位置精度について

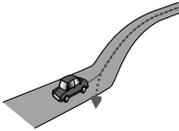
車種によっては数km/h程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で数km/h程度の低速走行が続くと、自転車位置が正確に表示されないことがあります。

その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。



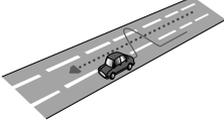
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。



- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。



- 蛇行運転をした場合。



- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



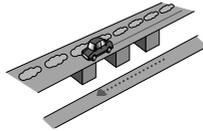
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



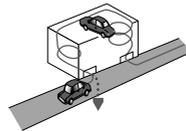
- ヘアピンカーブが続いた場合。



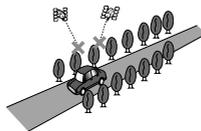
- 道路が近接している場合 (有料道路と側道など)。



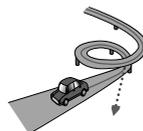
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



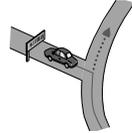
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。



- ループ橋などを通った場合。



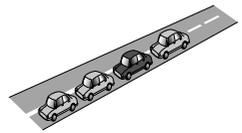
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



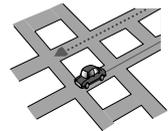
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。

- 扁平率や径の異なるタイヤに交換してまもない場合。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

ナビゲーション

症状	原因	処置
自転車位置を測位できない。 測位誤差が大きい。	GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。
	3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセット(→P81)して、学習をやり直してください。
自転車位置がずれる。	測位誤差。	測位誤差の発生しやすい場所については、「 誤差について 」(→P227)をご覧ください。 3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセット(→P81)して、学習をやり直してください。
ハンズフリー通話時に、通話相手側で響きが大きく聞こえる。	通話相手側の声(スピーカーからの音声)がマイクに入り込んでいる。エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。	受話音量を小さくすることで改善できることがあります(→「 ナビゲーションの音量を設定する 」(P98))。ただし、本機のしくみ上、完全に響き(エコー)をなくすることはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。
Bluetooth機器と接続できない。	本機がBluetooth機器と通信できない状態になっている。	Bluetooth機器の電源を入れ直すか、車のエンジンスイッチ(ACC)をOFF/ONしてください。 あとからBluetooth機器の電源を入れたときは、1分ほどお待ちいただくか、「 Bluetooth機器を切り換える／削除する 」(→P94)の操作をして、Bluetooth接続するBluetooth機器を選択してください。

オーディオ

共通項目

症状	原因	処置
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
	ミュートになっている。	ミュートを解除してください。
映像が出ない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
	ナビスタンバイ状態になっている。	ナビスタンバイを解除してください。→「 画面を一時的に消す(ナビスタンバイ) 」(P13)
モニターにナビゲーションの画像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り換わっていない。	(現在地) で画面を切り換えてください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節・設定してください。 →「 フェーダー／バランス設定 」(P190)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	

症状	原因	処置
画質調節ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。→「ラジオの放送を受信する」(P130)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→「ラジオの放送を受信する」(P130)

DVD

症状	原因	処置
再生できない。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。(→P221)
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	(AV) で画面を切り換えてください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合があります。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイをONに設定してください。→「オートプレイ」(P165)
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイをOFFにして再生してください。→「オートプレイ」(P165)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
	DTS音声を再生しようとしている。	DTS音声は再生できません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。→「視聴制限」(P165)
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
DVD機能設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	DVD機能設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	DVD機能設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。

症状	原因	処置
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります(故障ではありません)。
⓪(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。ディスクの構造上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けられない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	□にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD/ROM (WMA/MP3/AAC)

症状	原因	処置
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3/AACファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルにしてください。
WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください(WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください)。
聞きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

TV

症状	原因	処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、 コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが 映る。	受信状態が悪くなった場合などは、 そのような症状になります。これら は地上デジタル放送特有の現象で、 故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して 視聴してください。
メッセージが表示され、視 聴ができない。	本機が対応していない放送を視聴し ようとしている。	本機は、以下の放送には対応してい ません。 ・番組単位で購入できる有料放送 (ペイ・パー・ビュー) ・双方向通信を使うデータ放送 対応している放送に切り換えてくだ さい。
映像切換、音声切換、字幕 切換 のタッチキーが薄く 表示されていて切り換わら ない。	受信中の番組が、それらの情報を放 送していない。	それらの情報を放送している番組で 操作してください。
画質が悪くなった。	ワンセグに切り換わっている。	ワンセグを通常放送に手動で切り換 えるときは、 サービス切換 にタッチ します。(→P137)
受信できない。 「受信できません」という メッセージが表示される。 「スキャンを実行してくだ さい」というメッセージが 表示される。	チャンネルスキャンをしていない。 移動により、受信中のチャンネル電 波が弱くなった。	初めて使うときやバッテリーを外し たとき、「視聴者設定クリア」(P144) をしたときは、チャンネルスキャン をしてください。 他の中継局(チャンネル)に切り換 えてみてください。エリアプリセッ ト以外の方法で受信している場合 でも、オート放送局サーチ設定に従っ て、自動的に受信可能な中継局や系 列局に切り換えます。受信可能な中 継局や系列局を自動的に探して切り 換えることができます。→「オート放 送局サーチ設定」(P143)
	放送局(チャンネル)が増えたり、他 のエリアに移動して受信環境が変 わった。	受信環境が変わったときは、チャン ネルスキャンをしてください。 →「放送局を自動で登録する(チャン ネルスキャン)」(P140)
	受信レベルが低下して、放送が受信 できない。	受信状態の安定した場所に移動して 視聴してください。ワンセグ放送が 受信可能な場合は、 サービス切換 で 切り換えます。→「サービスを切 り換える」(P137)

SDカード / USBメモリー

症状	原因	処置
WMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。 対応していないビットレートで記録されている。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。 対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルにしてください。
聴きたいWMA/MP3/AAC/WAVファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
SDカードに保存した映像ファイルを再生すると、音声は出るが、映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
SDカード/USBメモリーに保存したファイルを再生中にAVソースがOFFになる。	地図データ(差分情報のみ)の更新中である。	地図データ(差分情報)更新中(→P218)は、AVソース(SD/USB)がOFFになります。地図データ(差分情報のみ)の更新完了後、再度AVソース(SD/USB)を選択し、再生を再開してください。
お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、本機で認識しない。	SDカードが正しくフォーマットされていない。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。 フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータが全て消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。 フォーマットソフトは、SDアシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL: http://www.sdcard.org/jp/consumers/formatter/ (2010年12月時点記載)

エラーメッセージと対処方法

共通項目

メッセージ	原因	処置
高温あるいは低温を検出したためシステムを一時停止します。 復帰するまでしばらくお待ちください。	エアコン吹き出し口の近くに設置したことなどが原因で、ナビゲーション本体の内部温度が高くなったり低くなった。	正常に動作する温度になるまでお待ちください。正常な温度に戻ると、[高温あるいは低温状態からシステムが動作可能な状態に復帰しました。]と表示されます。
走行中は操作できません。	走行中に操作できない機能を操作した。	一部の機能は、安全のため走行中に操作できないようになっています。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。
SDカードが正しく挿入されていること、およびB-CASカード挿入口がロックされていることを確認してください。	SDカードが完全に挿入されていない、もしくはminiB-CASカードのLOCKレバーがUNLOCK位置になっていない。	SDカードを完全に挿入してください。(→『スタートブック』-「SDカードの出し入れ」) miniB-CASカードのLOCKレバーをUNLOCK位置にしてください。(→『スタートブック』-「miniB-CASカードを取り外すときは」)

ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。	出発地から目的地までの距離が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変更してください。
行き先が近すぎるため、探索できませんでした。		
通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。	規制情報が考慮されたためルート探索ができない。	
時間規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。		
行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。	目的地または出発地の位置が適切ではない。	
行き先または出発地付近に案内対象道路がないため探索できませんでした。		
探索できませんでした。	何らかの原因でルート探索ができない。	

オーディオ

DISC (CD/ROM (WMA/MP3/AAC)/DVD)

メッセージ	原因	処置
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを挿入している。	「再生できるディスクの種類」(→P220)をご確認のうえ、本機で再生できるディスクに交換してください。
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	エアコン吹き出し口の近くに設置したことなどが原因で、ナビゲーション本体の内部温度が高くまたは低くなった。	ディスクを取り出し、正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりの無いディスクに交換してください。
	ディスクの表裏を逆にして挿入している。	ディスクのタイトル面を上にして挿入してください。
	本機で再生できないディスクを挿入している。	「再生できるディスクの種類」(→P220)をご確認のうえ、本機で再生できるディスクに交換してください。
再生できませんでした。	本機で再生できるトラックやファイルではない。	「WMA/MP3/AAC/WAVファイルについて」(→P223)をご確認のうえ、本機で再生できるトラックやファイルを再生してください。
再生できるファイルがありません。 再生できるトラックはありません。	本機で再生できるトラックやファイルがディスクに含まれていない。	また、本機ではDRM(デジタル著作権管理)が設定されたファイルは再生できません。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。(→P221)
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にテレビなどの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。

TV

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
HEAT 地上デジタルテレビで高温を検出しました。保護のため停止中です。	地上デジタルテレビの内部温度が高くなった。	正常に動作する温度に下がるまでお待ちください。改善されない場合は販売店にご相談ください。
ANTENNA アンテナ接続エラーの可能性がります。	地上デジタルテレビ用アンテナに不具合がある。	販売店にご相談ください。
ERROR-11 地上デジタルテレビに不具合が発生した可能性があります。	地上デジタルテレビに不具合がある。	
受信できません。	地上デジタル放送の電波を受信できない。	「故障かな?と思ったら」の「TV」の「受信できない」(→P232)をご覧ください。
スキャンを実行してください。	選局用サービスリストにチャンネルが登録されていない。	チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P140)
チャンネルが登録されていません。	プリセットチャンネルリストにチャンネルが登録されていない。	
サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスキャンをしてください。	サービスが登録されていない。	
このチャンネルは登録できません。	ユーザープリセットにメモリーできないチャンネルを登録しようとした。	登録できるチャンネルを探して登録してください。
現在、このサービスは視聴できません。	放送(サービス)としては存在するが、放送されていない。	—
映像情報がありません。	音声のみの番組です。	—
有料放送につき事業者との契約が必要です。	契約が必要な放送を選局している。	有料放送を見るときは、有料放送事業者との契約が必要です。有料放送事業者と契約をしてください。
有料放送です。本機では対応していません。	本機が対応していない有料放送(双方向通信を使うデータ連動放送、番組単位で購入できる有料放送(ペイ・パー・ビュー))を受信している。	本機が対応している放送に切り換えてください。
ICカードを正しく装着してください。	miniB-CASカードが装着されていない。 miniB-CASカードが違う向きで装着されている。 miniB-CASカード挿入口やminiB-CASカードにゴミなどが付いている。	miniB-CASカードが正しく装着されているか確認してください。詳しくは販売店にご相談ください。
このICカードは使用できません。	miniB-CAS以外のカードを装着している。	miniB-CASカードを装着してください。詳しくは販売店にご相談ください。

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
ICカードの交換が必要です。	miniB-CASカードが破損している。	カードの不具合と確認された場合には、B-CASカスタマーセンターまでお問い合わせください。 電話：0570-000250 受付時間：10:00～20:00 (年中無休)
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にテレビを見ようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。

Bluetooth Audio

メッセージ	原因	処置
AV機器との接続に失敗しました。 AV機器から接続を開始してください。	何らかの理由で本機からBluetooth Audio機器への接続が成功しない。	Bluetooth Audio機器側から接続を行ってください。(→P183)

SDカード / USBメモリー

メッセージ	原因	処置
再生できませんでした。 再生可能なファイルの詳細は取扱説明書をご確認ください。	本機で再生できるファイルではない。	「本機で再生可能なメディアとファイルの種類」(→P127) または、「WMA/MP3/AAC/WAVファイルについて」(→P223)をご確認のうえ、本機で再生できるファイルを再生してください。
再生できるファイルがありません。 再生可能なファイルの詳細は取扱説明書をご確認ください。	本機で再生できるファイルがSDカードまたはUSBメモリーに含まれていない。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にSDの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。
このUSBメモリーは本機では使用できません。	本機が対応していないUSBメモリーを接続した。	本機が対応しているUSBメモリーをご確認ください。(→P168)
	USBメモリーに異常がある。	USBメモリーをフォーマットし、再度本機に接続してください。
このSDカードは本機では使用できません。	本機が対応していないSDカードを挿入した。	本機が対応しているSDカードをご確認ください。(→P168)
	SDカードに異常がある。	SDカードのフォーマット(→P233)をして、再度本機に挿入してください。

iPod

メッセージ	原因	処置
絞込みに失敗しました。	何らかの原因で絞込みができない。	ACCをOFF/ONするか、iPodを本機から取り外し、iPodが問題なく動作していることを確認してから再度接続してください。
iPodの接続に失敗しました。接続し直してください。	何らかの原因で本機とiPod間の認証が成功しない。	
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にiPodビデオの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。

センサーメモリーのリセットについて

センサー学習状態のリセットが必要な場合

[オールリセット]が必要な場合

- 本体の取り付け位置や角度を変更した場合または別の車両へ載せ換えた場合
- 測位の誤差が大きくなった場合

[距離学習リセット]が必要な場合

- タイヤを交換した後、しばらく経っても距離誤差が補正されない場合

センサー学習状態のリセットのしかた

学習メモリーのリセットは「センサー学習状況」画面で行います。→「センサー学習状況を見る」(P81)

センサー学習とは

本機の3Dハイブリッドセンサーは、走行状況（距離/方位/傾斜（3D））を検知して、その結果を学習しています。したがって、走行を重ねるごとに測位の精度が高くなります。

センサーが学習した結果は、本機に内蔵されているセンサーメモリーに蓄積されます。

その他の情報

検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント(位置)が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

- NTTタウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

自然物に関するデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、タウンページのデータが収録されています。

ロゴマーク表示について

- ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

営業時間考慮周辺検索について

- 営業時間を考慮するのはATM・駐車場・コンビニ・ファミリーレストラン・ファストフード・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。また、一部の店舗は対応していない場合があります。
- 営業時間データは、日をまたがないようにデータ収録されているため、閉店が0時をすぎる場合であっても、0時として収録されています。
- 24時間営業は24時間の営業で収録されています。

ルートに関する注意事項

！ 注意

- ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、ルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。
- 運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索は100mスケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象となりません。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます(本州～北海道などのフェリーが運航されている場合には、航路を使うルートが探索されます)。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 設定されているルートで使用されている入口/出口によっては、乗り降りIC(インターチェンジ)指定の操作ができない場合があります。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 渋滞考慮ルート、有料道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路(100mスケールでグレー表示の細い道(→「記号・マーク一覧」(P259))以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常の案内を行います。
- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。

交差点拡大図について

- 2D交差点拡大図は、交差点とその約150m手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状によっては、ヘディングアップにならない場合があります。
- 第1案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

ルート候補選択画面での有料料金について

- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されます。
- 料金計算ができないルートの場合は、「不明」と表示されます。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探索したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

VICS情報に関する注意事項

FM 多重放送について

- VICSセンターからのFM多重放送を使用したVICS情報は、NHK-FMのFM多重放送の電波によって提供されます。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICSセンター情報などで確認してください。

VICS センターのお問い合わせ先

VICSの概念、計画、またはFM多重放送により提供されるVICS情報に関することは、(財) VICSセンターへお問い合わせください。

電話受付時間：9:30～17:45

(土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く)

電話番号：0570-00-8831

(ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます)

FAX受付時間：24時間

FAX番号：03-3562-1719 (全国)

また、VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは下記のホームページでご覧いただけます。

URL：<http://www.vics.or.jp/>

山町、川島町、吉見町、鳩山町、美里町、上里町、宮代町、白岡町、杉戸町、松伏町、千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、香取市、山武市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、新潟市、聖籠町、射水市、舟橋村、川北町、野々市町、内灘町、昭和町、小布施町、岐阜市、多治見市、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐南町、笠松町、神戸市、輪之内町、安八町、大野町、北方町、坂祝町、熱海市、三島市、焼津市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、函南町、清水町、吉田町、名古屋市の一宮市、刈谷市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市の弥富市、みよし市、あま市、東郷町、長久手町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛鳥村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町、四日市市、木曾岬町、東員町、朝日町、川越町、明和町、彦根市、近江八幡市、草津市、守山市、野洲市、竜王町、豊郷町、甲良町、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町、大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方

シティマップ(詳細市街地図)収録エリア

本機には、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

整備面積 95% 以上 (467 都市)

田舎館村、塩竈市、多賀城市、亶理町、七ヶ浜町、湯川村、水戸市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、神栖市、行方市、銚田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町、小山市、真岡市、下野市、上三川町、壬生町、野木町、岩舟町、伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐

市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、稲美町、播磨町、太子町、大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、和歌山市、太地町、境港市、日吉津村、倉敷市、玉野市、浅口市、早島町、里庄町、府中町、海田町、熊野町、坂町、和木町、石井町、松茂町、北島町、藍住町、宇多津町、松前町、北九州市、福岡市、直方市、筑後市、大川市、行橋市、中間市、小郡市、春日市、福津市、志免町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、大刀洗町、大木町、糸田町、大任町、苅田町、吉富町、時津町、熊本市、合志市、長洲町、菊陽町、嘉島町、那覇市、宜野湾市、浦添市、糸満市、沖縄市、豊見城市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町

整備面積 80% 以上 (64 都市)

室蘭市、名取市、東松島市、利府町、鏡石町、泉崎村、矢吹町、桜川市、宇都宮市、栃木市、芳賀町、高根沢町、吉岡町、本庄市、小川町、長瀬町、寄居町、相模原市、燕市、中央市、可児市、養老町、富加町、伊東市、磐田市、豊橋市、桑名市、鈴鹿市、玉城町、愛荘町、泉佐野市、島本町、加西市、福岡市、御所市、葛城市、高取町、大淀町、有田市、岩出市、米子市、笠岡市、広島市、田布施町、小松島市、善通寺市、琴平町、多度津町、久留米市、柳川市、大野城市、宗像市、太宰府市、須恵町、新宮町、福智町、上峰町、みやき町、大町町、江北町、波佐見町、玉東町、東串良町、うるま市

整備面積 50% 以上 (161 都市)

北広島市、八戸市、藤崎町、板柳町、鶴田町、矢巾町、仙台市、岩沼市、大河原町、山元町、富谷町、美里町、潟上市、八郎潟町、天童市、中山町、河北町、三川町、桑折町、中島村、笠岡市、足利市、西方町、益子町、市貝町、前橋市、高崎市、渋川市、富岡市、榛東村、越生町、神川町、匝瑳市、いすみ市、秦野市、松田町、弥彦村、田上町、高岡市、滑川市、砺波市、入善町、羽咋市、かほ

く市、能美市、鯖江市、あわら市、笛吹市、市川三郷町、西桂町、忍野村、山中湖村、岡谷市、小諸市、千曲市、山形村、美濃加茂市、土岐市、海津市、垂井町、関ケ原町、池田町、沼津市、富士市、掛川市、御殿場市、裾野市、長泉町、小山町、岡崎市、瀬戸市、伊勢市、志摩市、菟野町、大津市、栗東市、湖南市、京都市、宇治市、木津川市、笠置町、高槻市、貝塚市、茨木市、和泉市、箕面市、泉南市、豊能町、能勢町、河南町、姫路市、西脇市、三田市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、猪名川町、桜井市、明日香村、海南市、御坊市、湯浅町、美浜町、湯梨浜町、北栄町、東出雲町、斐川町、岡山市、呉市、福山市、防府市、下松市、光市、山陽小野田市、徳島市、鳴門市、板野町、上板町、高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、さぬき市、高知市、南国市、大牟田市、飯塚市、田川市、筑紫野市、古賀市、みやま市、糸島市、那珂川町、宇美町、桂川町、筑前町、広川町、鳥栖市、小城市、嬉野市、基山町、有田町、白石町、長崎市、島原市、諫早市、長与町、川棚町、佐々町、荒尾市、玉名市、宇土市、氷川町、大分市、日出町、高鍋町、新富町、鹿児島市、南城市、今帰仁村

整備面積 50% 未満 (646 都市)

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、江差町、上ノ国町、倶知安町、岩内町、仁木町、余市町、南幌町、奈井江町、上砂川町、長沼町、栗山町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、羽幌町、美幌町、斜里町、遠軽町、白老町、洞爺湖町、浦河町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、広尾町、幕別町、池田町、足寄町、釧路町、弟子屈町、中標津町、青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、大鰐町、野辺地町、六戸町、東北町、おいらせ町、五戸町、南部町、階上町、盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、泉石町、岩手町、滝沢村、紫波町、金ヶ崎町、平泉町、大槌町、山田町、一戸町、石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、村田町、

柴田町、丸森町、松島町、大和町、大郷町、大衡村、加美町、涌谷町、女川町、秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、小坂町、五城目町、井川町、美郷町、羽後町、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、大江町、大石田町、高島町、川西町、白鷹町、庄内町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、国見町、川俣町、大玉村、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、会津美里町、西郷村、棚倉町、石川町、玉川村、浅川町、三春町、広野町、榊葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、城里町、大子町、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、茂木町、那須町、桐生市、沼田市、藤岡市、安中市、みどり市、下仁田町、甘楽町、中之条町、草津町、東吾妻町、昭和村、みなかみ町、秩父市、飯能市、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、檜原村、奥多摩町、山北町、清川村、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、湯沢町、津南町、富山市、魚津市、氷見市、黒部市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、朝日町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、白山市、津幡町、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町、福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町、甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、上野原市、甲州市、身延町、富士川町、鳴沢村、富士河口湖町、長野市、松本市、上田市、飯田市、諏訪市、須坂市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、立科町、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、喬木村、豊丘村、池田町、松川村、坂城町、高山村、山ノ内町、木島平村、飯綱町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、揖斐川町、川辺町、八百津町、御嵩町、白川村、静岡市、浜松市、富士宮市、島田市、藤枝市、下田市、伊豆

市、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、森町、豊田市、新城市、津市、松阪市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、伊賀市、多気町、度会町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町、長浜市、甲賀市、高島市、東近江市、米原市、日野町、多賀町、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、井手町、宇治田原町、和束町、南山城村、伊根町、与謝野町、河内長野市、千早赤阪村、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、篠山市、養父市、丹波市、宍粟市、多可町、市川町、神河町、上郡町、奈良市、天理市、五條市、宇陀市、吉野町、下市町、黒滝村、橋本市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、広川町、有田川町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、串本町、鳥取市、倉吉市、岩美町、八頭町、三朝町、琴浦町、南部町、伯耆町、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、津山市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、矢掛町、鏡野町、勝央町、竹原市、三原市、尾道市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、下関市、宇部市、山口市、萩市、岩国市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、周防大島町、平生町、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、まんのう町、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、内子町、室戸市、安芸市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、いの町、佐川町、越知町、八女市、豊前市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、篠栗町、久山町、春香町、添田町、川崎町、赤村、みやこ町、築上町、佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、神埼市、吉野ヶ里町、佐世保市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、五島市、雲仙市、南島原市、東彼杵町、八代市、人吉市、水俣市、山鹿市、菊池市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、大津町、御船町、益城町、甲佐町、芦北町、津奈木町、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、九重町、玖珠町、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小川市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、綾町、木城町、川南町、都農町、

門川町、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曾於市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、始良市、さつま町、大崎町、肝付町、石垣市、名護市、宮古島市、恩納村、金武町

阪神高速道路株式会社から のご連絡

阪神高速道路にはネットワークの未整備区間を補完するため、乗継券を受け取り、一般道路を経由した後にその乗継券で再度、通行料金を支払わずに阪神高速道路を利用できる「乗り継ぎ区間」があります。(乗り継ぎ区間ではETCが利用可能)。また、「乗り継ぎ区間」の詳細につきましては、以下をご覧ください。

3号神戸線(京橋・摩耶出入口)⇔5号湾岸線(住吉浜出入口)

4号湾岸線(大浜出入口)⇔15号堺線(堺出入口)

3号神戸線(中之島西出口)→1号環状線(堂島入口)

16号大阪港線(波除出口)→1号環状線(堂島入口)

3号神戸線(中之島西出入口)⇔16号大阪港線(波除出入口)

収録データベースについて

地図データについて

- 日本測地系に対応しています。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 09-193M1)「©2010 財団法人日本デジタル道路地図協会」2010年3月発行を使用。
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。(承認番号)小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものである。平成12年 養建第1902号
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平10.近公.第34号
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。(測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号)
- この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。(承認番号 15大木建第734号)
- この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。(承認番号 16堀第5417号)
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものである。(承認番号 東開第111号 平成18年2月28日承認)

- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。(承認番号 伊建農発229号 平成17年7月14日承認)
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。(承認番号:18東デ共041号)
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。(承認番号) 18都市基交 第478号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用して調製したものです。(承認番号 平成17年津山市使用承認第5号)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号 指令宇都第13号 平成18年5月15日承認)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号 指令宇都第14号 平成18年5月31日承認)
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。(承認番号 周防建設第56号 平成18年5月12日承認)
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものである。(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。(承認番号 H18東温都第174号)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。(承認番号 平成19年3月7日 指令水緑-1258)
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。(承認番号森第18-10号)
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものである。(長都政第477号 平成18年3月28日承認)
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認平成19年3月1日 森整第1561号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。(承認番号 18森政第5-5号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成18年11月24日付け森第1286号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成19年2月27日付け森第1736号)
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認)
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認)
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認)
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものである。(承認番号 18林第492号(平成18年10月6日))
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第993号・平成19年2月14日)

- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号林18-1平成18年12月5日)。
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号林18-2平成19年3月7日)。
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使18-1号 平成18年12月8日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使18-3号 平成19年3月8日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平18 林振第360号)
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平成18年5月26日知耕第590号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものである。(承認番号 平19総使、第24号-10号)
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。(測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認 平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものである。(承認番号 平19総使、第247号-10号)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成18年11月30日 指令水緑-947
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものである。(承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認)
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものである。(承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認)
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。(承認番号 平成19年2月14日付け 18高森推第568号)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平19 林振第404号)
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。(承認番号)平21樽港事第33号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものである。(承認番号)平成21年森計第477号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平18 林振第497号)
- この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。(承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)
- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1幕別町現況図を使用し、調整したものである。(承認番号) H22 幕都計第185号
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)
- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なる場合がありますのでご了承ください。

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2010年9月までの独自調査結果に基づき作成したものを使用しています。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。
- 本製品に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車などの規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

有料道路料金データについて

- 本製品に使用している有料道路の料金データは2010年9月までの調査で2011年4月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のものであり、無料化社会実験には非対応です。

VICS サービスエリアについて

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。
北海道(北見)(旭川)(札幌)(釧路)(函館)、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- VICSサービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3(地図表示型)表示はできません。

放送局リストのデータについて

- VICS、AM、FM、地上デジタルテレビの放送局名リストは2010年11月調査時点のものです。

その他情報提供元

- NTT情報開発株式会社(2010年9月現在のタウンページデータ)
- 財団法人交通事故総合分析センター(1999年度統計による危険地帯データ)
- (株)IMJモバイル(2010年10月現在の駐車場データ)

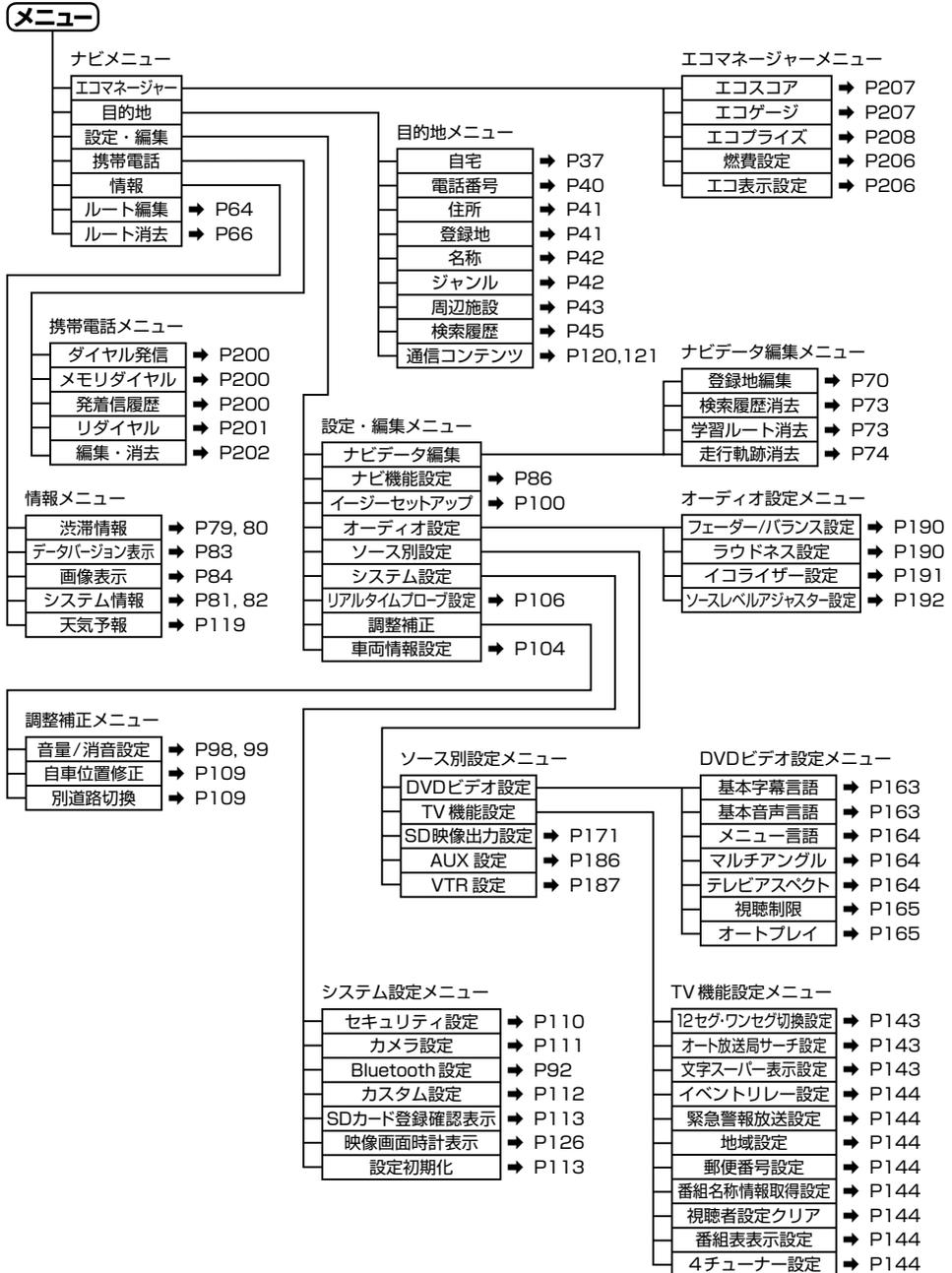


メモ

- 収録データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は保障するものではありません。

索引

メニュー索引



用語索引

五十音順

あ行

あかさたな送り	14
明るさ	215
アローガイド	56
アングル	156
暗証番号	165
案内音量	98
案内地	56
イコライザー	191
補正	192
イージーセットアップ	100
一時停止	146, 148, 152, 158, 168, 169, 174, 175, 180
一般道シンプルガイド	89
イベントリレー設定	144
イラスト情報(施設)	36
イルミネーション	82
色合い	215
色温度	215
色の濃さ	215
インジケーター	15
インターチェンジ(IC)	34, 49, 52
インテリジェントリルート	61
営業時間考慮	44, 240
映像切換	139
映像ディスク	151
エコー(残響音)	198
エコゲージ	207
エコスコア	207
エコプライズ	208
エコマネージャーメニュー	22, 206
エラーメッセージ	234
エリアプリセット	131, 136
大文字/小文字	17
お知らせメッセージ	141
オート(VICS放送局選択)	80
オートハイウェイマップ	87
オートハイウェイモード	33
オートプレイ	165
オート放送局サーチ設定	143
オートリルート	61
音送り	14

音楽CD	146
音声圧縮方式	223
音声案内	58
音声切換	139, 155, 161
音声多重	140, 161
オンデマンドVICS	116
音量	98, 101, 211

か行

回転速度計	81
ガイド/ハンズフリー SP	99
学習ルート消去	73
学習ルート探索	54, 88
ガススタ価格情報	120
カスタムボタン	102, 112
画像表示(メモリーデバイス)	84
カメラ	194
カメラ設定	111
画面切り換え (ナビゲーション⇄AVソース)	13
簡易ハイブリッドシステム	226
簡易ハイブリッドモード	81
環境設定メニュー(地上デジタルTV)	144
記号	20
規制表示	90
軌跡表示	25
機能設定	
DVDビデオ	163
渋滞情報	90
地上デジタルTV	143
地図表示	87
ルート・案内	88
キーボード方式(文字入力)	16
基本音声言語	163
基本字幕言語	163
行送り	14
距離	81
キーワード検索	42
緊急警報放送設定	144
緊急情報の自動表示	78
禁止マーク	221
黒の濃さ	215
傾斜計	81
携帯電話	198
受ける	198

かける	199	シティマップ	28, 87, 242
切り換え	94	シティマップ境界表示	87
携帯電話情報	202	自動登録(放送局)	132, 140
携帯電話方式(文字入力)	16	シネマ	142, 157, 162, 177, 188
携帯電話メニュー	23	字幕切換	139, 155, 161
言語コード表	166	ジャスト	142, 157, 162, 177, 188
現在地画面	25	車速パルス	81, 82
現在地情報の表示	87	シャッフル再生	176
県境案内	32, 89	車両情報	102, 104
検索履歴	73	ジャンクション(JCT)	34, 35
検索履歴から探す	45	ジャンルで探す	42
広域	27	十字カーソル	24, 27
効果音	71	十字パネルタッチキー	139
交差点案内表示	56, 89	住所で探す	41
高精度3Dハイブリッドシステム	226	渋滞オートガイド	62, 78
交通規制情報	76	渋滞・規制情報	62, 78
交通障害情報	76	渋滞考慮オートリルート	61, 88
交通情報	76, 133	渋滞考慮オートリルート自動決定ルート	88
候補表示画面	32	渋滞考慮ルート探索	54, 88
ここへ行く	48	渋滞情報	76, 79, 80
ここを登録する	68	渋滞情報取得開始設定	107
誤差	227	渋滞情報表示	90, 118
コマ送り	154, 160	渋滞情報表示(ハイウェイモード)	36
コマンド	112	渋滞情報表示対象道路	90
コントラスト(明暗)	215	渋滞情報連続取得設定	108
		渋滞チェック	63, 78
さ行		周辺施設を探す	43
再生	146, 148, 152, 158, 168, 169, 174, 175, 180	収録データベース	245
再探索(ルート)	64	主音声	140
サイドカメラ	195	受信状態	80
サイドマップ	31	出発地指定	53
サービスエリア(SA)	34, 35	受話音量	98
サービス切換	137	順調表示	90
サービスリスト	141	消音タイミング	99
サラウンド放送	136	消音レベル	99
サンプリング周波数	224	消去	
時間規制	54	学習ルート	73
シーク(VICS放送局選択)	80	検索履歴	73
市区町村名	41	走行軌跡	74
自転車位置修正	109	登録地	71
施設情報	33, 34	ルート	65, 66
自宅		乗降IC指定	52
帰る	37	詳細(地図のスケール)	27
登録	37, 101	詳細市街地図 → シティマップ	28, 242
視聴者設定クリア	144	詳細情報	46
視聴制限	165	詳細ルート設定	51
視聴設定メニュー	143	情報画面	32
		情報メニュー	23

初期化	114	ダイヤル発信	200
初期登録	91, 106	ダイレクトサーチ	156, 161
ショートカットメニュー	24	ダイレクトタッチ	153
自立航法	226	タウンページ	240
人工衛星	226	立寄地	51
信号機	33	先送り	65
信号機ジャスト案内	89	削除	52
進行方向案内	58	追加	51
振動ジャイロセンサー	226	並べ替え	52
数字パネルタッチキー	139	タッチキー	12
スカイビュー	28	タッチパネル	12
スキャン	132	タッチパネルキャリブレーション	217
スキャン → 自動登録	140	タブ送り	14
スクロール確認画面	50	探索条件	64
スクロール画面	27	短縮ダイヤル	40
図形情報 (VICS 情報)	79	地域設定	144
スケール	27	チェックマーク	14
ステレオ放送	130, 136	チェックリスト	14
スマートIC	34	蓄積型プローブ	106
スマートIC 考慮ルート探索	54, 88	地上デジタルTV	134
ズーム	142, 157, 162, 177, 188	地図色切換	87
スライドショー	84	地図で探す	40
ずれ (自車位置)	109	着信音量	98
スロー再生	154, 160	チャプター	153, 158
セカンダリDNS	96	チャンネルスキャン	140
セキュリティ設定	110	駐車場情報	76
接続ID	96	駐車場マーク表示	90
接続先電話番号	96	駐車場満空情報	121
接続先名称	96	駐車制限 (車種)	104
接続状態	82	駐車制限 (車両寸法)	105
接続パスワード	96	通行止め考慮オートリルート	62
設定初期化	113	通信機能	91
設定・編集メニュー	23	通話中メニュー	201
セーフティインフォメーション	32	ディスクメニュー	153
前後G	81	データバリエーション	83
センサー学習	81, 239	データ放送	138
センター情報 (VICS センター)	79	データ連動放送	136
走行軌跡自動消去	87	デモ走行	65
走行軌跡消去	74	テレビアスペクト	164
走行軌跡表示	87	天気予報	119
走行履歴	116	電源電圧	82
操作音	98, 211	電波発射	97
操作タッチキー	134, 152, 158	電話番号で探す	40
ソースレベルアジャスター	192	電話を受ける	198
		電話をかける	199
		ダイヤル発信	200
		地図に登録された電話番号	201
		発着信履歴	200

た行

ダイヤルQ 2	40
ダイヤルアップ通信	93

メモリダイヤル	200	バック信号	82
リダイヤル	201	発信	200, 201
到着予想時刻	55	発信者番号通知サービス	199
到着予想時刻速度(一般道)	88	発信履歴	200
到着予想時刻速度(有料道)	89	パレンタルロック → 視聴制限	165
登録		番組情報	140
自宅	37, 101	番組内容	138
スケール	30	番組表	137
場所	68	番組表示設定	144
リアルタイムプローブ初期登録	106	番組名称情報取得設定	144
登録地		パンスキャン	164
消去	71	ハンズフリー通話	93, 198
編集	70	バンド	131, 140
名称表示(プライベートマッピング)	71	微調整(スクロール)	26
登録地から探す	41	ビットレート	224
道路交通情報通信システム → VICS	76	ビデオ → VTR	187
都市高速道路	57	ビデオレコーディングフォーマット (VRモード)	220
都道府県名	41	表示方法	27, 212
トラック	146, 148	ファイナライズ	220
トリップメーター	81	ファイル	169
な行		ファクトリーカーブ	191
ナビゲーション画面(地図画面)	13	フェーダー/バランス	190
ナビスタナビ	13	フェリー航路使用条件	88
ナビメニュー	22	フォルダー	149, 170, 223
入力キーボード	211	副音声	140
燃費	102	ブックマーク	155
燃費設定	206	物理チャンネル	135
ノースアップ	29	踏切案内	32, 89
ノーマル	142, 157, 162, 177, 188	プライベートマッピング	71
ノーマルビュー	28	プライマリDNS	96
は行		プリセット	131, 136
ハイウェイモード	28, 31, 33	エリアプリセット	131, 136
ハイビジョン	221	ユーザープリセット	131, 136
パーキングエリア(PA)	34, 35	プリセットチャンネル	130, 135
パーキングブレーキ	82	フル	142, 157, 162, 177, 188
パーキングブレーキアラート	32, 89	プローブ情報送信設定	107
場所		フロントカメラ	196
探す	40	分岐(有料道路)	57
登録	68	分岐先の情報	35
バージョン情報	141	ページ送り	14
パスキー	96	別道路切換	109
パスワード	96	ヘディングアップ	28
パソコンリンクソフト →		編集	
NAVI OFFICE	218	登録地	70
パーソナライズ	103, 209	ルート	64
バックカメラ	194	方位	81
		放送局(VICS情報)	80

他のルート	50
ポータブルオーディオプレーヤー	186
ボタン	13
ポート番号	96

ま行

マップマッチング	227
マニュアルプリセット	131, 136
マルチアングル	156, 164
マルチ音声	155, 161, 163
マルチ言語字幕	163
マルチ字幕	155, 161
マルチセッション	223
マルチビュー放送	136
マルチ編成	136
道のり・到着予想時刻表示	88
向き(地図)	28
名称で探す	42
メニュー言語	164
メモリダイヤル	200, 202, 203
メモリダイヤル転送	93
目的地	40
目的地メニュー	22
文字拡大	211
文字情報(VICS情報)	79
文字スーパー表示設定	144
文字入力	16, 17
URL	19
大文字/小文字	17
記号	20
削除	18
種類	16
スペース	18
全角	17
挿入	18
濁点・半濁点・小文字	17
半角	17
変換	19
無変換	19
文字の拡大表示	29

や行

ユーザー登録	91
誘導アイコン	213
郵便番号設定	144
有料道注意地点・県境案内	32, 89
有料道路	33
有料道路使用条件	88

有料道路料金区分	104
ユーザーアイコン	25, 210
ユーザー切換	213
ユーザー設定	210
ユーザープリセット	131, 136

ら行

ライト点灯案内	32, 89
ラウドネス	190
ラジオ	130
ランダム再生	147, 149, 170, 182
ランプ	34
リアモニター	216
リアルタイムプローブ	106, 116
リージョン番号	221
リスト(VICS放送局選択)	80
リスト画面	14, 31
リセット(センサー学習)	81, 239
リターン再生	156
リダイヤル	201
立体交差	56
リニアPCM	156
リピート再生	147, 149, 154, 159, 170, 176, 182
リフレッシュ案内	32, 89
料金所	34, 36
料金表示	34
旅行時間情報	76
履歴情報	204
ルート案内	55
ルート案内開始画面	49
ルートインフォメーション	55
ルートを再探索	64
ルート再探索 → オートリルート	61
ルート消去	65, 66
ルート探索	48
学習ルート探索	54
自宅	37
渋滞考慮ルート探索	54
スマートIC考慮ルート探索	54
ルート探索基準	88
ルート地図	48, 51
ルート注意事項	240
ルートプロフィール	48, 50
レターボックス	164
レベル 1: 文字	76
レベル 2: 簡易図形	76
レベル 3: 地図	76

ロゴマーク	30, 44
わ行	
ワイドモード	142, 157, 162, 177, 188
ワイプ操作	12

数字・アルファベット順

数字

2D(ノーマルビュー)固定スクロール	87
2Dマーク	71
2カ国語放送	161
2次元測位	226
3Dハイブリッドセンサー	226
3Dハイブリッドモード	81
3次元測位	226
4チューナー設定	144
4点調整	217
5.1ch	155
10キーサーチ	156, 161
12セグ・ワンセグ切換設定	143
16:9	164
16点調整	217
50音タブ	14
100mスケール一方通行表示	29

A

A2DP	180
AAC	(Advanced Audio Coding) 148, 225
ALL REPEAT	182
Apple Lossless	225
ATOK	16
AUX	186
AVCHD → ハイビジョン	221
AVRCP	180
AV画面への割り込み	89
AVソースアイコン	125
AVソース画面(オーディオ画面)	13, 124
AVソースプレート	124
AVプロファイル	180

B

Bluetooth Audio	180
Bluetooth(接続状態)	83
Bluetooth設定	102
Bluetoothプロファイル	92

C

CD	146, 220, 222
CD-EXTRA	220
CHAPTER REPEAT	154, 159, 160
CINEMA	142, 157, 162, 177, 188

CMスキップ	160
CMバック	160
Copy Control CD	220

D

d (データ放送)	138
DDCD	220
DISC REPEAT	147, 149, 154, 159
Dolby D	155
DRM (デジタル著作権管理)	148, 168
DTS 音声	155
DualDisc	221
DVD-V	163
DVD-VR	158, 163
DVDビデオ	152, 220, 222
DVDビデオ設定	163

E

ETC取付状態	101
ETCレーン案内	36, 89
eスタート案内	32, 33, 89

F

FILE REPEAT	170
FLAT	191
FM-VICS	76
FM多重放送	80, 241
FOLDER REPEAT	149, 170
FULL	142, 157, 162, 177, 188

G

GPS	226
GPSアンテナ	82
GROUP REPEAT	182

H

HDTV (ハイビジョン放送)	136
-----------------	-----

I

ID3 Tag	224
ID (接続ID)	96
iPod	174
ISO9660	223
iTunes	225

J

Joliet	223
JUST	142, 157, 162, 177, 188

L

L/R切換	156
-------	-----

M

m3u	223
MP3	148, 224
MP3i (MP3 interactive)	223
MP3 PRO	223
MPEG2	225
MPEG4	225
MPEG Audio Layer 3	224

N

NATURAL	191
NAVI OFFICE	218
NON STOP SEEK	130
NORMAL	142, 157, 162, 177, 188
NTSC	220

P

POWERFUL	191
Proxy サーバー	96

R

ROM	148
Romeo	223

S

SDHC	168
SDTV (標準画質放送)	136
SDカード登録確認メッセージ	113
SEEK	130, 135
SUPER BASS	191

T

TITLE REPEAT	154, 159, 160
TRACK REPEAT	147, 149, 182
TV 機能設定	143

U

URLの入力	19
--------	----

V

VBR	224
VICS (Vehicle Information & Communication System)	76
VICS 情報提供時刻	77

VICS情報の表示	76, 77, 79
VICSセンター	242
VICSマーク	78
VOCAL	191
VTR	187

W

WAV	225
Windows Media™ Audio	223
Windows Media Audio 9 Lossless	224
Windows Media Audio 9 Professional	224
Windows Media Audio 9 Voice	224
Windows Media Player	223
WMA	148, 223

Z

ZOOM	142, 157, 162, 177, 188
------	-------------------------

メモ

A series of horizontal dotted lines for writing notes.